

# 2 ビル空調管理システム

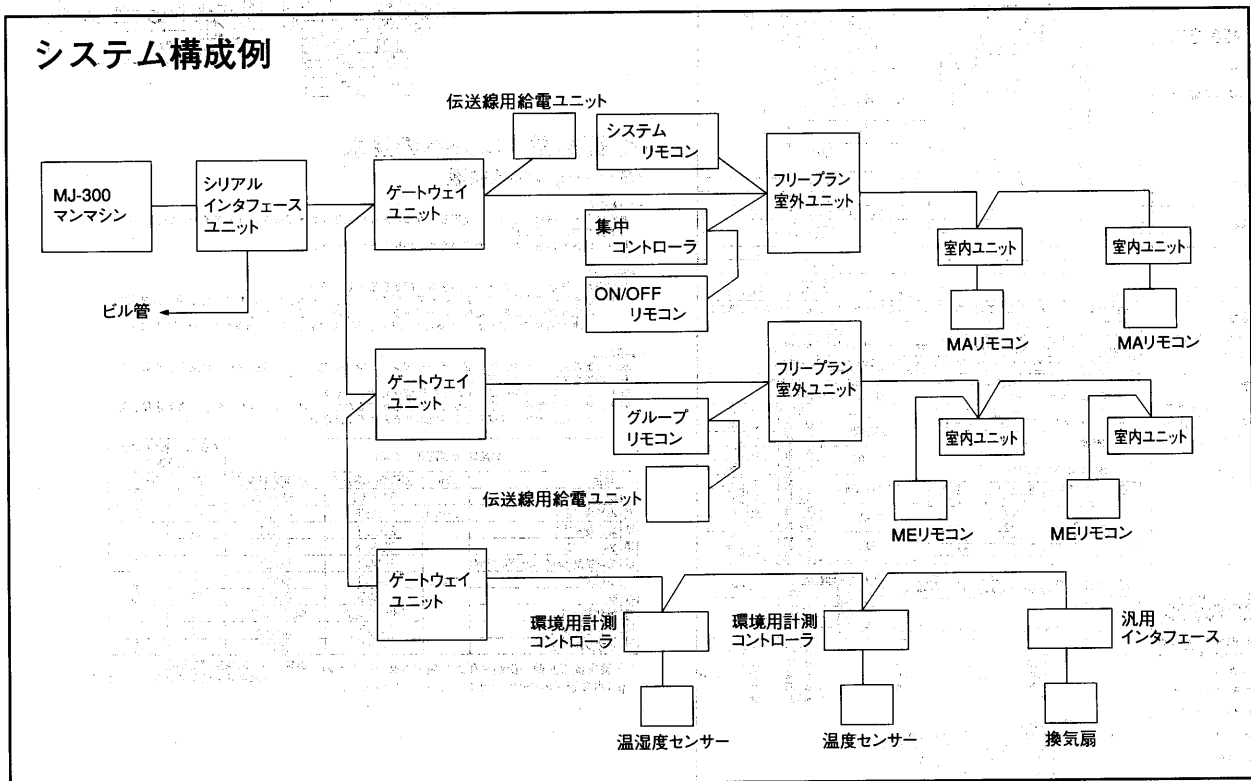
## 目次

2.1 MELANS100 シリーズ 製品仕様	357	2.3.6 システムコントローラを使用した制御	372
2.2 手元リモコンの選定	365	2.4 配線設計とシステム設定	380
2.2.1 機能・比較仕様	365	2.4.1 配線設計にあたって	380
2.2.2 手元リモコン選定のポイント	365	2.4.2 主電源の配線太さ及び開閉器容量	380
2.2.3 手元リモコンの機能比較	366	2.4.3 制御配線の種類と許容長	382
2.3 システム制御	367	2.4.4 スイッチ設定の種類と方法	382
2.3.1 システム構成の制約	367	2.5 システム接続例	386
2.3.2 室外/室内ユニットの入出力コネクタ仕様	368	2.5.1 MA リモコンを用いたシステム	386
2.3.3 室内ユニットのシステム制御	368	2.5.2 M-NET リモコンを用いたシステム	396
2.3.4 室外ユニットのシステム制御	370	2.5.3 MA リモコンとM-NET リモコンを混在システム	404
2.3.5 ロスナイの連動制御	371	2.6 MELANS 上位機種製品仕様	406

使いやすさを追求した手元リモコン。そして、室内・室外ユニットや換気関連機器などの空調機器をネットワークし、マンマシンからの集中管理。あるいはビル管理システムからの集中管理を実現するビル空調管理システムMELANS。

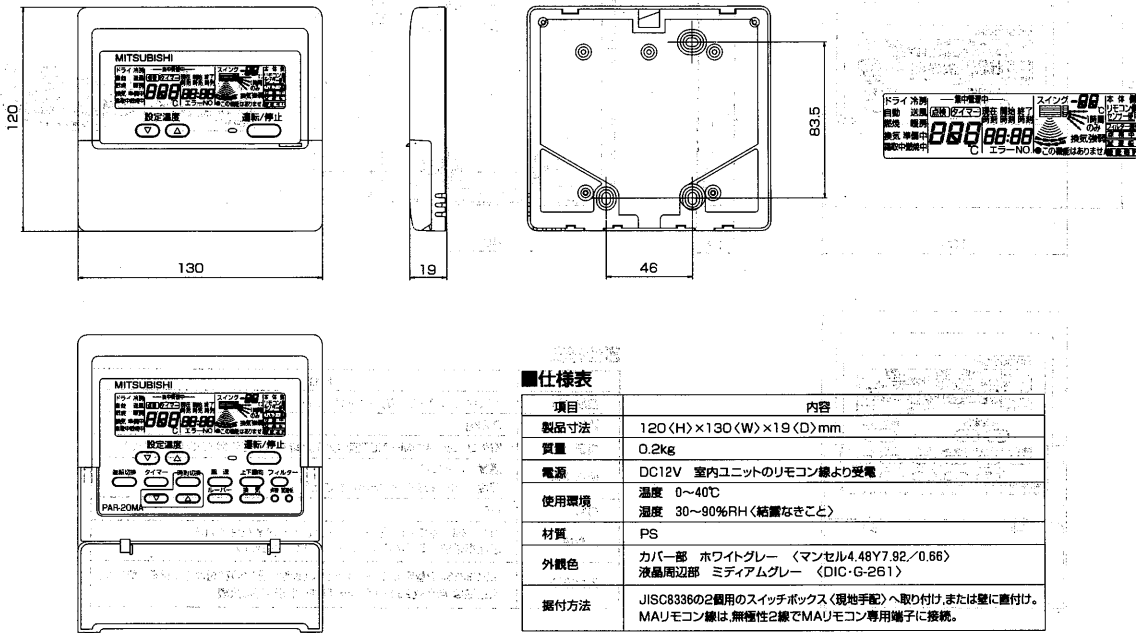
求められる快適性と効率性のベストバランスを、管理・操作・制御の分野から推進する充実したコントローラ・管理システムを用意。すべての機器の制御を統一し、階層化した機器構成で、大規模ビルから小規模ビルまで、物件ごとに最適な空調管理システムを提供します。

## システム構成例



## 2.1 MELANS 100シリーズ製品仕様

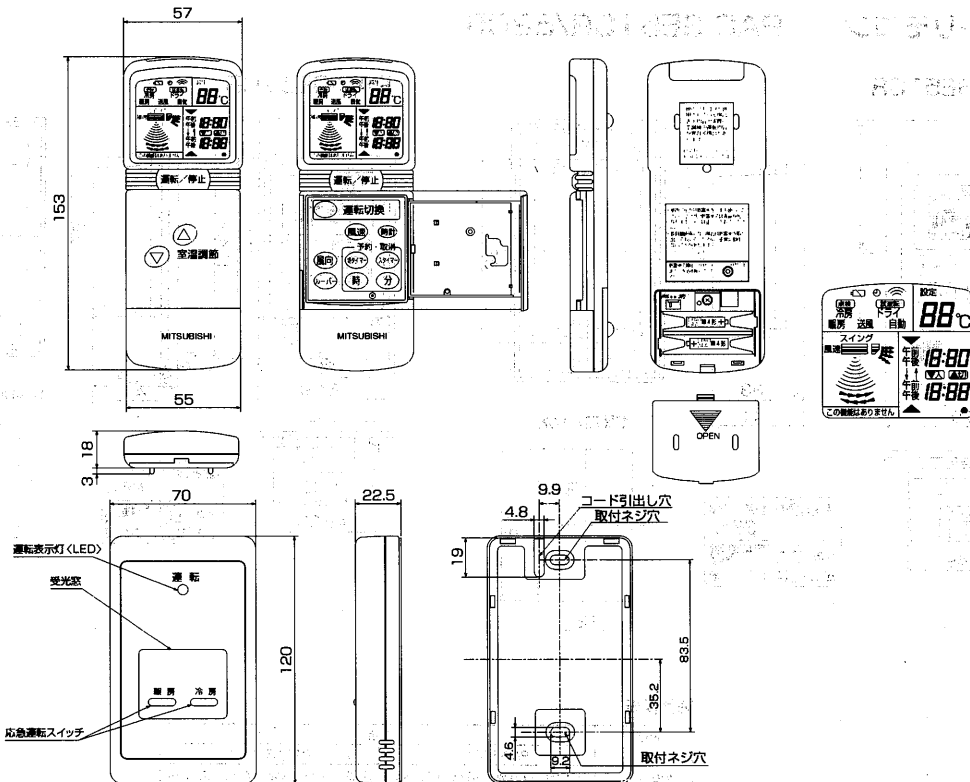
### ■MAリモコン PAR-20MA



■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×19(D)mm
質量	0.2kg
電源	DC12V 室内ユニットのリモコン線より受電
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
材質	PS
外観色	カバー部 ホワイトグレー 〈マンセル4.48Y7.92/0.66〉 液晶周辺部 ミディアムグレー 〈DIC-G-261〉
据付方法	JISC8336の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け、または壁に据付け。 MAリモコン線は、無極性2線でMAリモコン専用端子に接続。

### ■ワイヤレスリモコン PAR-FL39M/FA31M



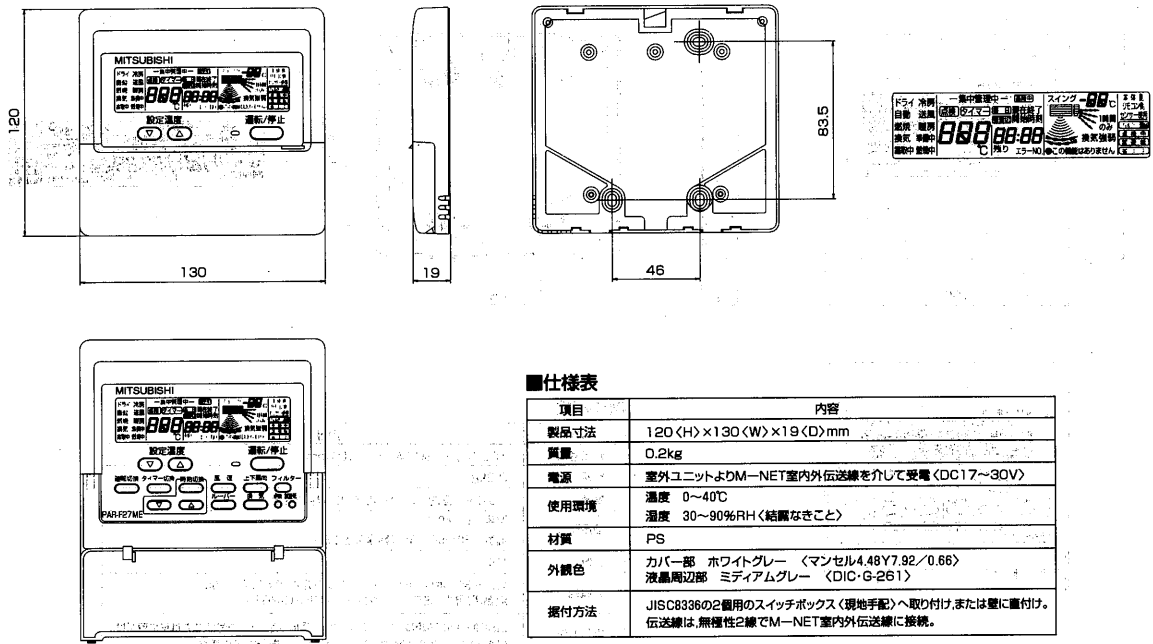
■リモコン本体 仕様表

項目	内容
製品寸法	リモコン:153(H)×57(W)×21(D)mm
電源	リモコン:DC3V(単3乾電池×2)
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー 〈マンセル4.48Y7.92/0.66〉 液晶周辺部 ミディアムグレー 〈DIC551〉
付属品	リモコンホルダー

■MA受光アダプタ 仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×70(W)×19(D)mm
質量	0.2kg
電源	DC12V 室内ユニットのリモコン線より受電
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
材質	ABS
外観色	ホワイトグレー 〈マンセル4.48Y7.92/0.66〉
据付方法	JISC8336の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け。 MAリモコン線は、無極性2線でMAリモコン専用端子に接続。

## ■MEリモコン PAR-F27ME

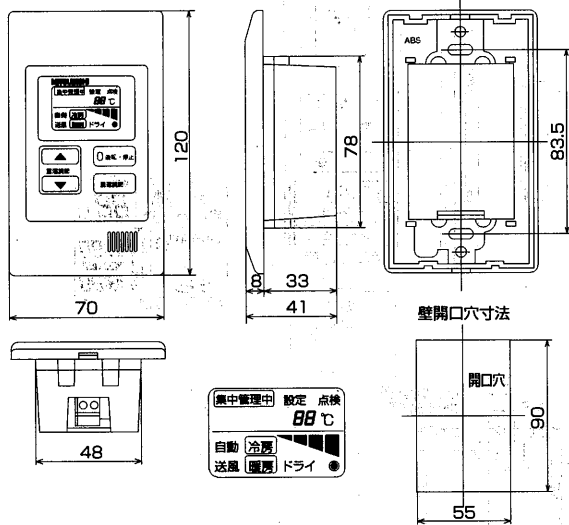


■仕様表

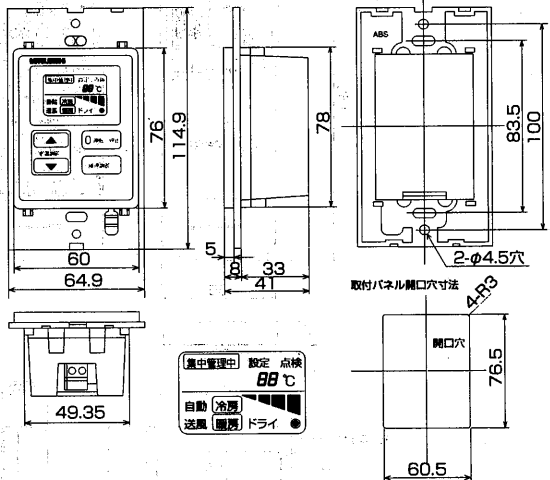
項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×19(D)mm
質量	0.2kg
電源	室外ユニットよりM-NET室内外伝送線を介して受電(DC17~30V)
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
材質	PS
外観色	カバー部 ホワイトグレー 〈マンセル4.48Y7.92/0.66〉 液晶周辺部 ミディアムグレー 〈DIC-G-261〉
据付方法	JISC8336の2層用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け、または壁に直付け。 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外伝送線に接続。

## ■コンパクトリモコン PAC-SE51CR/52CR

PAC-SE51CR



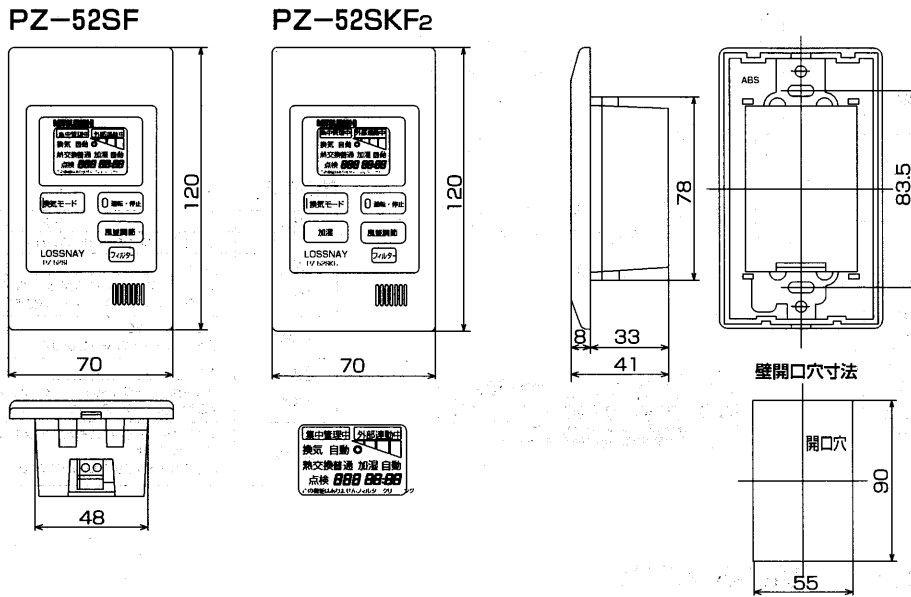
PAC-SE52CR



■仕様表

項目	内容	
	PAC-SE51CR	PAC-SE52CR
製品寸法	120(H)×70(W)×41(D)mm	114.9(H)×64.9(W)×41(D)mm
質量	0.2kg	
電源	室外ユニットよりM-NET室内外伝送線を介して受電(DC17~30V)	
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH(結露なきこと)	
材質	ABS	
外観色	カバー部 ホワイトグレー 〈マンセル4.48Y7.92/0.66〉 液晶周辺部 ミディアムグレー 〈DIC551〉	
据付方法	JISC8336の2層用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け。 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外伝送線に接続。	

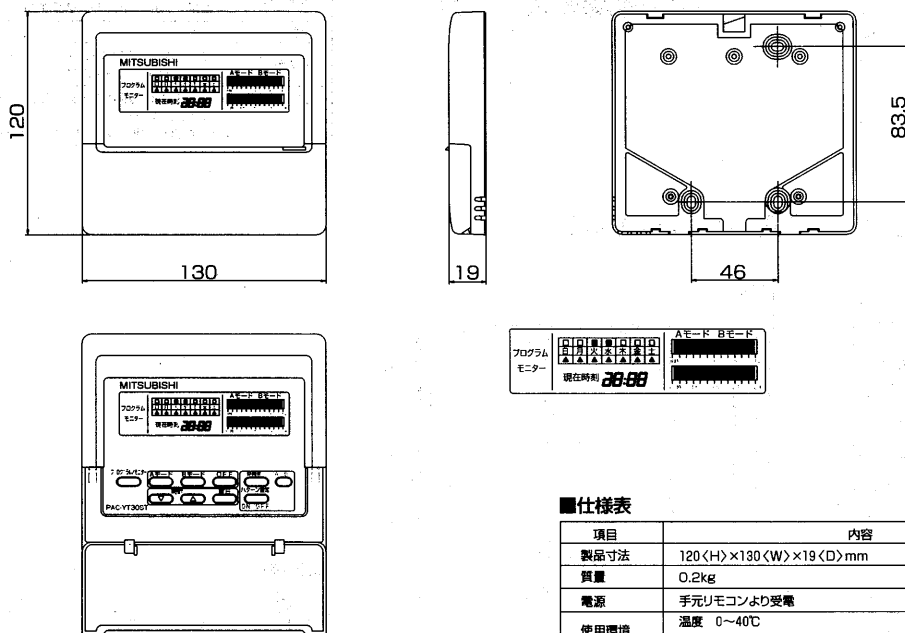
## ■ロスナイリモコン PZ-52SF/52SKF<sub>2</sub>



■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×70(W)×41(D)mm
質量	0.2kg
電源	DC17~30V M-NET伝送線より給電 (伝送線用給電ユニット又は 室外ユニットよりDM-NET伝送線を介して受電)
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4.48Y7.92/0.66) 液晶周辺部 ミディアムグレー (DIC551)
据付方法	JISC8336の1個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け。 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外/集中管理用伝送線に接続

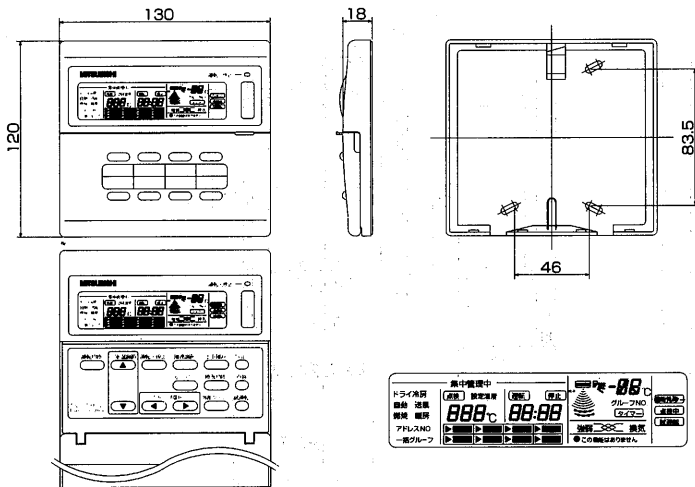
## ■スケジュールタイマ PAC-YT30ST



■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×19(D)mm
質量	0.2kg
電源	手元リモコンより受電
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
材質	PS
外観色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4.48Y7.92/0.66) 液晶周辺部 ミディアムグレー (DIC-G-261)
据付方法	JISC8336の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け、または壁に直付け。 製品付属のコネクタ付5芯ケーブルにて手元リモコンと接続。

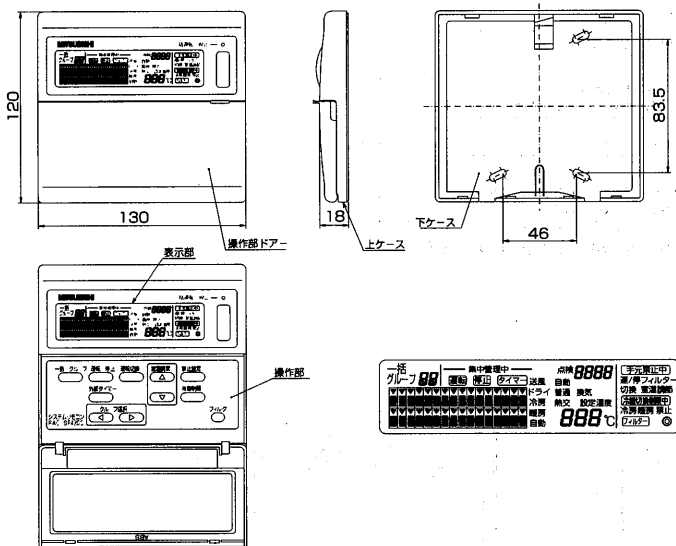
## ■グループリモコン PAC-SC30GR



### ■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×18(D)mm
質量	0.2kg
電源	DC17~30V M-NET伝送線より給電<伝送線用給電ユニット又は室外ユニットよりDM-NET伝送線を介して受電>
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH<結露なきこと>
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー <マンセル4.48Y7.92/0.66> 液晶周辺部 ミディアムグレー <DIC551>
据付方法	JISC8336の2個用のスイッチボックス<現地手配>へ取り付け、又は壁に直付け 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外/集中管理用伝送線に接続

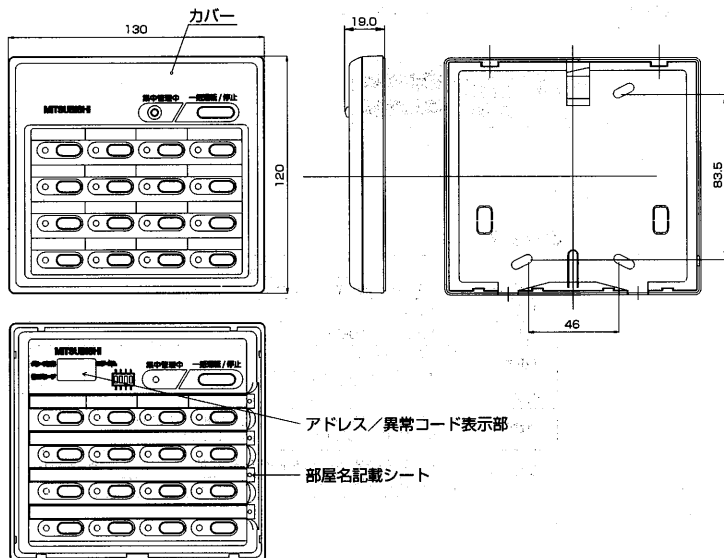
## ■システムリモコン PAC-SF43SC



### ■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×18(D)mm
質量	0.2kg
電源	DC17~30V M-NET伝送線より給電<伝送線用給電ユニット又は室外ユニットよりM-NET伝送線を介して受電>
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH<結露なきこと>
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー <マンセル4.48Y7.92/0.66> 液晶周辺部 ミディアムグレー <DIC551>
据付方法	JISC8336の2個用のスイッチボックス<現地手配>へ取り付け、又は壁に直付け 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外/集中管理用伝送線に接続

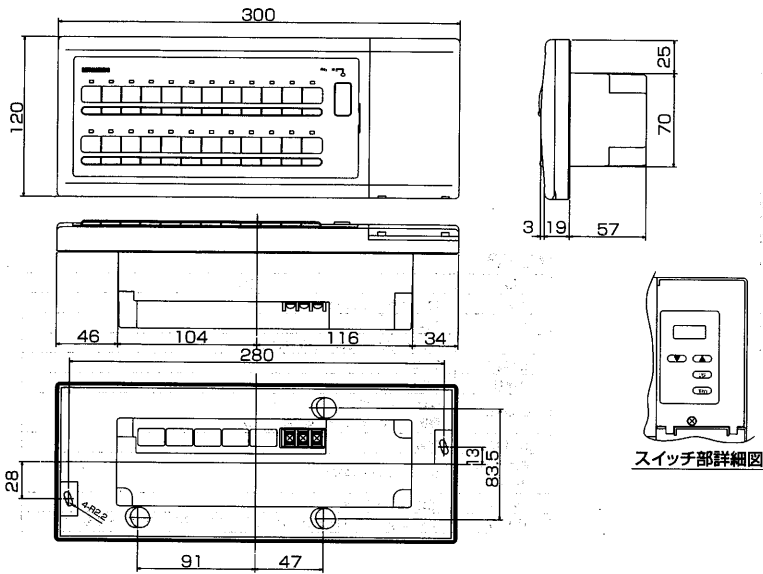
## ■ON/OFFリモコン PAC-YT40ANR



### ■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×19(D)mm
質量	0.2kg
電源	DC17~30V M-NET伝送線より給電<伝送線用給電ユニット又は室外ユニットよりM-NET伝送線を介して受電>
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH<結露なきこと>
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー <マンセル4.48Y7.92/0.66> 液晶周辺部 ミディアムグレー <DIC551>
据付方法	JISC8336の2個用のスイッチボックス<現地手配>へ取り付け、又は壁に直付け 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外/集中管理用伝送線に接続

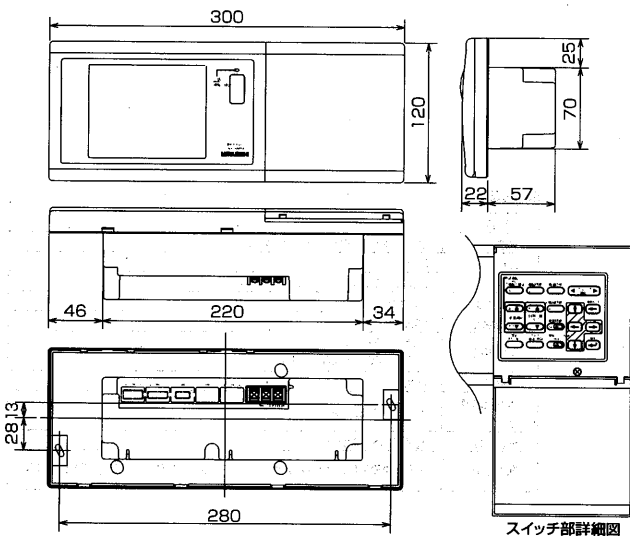
### ■マルチパネルコントローラ MJ-111AN-C



■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×130(W)×19(D) mm
質量	0.2kg
電源	DC17~30V M-NET伝送線より給電 (伝送線用給電ユニット又は室外ユニットよりM-NET伝送線を介して受電)
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~80%RH(結露なきこと)
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー(マンセル4.48Y7.92/0.66) 液晶周辺部 ミディアムグレー(DIC551)
据付方法	JISC8336の2個用のスイッチボックス(現地手配)へ取り付け又は壁に直付け。 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外/集中管理用伝送線に接続。

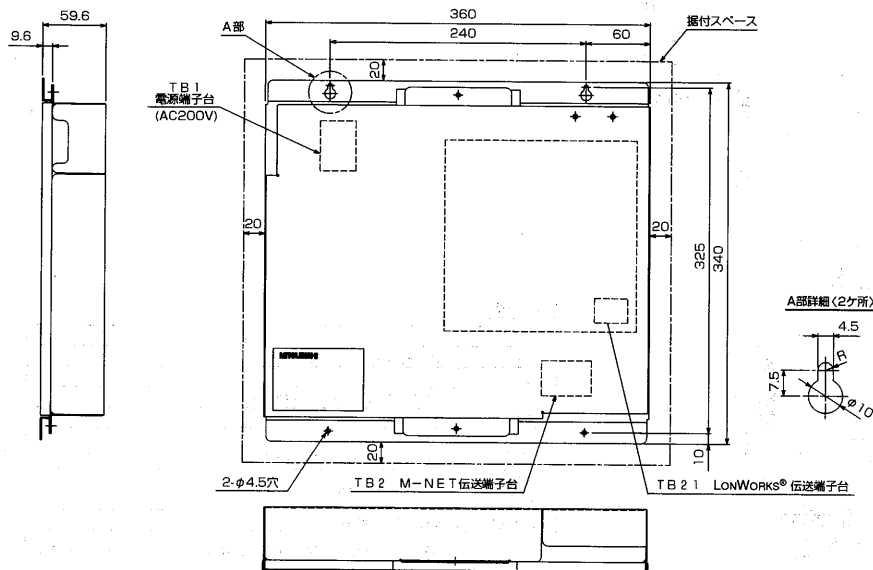
### ■集中コントローラ MJ-103MTR-B



■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×300(W)×79(D) mm
質量	0.9kg
電源	DC17~30V M-NET伝送線より給電 (伝送線用給電ユニット又は室外ユニットよりM-NET伝送線を介して受電)
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
材質	ABS
外観色	カバー部 ホワイトグレー(マンセル4.48Y7.92/0.66) 液晶周辺部 ミディアムグレー(DIC551)
据付方法	JISC8336の5個用スイッチボックス(カバー付き)(現地手配)へ取り付け。 伝送線は、無極性2線でM-NET室内外/集中管理用伝送線に接続。

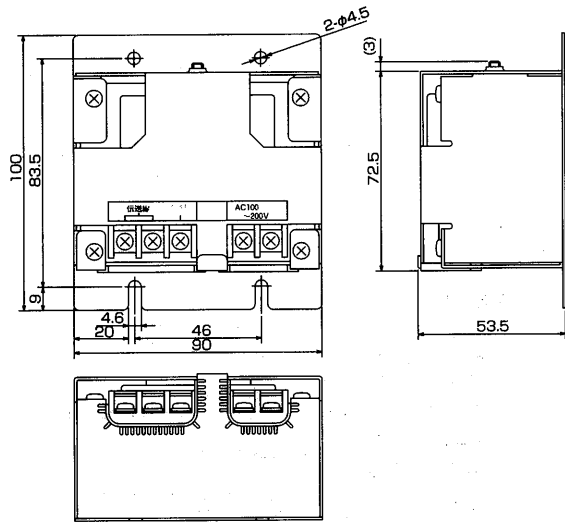
### ■LMアダプター PAC-YV03LMAP



仕様

項目	内容	
外形寸法	340(H)×360(W)×9.6(D)mm	
製品質量	3.3kg	
電源	単相AC200V(50/60Hz)	
消費電力	10W	
使用環境	温度	-15 to 43℃
	動作	-15 to 43℃
	保存	-20 to 60℃
	湿度	30~95%RH(結露なきこと)
据付方法	水平、垂直方向据付け可能。 ただし、垂直方向の場合、 貼付けシールの方向とする。	
外装	溶融亜鉛メッキ鋼板	

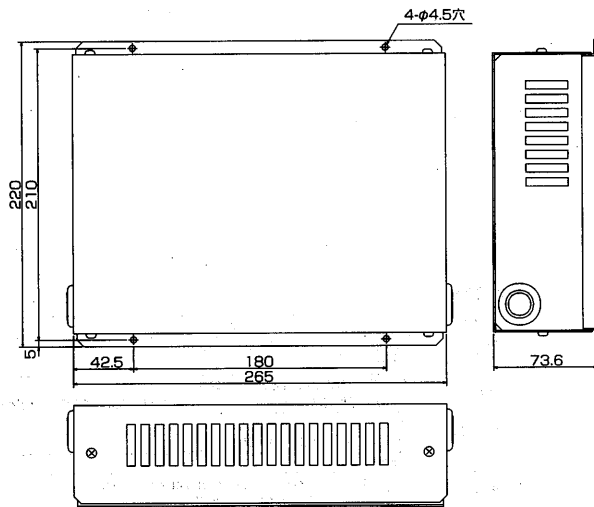
## ■伝送線用給電ユニット PAC-SC33KU



■仕様表

項目	内容
寸法	100(H)×90(W)×53.5(D)mm
質量	0.5kg
電源	AC100V又はAC200V(50/60Hz)
出力電圧	DC30V
出力電流	170mA
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
消費電力	20W
適合伝送線サイズ	φ0.4~1.2mm(単線)
外装材質	電気亜鉛メッキ鋼板
据付方法	水平・垂直方向据え付け可能。ただし垂直方向の場合、端子台を下方とする。

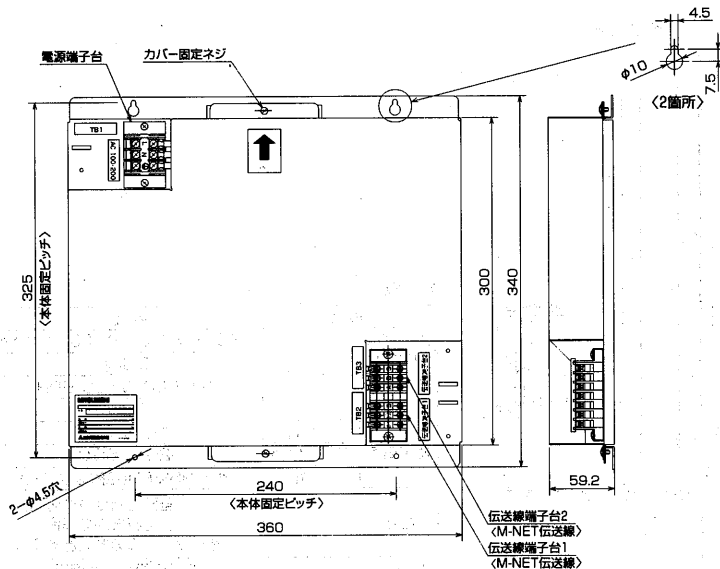
## ■伝送線用給電ユニット PAC-SC34KU



■仕様表

項目	内容
寸法	220(H)×265(W)×73.6(D)mm
質量	2kg
電源	AC100V又はAC200V(50/60Hz)
出力電圧	DC30V
出力電流	500mA
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
消費電力	40W
適合伝送線サイズ	φ0.4~1.2mm(単線)
外装材質	電気亜鉛メッキ鋼板
据付方法	水平・垂直方向据え付け可能。ただし垂直方向の場合、端子台を下方とする。

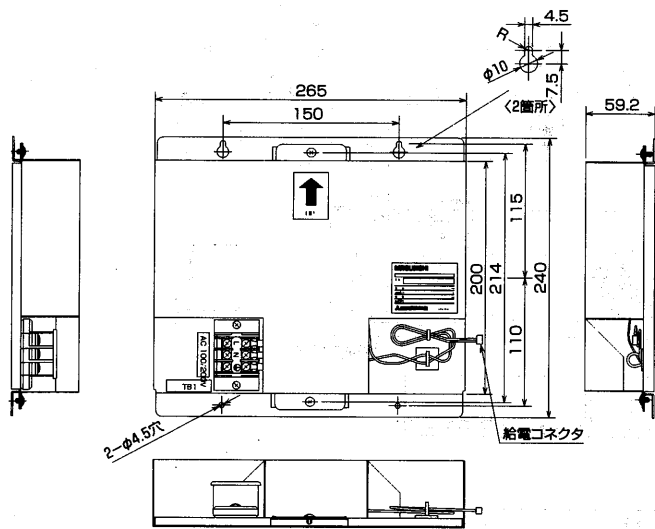
## ■伝送線用給電拡張ユニット PAC-SF46EP



■仕様表

項目	内容
寸法	340(H)×360(W)×59.2(D)mm
質量	3.4kg
電源	AC100V又はAC200V(50/60Hz)
消費電力	95W
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH(結露なきこと)
適合伝送線サイズ	φ0.4~1.2mm(単線)
外装材質	電気亜鉛メッキ鋼板
据付方法	水平・垂直方向据え付け可能。ただし垂直方向の場合、貼付シールの方向とする。

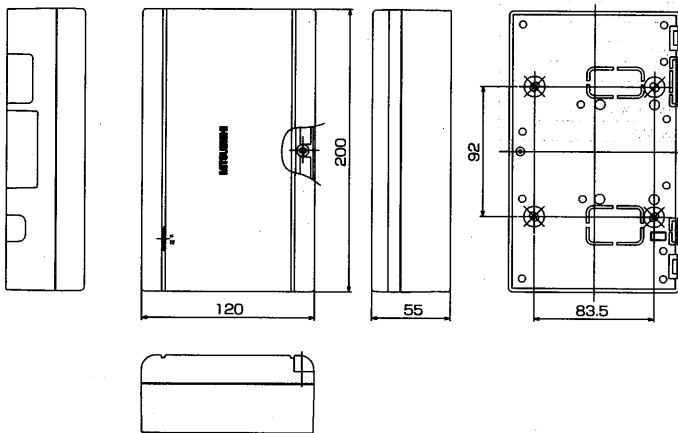
## ■個別給電ユニット PAC-SE58KU



### ■仕様表

項目	内容
寸法	240(H)×265(W)×59.2(D)mm
質量	1.6kg
電源	AC100V又はAC200V<50/60Hz>
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH<結露なきこと>
消費電力	60W
出力電圧	24V
出力電流	1.7A
用途	PAC-SE42MC, PAC-SE44MC, PAC-SE46DC用給電ユニット
外表材質	溶融亜鉛メッキ鋼板
据付方法	水平・垂直方向据え付け可能。ただし垂直方向の場合、貼付シールの方向とする。

## ■汎用インターフェイス PAC-SE46DC

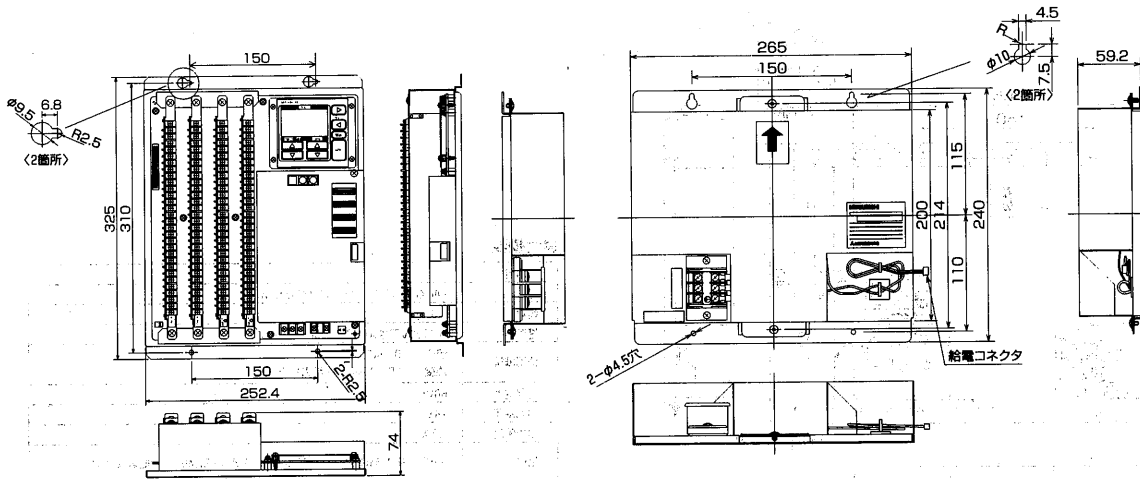


### ■仕様表

項目	内容
製品寸法	120(H)×200(W)×55(D)mm
質量	0.6kg
電源	個別給電ユニット<別売>またはDC24V別電源<別途手配>より受電
消費電力	3W
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH<結露なきこと>
材質	ABS
塗装色	カバー部 ホワイトグレー <マンセル4.48Y7.92/0.66>
据付方法	JISC8336の3個用のスイッチボックス<現地手配>へ取り付け。又は、壁に据付け伝送線は、無極性2線CM-NET伝送線に接続



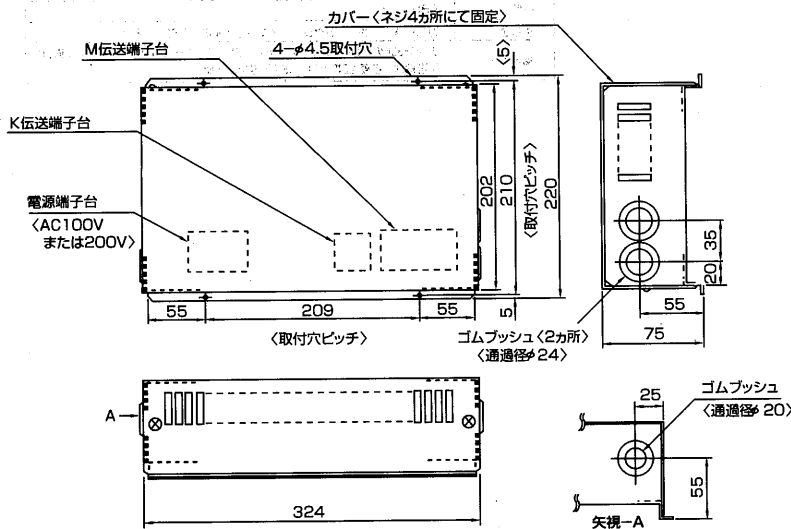
# ■多接点汎用インタフェース MI-96MB



■仕様表

項目	内容	
インタフェース 本体	製品寸法	325(H)×252.4(W)×74(D)mm
	質量	2.2kg
	電源	DC24V〈専用電源ユニット使用〉
	消費電力	30W
	使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH〈結露なきこと〉
据付方法	専用ボックス内等に取り付け	
電源 ユニット	製品寸法	240(H)×265(W)×59.2(D)mm
	質量	1.8kg
	電源	AC100V又はAC200V
	消費電力	60W
	使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH〈結露なきこと〉
据付方法	専用ボックス内等に取り付け	

# ■K伝送コンバータ PAC-SC25KA



■仕様表

項目	内容
電源	単相 AC100V(0.4A)/AC200V(0.2A) 50/60Hz
消費電力	40W
外形寸法	75(H)×324(W)×220(D)mm 取付穴ピッチ209×210mm 穴径 4.5mm
重量	2.5kg
環境条件	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH〈結露なきこと〉
取付方法	水平・垂直いずれでも可能。 但し、垂直取付の場合は、端子台を下方にすること。 専用ボックス内設置の場合は、付属カバーは取付不要。

## 2.2 手元リモコンの選定

手元リモコンには、室内外伝送線上に接続するM-NETリモコンと、各室内ユニットに接続するMAリモコンの2種類があります。選択に際しては、下記事項にご注意ください。

### 2.2.1 機能・仕様比較

機能・仕様	MAリモコン <注1, 4>	M-NETリモコン <注2, 4>
リモコンアドレス設定	不要	必要
室内・室外ユニットアドレス設定	不要<単一冷媒システムのみ> <注3>	必要
配線方式	無極2線 * グループ運転時は、室内ユニット間を無極2線渡り配線必要	無極2線
リモコン取付位置	グループ内のどの室内ユニットに接続しても可	室内外伝送線上のどこに接続しても可
換気ユニットとの連動	室内ユニット毎に連動換気ユニットを自由に設定可能<同一グループ内のリモコンによる登録>	室内ユニット毎に連動換気ユニットを自由に設定可能<リモコンによる登録>
グループ変更時	室内ユニット間のMAリモコン配線の変更が必要	室内ユニットとリモコンのアドレス変更またはMELANSでの登録変更が必要

注1. MAリモコンとは、MAリモコン及びワイヤレスリモコンを表します。

注2. M-NETリモコンとは、MEリモコン及びコンパクトリモコンを表します。

注3. 単一冷媒システム時も、システム構成によりアドレス設定が必要な場合があります。

[2.5. システム接続例]をご覧ください。

注4. 異冷媒グループ運転またはシステムコントローラ接続時も、MAリモコンまたはM-NETリモコンのどちらでも接続可能です。

### 2.2.2 手元リモコン選定のポイント

MAリモコン/M-NETリモコンの選定は、各々の特性を活かしたシステムになるように選択してください。以下に、選定の目安を示します。

MAリモコン <注1, 2, 5>	M-NETリモコン <注1, 2, 5>
<ul style="list-style-type: none"> <li>システム拡張、グループ変更の可能性が少ない場合</li> <li>据付工事時に、グループ編成&lt;間仕切り&gt;が決定している場合</li> <li>SET-Y機種の場合、伝送線用給電拡張ユニットなしで32台接続可能&lt;全室内ユニットが224形未満の場合&gt; &lt;注3&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモコンの集中設置やシステム拡張、グループ変更の可能性のある場合</li> <li>据付工事時にグループ編成&lt;間仕切り&gt;が未決定の場合</li> <li>加熱加湿器付ロスナイに直接リモコンを接続したい場合</li> <li>BIG-Y・SET-Y機種の場合、伝送線用給電拡張ユニットなしで20台接続可能&lt;全室内ユニットが224形未満の場合&gt; &lt;注4&gt;</li> </ul>

注1. 同一グループ室内ユニットに、M-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。

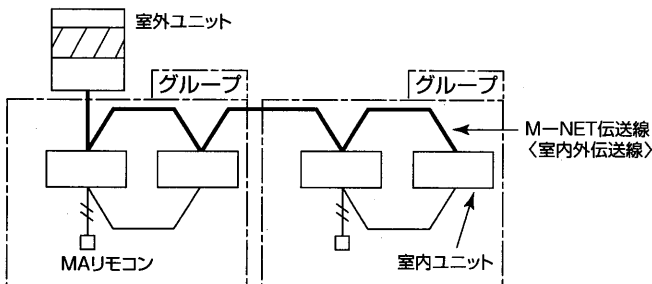
注2. MAリモコンとM-NETリモコンを混在する場合は、必ずシステムコントローラを接続してください。

注3. 224形以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が26台を超える場合に伝送線用給電拡張ユニットが必要です。

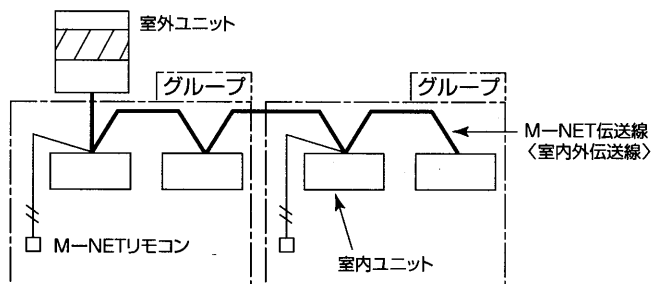
注4. 224形以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が16台を超える場合は伝送線用給電拡張ユニットが必要です。

注5. 機能の詳細は [2.2.3 手元リモコンの機能比較] を参照願います。

<MAリモコンを使用した場合>



<M-NETリモコンを使用した場合>



※M-NETリモコンは、M-NET伝送線<室内外伝送線>上のどこにでも接続可能です。

## 2.2.3 手元リモコンの機能比較

	MAリモコン		M-NETリモコン	
	MAリモコン 〈注1〉	ワイヤレスリモコン 〈注1, 2〉	MEリモコン	コンパクトリモコン 〈注2, 3〉
運転/停止	○	○	○	○
空調機運転モード切換	○	○	○	×
室温設定	○	○	○	○
風速設定	○	○	○	○
風向設定	○	○	○	×
タイマー制御 〈注4〉	1日タイマー	○	○	×
	毎日タイマー	×	×	×
	簡単切タイマー	×	×	×
室温設定範囲制限機能 〈注5〉	×	×	○	×
リモコン操作簡易ロック機能 〈注6〉	×	×	○	×
室内ユニットと換気連動時の換気単独運転	○	×	○	×
リモコンからの換気連動登録	○	×	○	×
加熱加湿付ロスナイ 〈注1〉	×	×	○	○

注1. 加熱加湿付ロスナイに、MAリモコンを直接接続できません。〈MEリモコンをご使用するか、もしくは室内ユニットの連動機としてご使用ください〉

2. ワイヤレスリモコン〈ワイヤレスリモコンの自動アドレス立ち上げを除く〉、及びコンパクトリモコンには換気登録機能がない為、換気連動時はMAリモコン、MEリモコンまたは、システムコントローラからの初期設定が必要です。

3. コンパクトリモコンは、運転モード及び風向設定ができない為、MEリモコンまたは、システムコントローラとの併用が必要です。

4. 1日タイマー：1回ずつのON/OFF設定ができ、1日のみ有効です。

毎日タイマー：1回ずつのON/OFF設定ができ、毎日同時刻にタイマー運転が可能です。

簡単切タイマー：30分～4時間の間で切タイマーを設定できます。

〈簡単切タイマーモードでは、次回運転時にも自動的に切タイマーが作動し、切り忘れ防止用のタイマーとしても使用できます〉

5. 通常、室温調節範囲は冷房時19℃～30℃、暖房時17℃～28℃の範囲で自由に温度設定が可能ですが、この室温調節範囲を冷房時は下限温度、暖房時は上限温度を予め任意の温度値に制限する機能です。

これにより、冷房時は通常より高め、暖房時は低めの設定温度範囲としておけば、過度の冷房、暖房運転を防ぎ、手軽に省エネ対策が実現できます。

6. リモコンの全ボタンをロックあるいは、運転/停止ボタン以外のボタンをロックすることが可能です。

## 2.3 システム制御

### 2.3.1 システム構成の制約（システム制限の各ユニット共通事項）

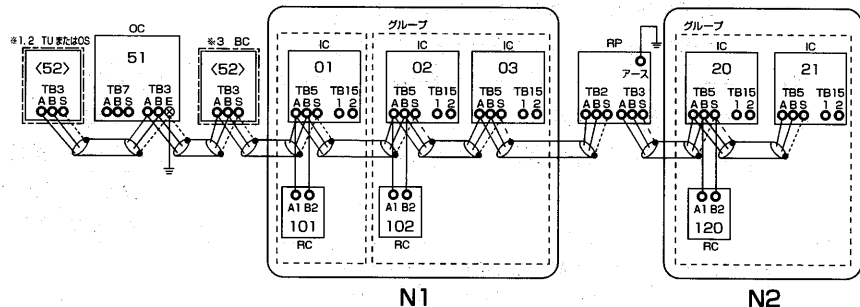
項目	立ち上げ方法	室内外自動 アドレス立ち上げ の場合〈注4〉	室内外手動 アドレス立ち上げ の場合	システムコントローラ接続立ち上げの場合〈注5〉			
				集中管理用伝送線 に接続の場合	室内外伝送線に接続の場合〈注10〉		
					SC1台時	SC2台時	SC3台時
リモコン接続台数		1グループ内2リモコンまで接続					
1グループ内の室内ユニット接続台数		1~16台					
室内ユニットへの換気ユニット接続台数		室内ユニット1台あたり1台					
換気ユニットへの室内ユニット接続台数		冷媒系統内の 全室内ユニット〈注6〉	換気ユニット1台あたり1~16台任意〈注7〉				
冷媒系統内の換気ユニット接続台数〈注1〉		1台	—	—	—		
室内外伝送線接続時のシステムコントローラ接続台数		—	—	—	冷媒系統内に最大3台		
冷媒系統内の総接続台数 〈MAリモコン接続の場合〉 〈注2〉	全室内ユニットが 224形未満の場合	最大32台〈ロスナイ除く〉			最大30台	最大28台	最大26台
	224形以上 含まれる場合	最大26台〈注8〉			最大24台 最大22台 最大20台 〈注11,12〉		
冷媒系統内の総接続台数 〈M-NETリモコン接続の場合〉 〈注2、3〉	全室内ユニットが 224形未満の場合	最大20台〈40台〉 〈注8,9〉			最大18台 〈38台〉	最大16台 〈36台〉	最大14台 〈34台〉
	224形以上 含まれる場合	最大16台〈32台〉 〈注8,9〉			最大14台 〈30台〉	最大12台 〈28台〉	最大10台 〈26台〉

- 注1. 一部の室内ユニットとロスナイを連動する場合、ロスナイを連動せずに単独で使用する場合、冷媒系統内に16台を超える室内ユニットとロスナイを連動する場合または、冷媒系統内にロスナイを2台以上接続する場合は、「室内外自動アドレス立ち上げ」はできません。  
\*「室内外手動アドレス立ち上げ」又は「システムコントローラ接続立ち上げ」を選択ください。
2. 総接続台数とは、室内ユニット及び換気ユニット〈加熱加湿付ロスナイ〉の合計数です。
3. MAリモコンとM-NETリモコンを併用した場合の制限台数は、〈M-NETリモコン接続時〉となります。
4. グループ運転で発停人力を使用する場合は、「室内外自動アドレス立ち上げ」はできません。
5. MAリモコンとM-NETリモコンを併用する場合は、システムコントローラを接続し「システムコントローラ接続立ち上げ」となります。
6. 「室内外自動アドレス立ち上げ」で換気ユニットを接続した場合は、自動的に冷媒系統内の全室内ユニットと連動登録されます。
7. 「室内外自動アドレス立ち上げ」以外の場合は、室内ユニットと換気ユニットの連動登録が必要です。
8. 最大数を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要です。
9. 〈 〉内は、室内ユニットとM-NETリモコンの合計台数です。
10. 室内外伝送線に接続可能なシステムコントローラは、MJ-103MTR-B, MJ-111AN-C, PAC-YT40ANR, PAC-SF43SC, PAC-SC30GRです。ただし、室外ユニットのシティマルチS〈PUSY-J・S〉M-Bは、室内外伝送線にシステムコントローラを接続できません。また、室内外伝送線にシステムコントローラを接続する場合は、室外ユニットの電源を遮断した場合などにシステムコントローラからの操作ができなくなりますので、ご使用には十分ご注意ください。
11. システムコントローラ1台につき、室内ユニットの接続台数が2台減少します。また、冷媒系統内に最大3台のシステムコントローラが接続できます。
12. システムコントローラを室内外伝送線に接続した場合、伝送線用給電拡張ユニットはご使用になれません。最大数を超える場合は、システムコントローラを集中管理用伝送線に接続してください。

#### ①伝送線用給電拡張ユニットの接続方法

冷媒系統内の総接続台数が最大台数を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要です。室外ユニットから伝送線用給電拡張ユニットまでの室内ユニット台数「N1」と、伝送線用給電拡張ユニット以降の室内ユニット台数「N2」を下表の制限台数内としてください。

リモコンの種類	MA リモコン〈注1〉	M-NET リモコン〈注2〉
全室内ユニットが 224形未満の場合の 室内ユニット台数	32	20 〈40〉
224形以上が 含まれる場合の 室内ユニット台数	26	16 〈32〉



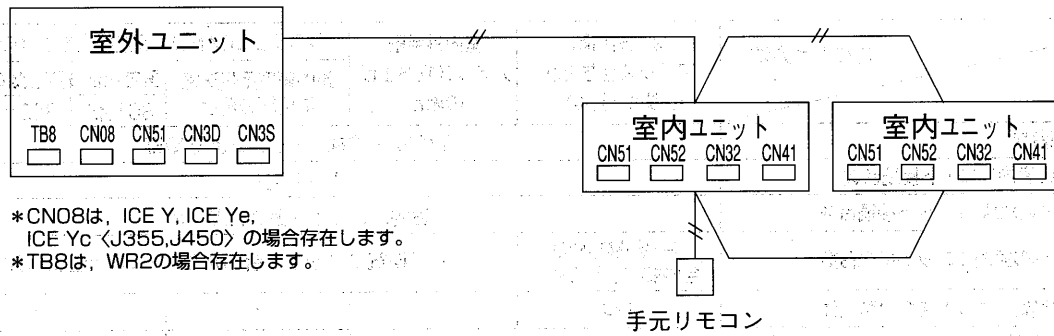
〈 〉内は、室内ユニット及びM-NETリモコンの合計数

- 注1. MAリモコンとは、MAリモコン及びワイヤレスリモコンを表します。
2. M-NETリモコンとは、MEリモコン及びコンパクトリモコンを表します。

- \*1 TU: シティマルチICE Yk 〈J280, J355, J450, J560〉システムのみの存在
- \*2 OS: SET Yシステムの場合のみ存在
- \*3 BC: R2/WR2システムの場合のみ存在

- IC: 室内ユニット
- RC: M-NETリモコン
- OC: 室外ユニット
- RP: 伝送線用給電拡張ユニット

## 2.3.2 室外／室内ユニットの入出力コネクタ仕様



## 2.3.3 室内ユニットのシステム制御

### (1) 各種発停制御〈室内ユニット設定〉

室内ユニットのDIPSW〈SW1-9, 10〉により、室内ユニット〈グループ〉毎の発停制御が可能です。

機能	室内ユニット復電時の動作	設定〈SW1〉〈注4〉	
		9	10
電源発停〈注1, 2, 3〉	電源を切る〈停電する〉前の状態にかかわらず運転開始〈約5分後〉	—	ON
停電自動復帰	電源を切る〈停電する〉前に運転していた場合に運転開始〈約5分後〉	ON	OFF
	電源を切る〈停電する〉前の状態にかかわらず停止のまま	OFF	OFF

- 注1. 室外ユニットの電源は、遮断しないでください。  
室外ユニットのクランクケースヒータ電源が遮断されてしまうため、復電後運転させた場合に圧縮機の故障につながる可能性があります。
2. ドレンポンプかつ加湿器搭載機種は対応できません。
3. ドレンポンプ搭載機種は、同一冷媒系統一括の電源発停以外対応できません。
4. 室内ユニットグループ内の全ユニットのDIPSWの設定が必要です。

### (2) 入出力信号用コネクタを使用した各種制御〈各種オプションによる接続〉

分類	使用用途	機能	使用端子	使用オプション
入力 〈注1〉	室内ユニットグループ毎に外部からの接点・スイッチ等の入・切により、発停制御をする方法 *タイマーアダプターとして使用可能 〈注1〉 *「切り忘れ防止」や「強制停止」として使用可能	遠方/手元切換 〈注3〉 発停〈レベル〉 〈注2, 4〉	CN32	遠方発停用アダプター 〈PAC-SE55RA〉
	室内ユニットグループ毎に外部からのパルス入力〈a接点〉により、運転/停止を反転させ発停制御をする方法	発停〈パルス〉 〈注2, 4〉	CN51	遠方表示用アダプター〈注5, 6〉 〈PAC-SA88HA〉
	室内ユニットグループ毎にHA, JEMA規格によるHA端子で、発停制御をする方法 *本規格に合致したテレコンからの発停制御として使用可能	発停〈パルス〉 〈HA, JEMA規格〉 〈注2, 4〉	CN41	
	室内ユニット毎に外部からの接点・スイッチ等の入・切により、冷暖房運転の禁止〈強制送風〉制御をする方法 *室内ユニット毎のデマンド制御として使用可能	デマンド〈レベル〉	CN52	遠方表示用アダプター〈注5, 6〉 〈PAC-SA88HA〉
出力 〈注7〉	室内ユニットグループ毎に外部へ信号を取り出す方法 *運転状態の表示装置として使用可能 *外部機器との連動制御として使用可能	運転状態	CN51	M制御用遠方表示キット〈注6〉 〈PAC-YU80HK〉
		異常状態		
		運転モード〈暖房〉状態	CN52	
		運転モード〈冷房・ドライ〉状態 サーモON〈又は送風〉状態		

- 注1. 信号入力は、グループ内の親機だけに接続してください。  
〈但し、デマンド入力は室内ユニット個別に信号入力が必要です。〉
2. グループ運転で発停入力を使用する場合は、手元リモコンが必要です。〈MAリモコン又はM-NETリモコン〉
3. 遠方に設定時には、手元リモコンからの操作は出来ません。リモコンは「集中管理表示」となります。
4. グループ運転で発停入力を使用する場合は、「室内外自動アドレス立ち上げ」はできません。
5. CN51又はCN52を出力信号と併用する場合は、M制御用遠方表示キットを必ずご使用ください。
6. M制御用遠方表示キットは、そのままCN51及びCN52の信号もご使用になれます。
7. 信号出力の「運転状態」及び「運転モード〈暖房/冷房・ドライ〉状態」をご使用になる場合は、親機だけに接続してください。  
「異常状態」「サーモON〈又は送風〉状態」をご使用になる場合は、室内ユニット個別に接続してください。

①遠方/手元切換〈CN32〉を使用した場合の説明

遠方手元切換	発停	状態	リモコン表示及び操作
OFF	OFF	手元/許可	操作有効
ON	OFF	遠方/停止	遠方中は“集中管理表示”
ON	ON	遠方/運転	リモコン運転操作 [ON/OFF] 禁止〈無効〉

②入出力信号組合せ制限

	発停の種類		遠方/手元 切換	発停 〈パルス〉	HA発停 〈JEMA〉	電源発停	復電自動復帰
1	遠方/手元切換	CN32	—	△〈注1〉	△〈注1〉	△〈注1〉	△〈注1〉
2	発停〈パルス〉	CN51		—	○	○	○
3	HA発停〈JEMA〉	CN41			—	○	○
4	電源発停	—				—	×
5	復電自動復帰	—					—

注1. 発停〈パルス〉・電源発停・復電自動復帰は、遠方/手元切換〈CN32〉が“手元”に設定されている場合にのみ使用可能です。ご使用には十分ご注意ください。

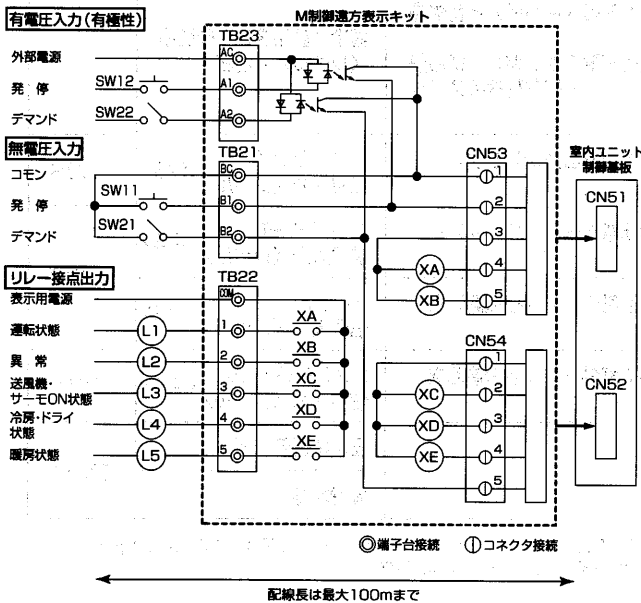
③発停〈パルス〉入力仕様

項目	内容
入力信号	パルス信号〈a接点〉
パルス規格	<p>200ms以上</p>

④入出力信号用コネクタ仕様

(a) M制御用遠方表示キット〈PAC-YU80HK〉

※本表示キットは、フリープラン室内機〈Cタイプ以降〉用です。出力信号をご利用時には、必ず本表示キットをご使用ください。遠方表示用アダプター〈PAC-SA88HA〉は使用できません。



〈有電圧入力（有極性）の場合〉

外部電源	DC12~24V 入力電流〈1接点あたり〉 約10mA〈DC12V〉
SW12	遠方発停スイッチ ※SWを押す〈パルス入力する〉 毎にON/OFFを反転します。
SW22	デマンドスイッチ ※SW ON時、冷暖房運転を禁止 〈強制送風〉します。

〈無電圧入力の場合〉

SW11	遠方発停スイッチ ※SWを押す〈パルス入力する〉 毎にON/OFFを反転します。
SW21	デマンドスイッチ ※SW ON時、冷暖房運転を禁止 〈強制送風〉します。

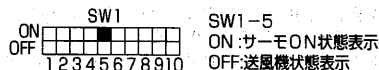
微小電流用接点 DC12V 1mA

〈リレー接点出力〉

表示用電源	DC30V 1A AC100V/200V 1A	L4	冷房・ドライ状態表示ランプ
L1	運転状態表示ランプ	L5	暖房状態表示ランプ
L2	異常状態表示ランプ	XA~XE	リレー 〈許容電流 10mA~1A〉
L3	SW1-5 ON時:サーモON SW1-5 OFF時:送風機状態表示ランプ		

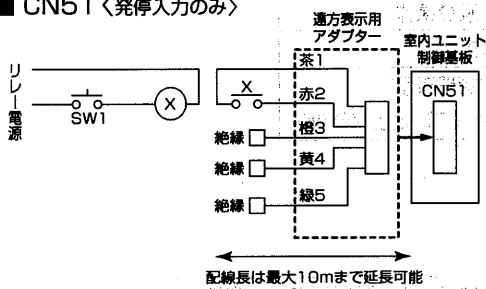
●室内ユニット側の設定

- 1) 発停〈パルス〉は遠方/手元切換〈CN32〉が、“手元”に設定されている場合にのみ使用可能です。
- 2) サーモON状態を表示するには、アドレス基板上的のディップスイッチSW1-5をONにセットしてください。  
工場出荷時設定は、OFF〈送風機状態表示〉です。

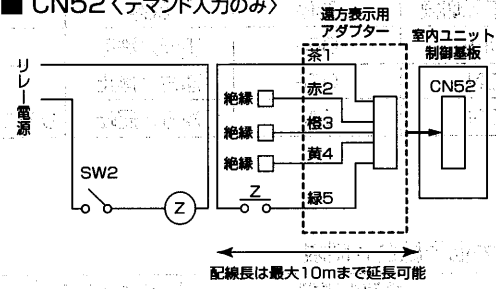


(b) 遠方表示用アダプター〈PAC-SA88HA〉

■ CN51〈発停入力のみ〉



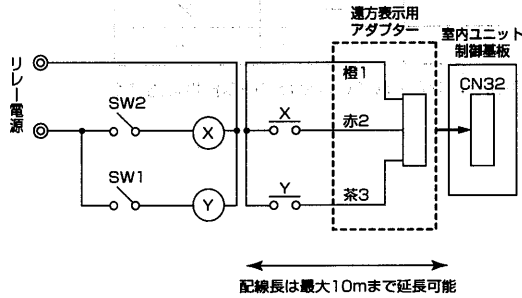
■ CN52〈デマンド入力のみ〉



SW1	遠方発停スイッチ〈モーメンタリースイッチ〉 ※SWを押す(パルス入力する)毎にON/OFFを反転します。
X: リレー〈接点: 最小適用負荷 DC12V 1mA〉	

SW2	デマンドスイッチ ※SW ON時, 冷暖房運転を禁止〈強制送風〉します。
Z: リレー〈接点: 最小適用負荷 DC12V 1mA〉	

(c) 遠方発停用アダプター〈PAC-SE55RA〉



SW1	遠方/手元切換スイッチ
SW2	発停スイッチ ※SW1が ON時のみ有効
X, Y: リレー〈接点: 最小適用負荷 DC12V 1mA〉	

2.3.4 室外ユニットのシステム制御

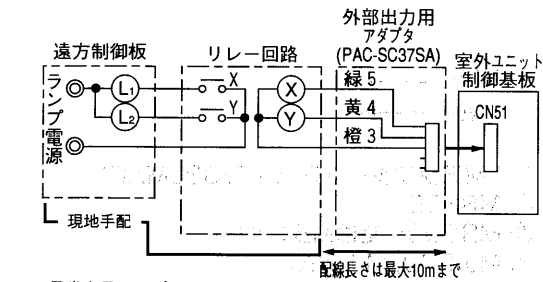
● 入出力信号用コネクタを使用した各種制御〈各種オプションによる接続〉

分類	使用用途	機能	使用端子
入力	室外ユニットへの外部からの入力により, 冷暖房運転の禁止〈サーモOFF〉制御をする方法 * 冷媒系統毎のデマンド制御として使用可能	デマンド〈レベル〉	CN3D
	室外ユニットへの外部からの入力により, 室外ユニットの低騒音運転を行います。 (ナイトモードは一定の外気温度条件下 冷房時: 30℃以下/暖房時: 3℃以上でのモード作動となります。)	ナイトモード〈注1〉 サイレントモード入力〈レベル〉〈注1〉	
	室外ユニットへの外部からの入力により, 蓄冷熱運転時の蓄冷運転〈接点開〉と蓄熱運転〈接点閉〉を切換えます。 * 通常は室外ユニットが自動で蓄冷熱運転を切換えるため接続不要です。但し, 蓄冷熱運転の切換を手動で行いたい場合は外部入力の接続と室外ユニット制御基板のスイッチ設定変更〈SW4-9 ON〉を行ってください。	蓄冷/蓄熱運転手動切換〈レベル〉〈注2〉	
	スノーセンサからの降雪信号をうけて, 強制的に室外ユニットを送風運転します。	スノーセンサ信号入力〈レベル〉〈注3〉	
	室外ユニットへの外部からの入力により, 蓄熱利用暖房時の通常モード〈接点開〉とエコノミーモード〈接点閉〉を切換えます。	エコノミーモード信号入力〈レベル〉〈注4〉	
	室外ユニットへの外部からの入力により, 蓄熱利用暖房時の通常モード〈接点開〉とEモード〈接点閉〉を切換えます。	Eモード信号入力〈レベル〉〈注5〉	
ポンプインターロック回路からの接点信号を受けて, 強制的に室外ユニットの運転を停止します。	ポンプインターロック信号入力〈レベル〉〈注6〉	TB8	
出力	室外ユニットから外部へ信号を取出す方法 * 運転状態の表示装置として使用可能 * 外部機器との運動制御として使用可能	圧縮機運転状態	CN51
		異常状態	

- 注1. 適用機種 ナイトモード : シティマルチY (J224, J280, P140, P160, P224, P280), シティマルチBIG Y, SET Y, R2, ICE Yp  
サイレントモード : シティマルチY (J140, J160), シティマルチS (J80, J112, J140, J160)
2. 適用機種 シティマルチICE Yc (J355, J450)
3. 適用機種 シティマルチY, BIG Y, SET Y, R2, ICE Y (J355, J450, J560), ICE Ye (J355, J450), ICE Yc (J355, J450), ICE Yp
4. 適用機種 シティマルチICE Y (J355, J450, J560)
5. 適用機種 シティマルチICE Ye (J355, J450), ICE Yc (J355, J450)
6. 適用機種 シティマルチWR2

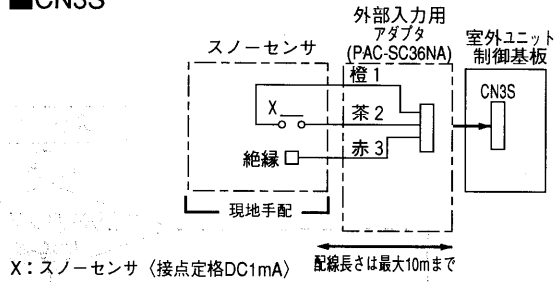
## 室外ユニット 入出力コネクタ

### ■CN51



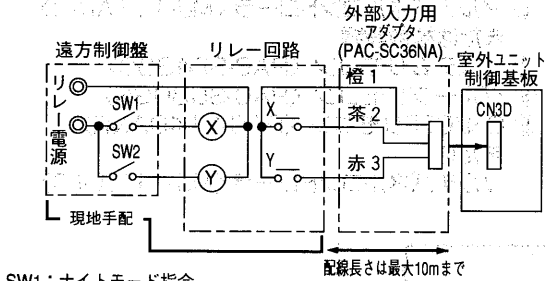
L1 : 異常表示ランプ  
L2 : 圧縮機運転表示ランプ  
X,Y : リレー (DC12V用コイル定格0.9W以下)

### ■CN3S



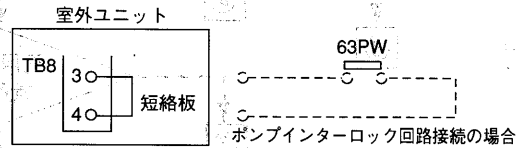
X : スノーセンサ (接点定格DC1mA) 配線長さは最大10mまで

### ■CN3D



SW1 : ナイトモード指令  
SW2 : デマンド指令  
X,Y : リレー (接点定格DC1mA)

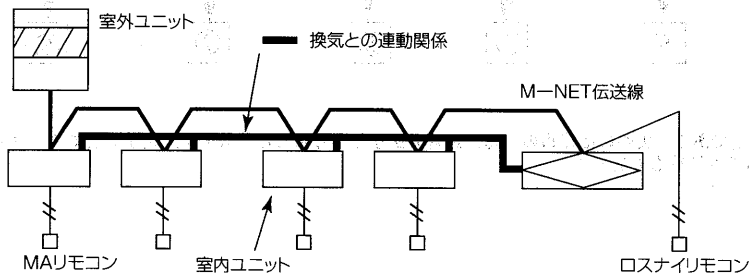
### ■TB8



TB8の3,4へポンプインターロック回路信号接続の際には、短絡板を取外してください。また圧力開閉器63PWには接触不良による誤検知防止のために最低保証電流5mA以下のものを使用してください。

## 2.3.5 ロスナイの連動制御

以下のロスナイは、室内ユニットからの連動とロスナイリモコンからの単独運転併用が可能です。



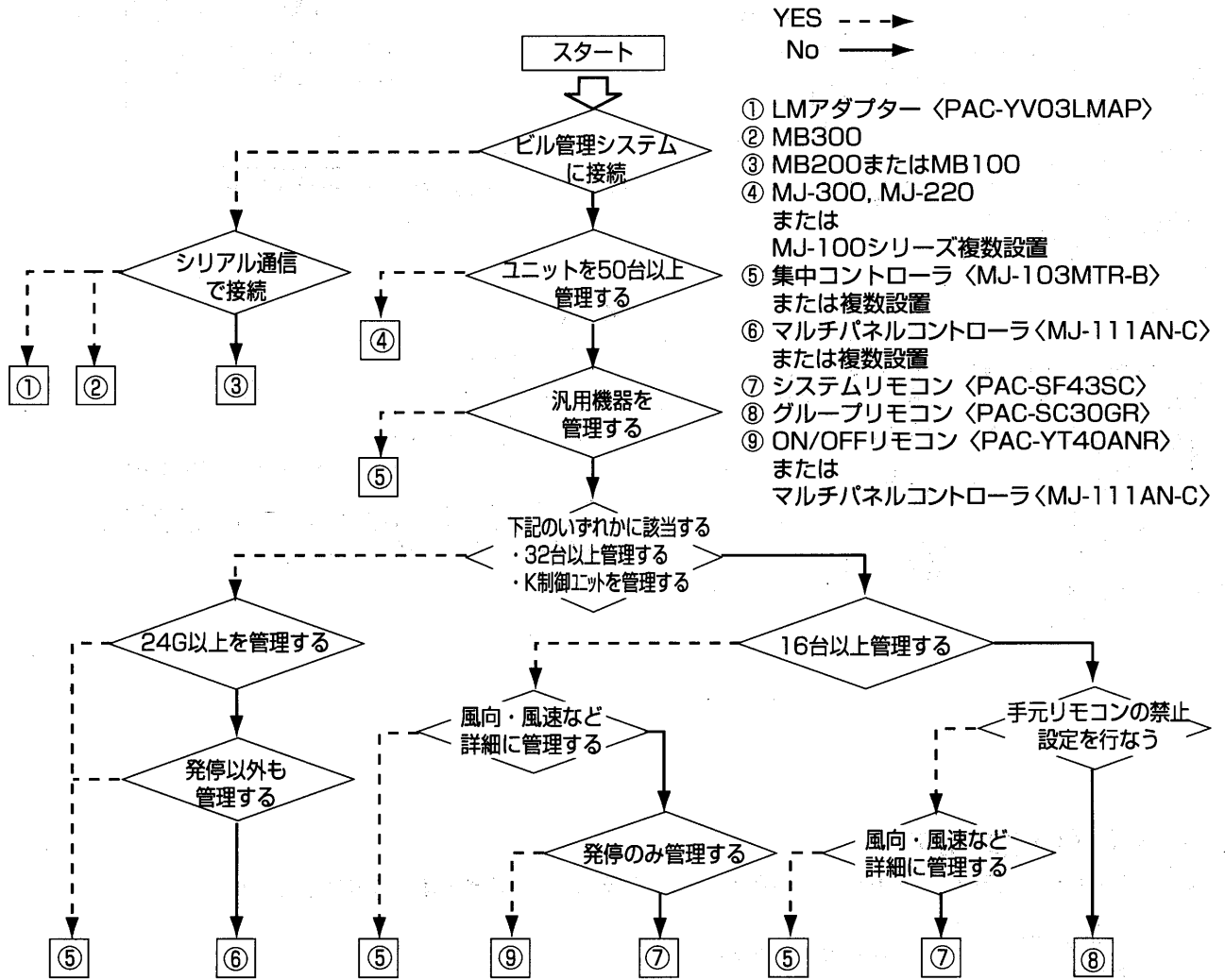
### 併用可能な機種〈形名〉

- ・天吊カセット形 (LGH-\*\*CF2, LGH-\*\*CF2D)
- ・天吊埋込形 (LGH-\*\*RX3)
- ・床置ビルトイン形 (LB-\*\*F2)
- ・床置ビルトイン形加湿付 (LB-\*\*KF2)
- ・フリープランアダプタ (PZ-53ADF, PZ-53ADFD)



## 2.3.6 システムコントローラを使用した制御

### (1) システムコントローラの選定



※上記フローチャートは、一般的なシステム選定の目安であり、実際には建物の用途、運営方法などを考慮したシステム選定が必要です。また、上記で選定したコントローラ同士の組み合わせによるシステム構築も可能です。

(2)各システムコントローラの特長

	グループリモコン PAC-SC30GR	システムリモコン PAC-SF43SC	ON/OFFリモコン PAC-YT40ANR	マルチパネルコントローラ MJ-1111AN-C	集中コントローラ MJ-103MTR-B
管理可能ユニット台数/グループ数	16台/8G	50台/32G	50台/16G	50台/24G	50台/50G
K制御ユニットの管理	×	×	×	○	○
汎用機器〈汎用インターフェース使用〉の管理	×	○	○	×	○
機能	運転/停止	○	○	○	○
	空調機運転モード切換	○	○	×	×
	室温設定	○	○	×	×
	風速設定	○	×	×	×
	風向設定	○	×	×	×
	手元操作への禁止/許可	×	◎〈上位時のみ〉	△〈外部入力〉	△〈外部入力〉
	特定モードへの操作禁止設定	×	◎〈一括のみ〉	×	×
	室温表示	○	×	×	×
	異常内容表示	○	◎	△〈LED点滅〉	△〈LED点滅〉
	異常履歴	○	×	×	×
	スケジュール	△〈注1〉	△〈注1〉	×	×
	グループ制御換気機器への換気モード操作	×	○	×	×
	換気機器の連動運転	○	△〈注2〉	△〈注2〉	△〈注2〉
	外部入力緊急停止	×	◎〈注3〉〈一括のみ〉	◎〈一括のみ〉	◎〈一括のみ〉
外部出力〈運転状態, 異常出力〉	×	×	◎〈一括のみ〉	◎〈一括のみ〉	
その他	手元リモコンなしシステム	○	×	×	○
	伝送線接続位置〈室内外系/集中管理系〉〈注5〉	○/○	○/○	○/○	○/○
	グループリング/タイマー情報バックアップ〈注6〉	○	○	○	○
	現在時刻停電保証時間	×	×	×	×

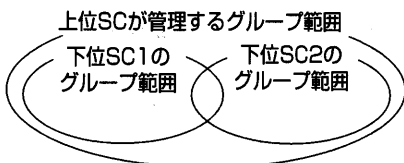
◎：グループ又は一括操作可能 △：条件付きで可能 ○：グループ操作可能・対応可能 ×：機能なし・対応不可

- 注1. スケジュールタイマーを接続することにより設定可能です。但し、1接点しかありませんので、各グループ毎に別々のスケジュール時間を設定することはできません。  
また、スケジュール運転予約中に運転スイッチ操作をしてもスケジュール運転予約は解除されません。  
2. 換気単独運転は設定できませんが、室内機の運転/停止動作に連動して運転/停止することは可能です。  
3. システムリモコンでは、スケジュールと外部入力緊急停止の併用使用はできません。  
4. システムリモコンは風速及び風向操作機能がなく、ON/OFFリモコン及びマルチパネルコントローラは運転モードなどの操作機能がないため、基本的には手元リモコンなしシステムでのご使用はできません。  
5. システムコントローラを室内外伝送線に接続する場合、システムコントローラの台数により冷媒系統内の総接続台数の制限が異なります。必ず、[2.3.1システム構成の制約]をご覧ください。  
6. グループリング情報/タイマー情報は、不揮発メモリに記憶していますので停電時記憶情報は保持されます。  
しかし、落雷や伝送線ノイズが大きい場合などは記憶情報が消失する可能性があります。  
7. 伝送線より電圧を受電し、内部のコンデンサに充電を行います。充電には約1日必要です。  
〈電池とは異なり、内部コンデンサの交換は不要です。〉

※上位SC設定/下位SC設定とグループ管理について

各システムコントローラには、上位設定/下位設定を切り換えるスイッチがあります。これは、管理する空調システムの同一系統に2台以上システムコントローラを併用する場合に、スイッチの設定が必要となります。

上位SC設定：空調システムの系統全体を管理するシステムコントローラ  
下位SC設定：上位SC設定と同一範囲内、又は、その範囲以内のグループを管理するシステムコントローラ



\* 下位SCは上位SCが管理するグループ以外は管理できません。  
\* 管理するグループが全く異なればシステムに上位SCが2台以上存在しても構いません。

通常は、機能が多いシステムコントローラを上位設定にします。従って、MJ-103MTR-B>PAC-SF43SC>MJ-1111AN-C>PAC-YT40ANR>PAC-SC30GR>PAC-YV03LMAPの順になります。

\* 上位機種 (MJ-220,MJ-300など) が接続される場合は、上記機種は必ず下位設定となります。

### (3) システムコントローラの電源

システムコントローラはM-NET伝送線からの給電となります。〈LMアダプターを除く〉

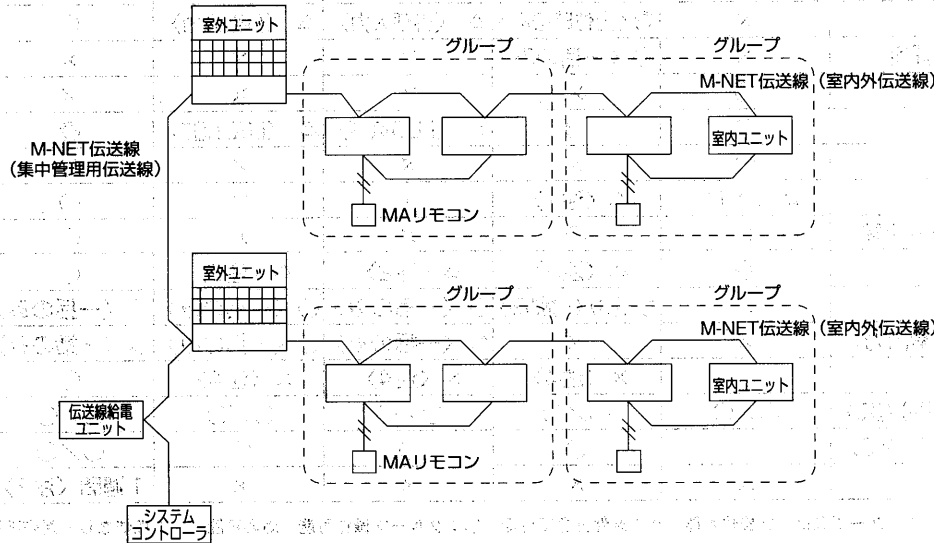
#### ① 集中管理用伝送線に接続する場合 〈LMアダプターを除く〉

伝送線用給電ユニット 〈PAC-SC33KU/PAC-SC34KU〉 が必要です。

それぞれの伝送線用給電ユニットにより接続できるシステムコントローラの台数が異なります。

伝送線用給電ユニット	システムコントローラ (集中コントローラ/マルチパネルコントローラ/ON/OFFリモコン)
PAC-SC33KU	1~2台
PAC-SC34KU	1~5台

\*グループリモコン及び、システムリモコンは集中コントローラ/マルチパネルコントローラ/ON/OFFリモコンに比べ消費電力が1/2です。従って、グループリモコンやシステムリモコンは1台につき、1/2台として上表に照らし合わせてください。



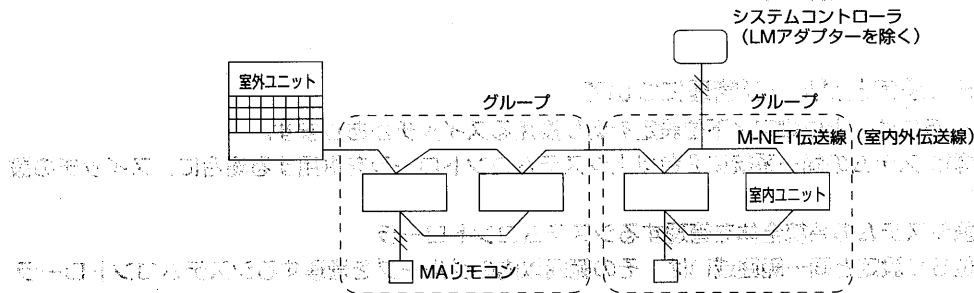
#### ② 室内外伝送線に接続する場合 〈LMアダプターを除く〉

システムコントローラはM-NET伝送線の室内外伝送線に最大3台まで接続可能です。

この場合、伝送線用給電ユニットが不要です。

\*システムコントローラの接続台数により冷媒系統内の総接続台数の制限が異なります。  
必ず、[2.3.1システム構成の制約]をご覧ください。

〈システムコントローラを室内外伝送線へ接続した場合〉



\*室内外伝送線にシステムコントローラを接続する場合は、室外ユニットの電源を遮断した場合などにシステムコントローラからの操作ができなくなりますので、ご使用には十分ご注意ください。

#### ③ LMアダプターの場合

電源単相AC200Vが必要です。

\*LMアダプターのみ接続する場合は伝送線用給電ユニットは不要ですが、LMアダプターの給電切替コネクタ〈CN41〉を〈CN40〉に差し替えてください。

(4) システムコントローラの外部入出力仕様 <LMアダプターを除く>

外部入出力使用時に使用するリレー、ダイオード、電源、ランプ、延長ケーブルなどは現地手配です。また、外部入出力接続用の専用ケーブルが必要です。マルチパネルコントローラには同梱されていますが、集中コントローラ、システムリモコン、ON/OFFリモコンを使用する場合、別売設定されていますので別途手配が必要です。

集中コントローラ用 : PAC-SE59HA      システムリモコン用 : PAC-SF61NA  
ON/OFFリモコン用 : PAC-YT41HA

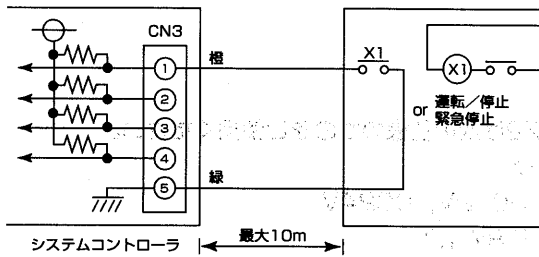
① 集中コントローラ、マルチパネルコントローラの場合

・外部入力 <推奨回路例>

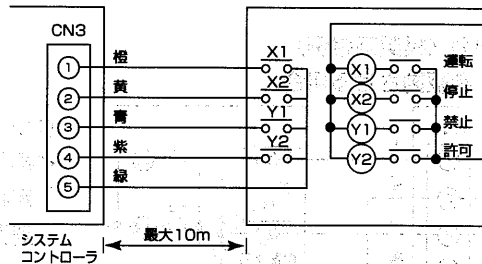
DipSWの設定により、下記の機能を選択できます。

No.	DipSW		外部入力信号の機能	入力状態
	6	7		
1	OFF	OFF	外部入力使用せず。	-
2	OFF	ON	緊急停止/通常を切替える。 緊急停止中、全ユニットを停止させ本機及び、手元リモコンの発/停操作が禁止となります。	レベル入力
3	ON	OFF	運転/停止を設定する。 入力状態により、全ユニットを運転/停止します。 本機能を使用中、本機及び、手元リモコンの発/停操作が禁止となります。	レベル入力
4	ON	ON	運転/停止・禁止/許可を設定する。 入力状態により、全ユニットを運転/停止したり、全手元リモコンの操作を禁止します。禁止入力の場合、手元リモコンの発/停、運転モード、設定温度、フィルターリセットの操作が禁止されます。本機は操作可能。 <マルチパネルコントローラの場合は、手元リモコンの発/停操作のみ禁止となります。>	パルス入力 <0.5s~1.0s>

(A) レベル信号の場合

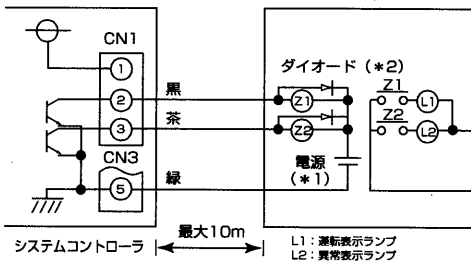


(B) パルス信号の場合



・外部出力 <推奨回路例>

リレーを駆動させる場合



リレーZ1, Z2は次の仕様のものでご使用ください。

<操作コイル>

定格電圧 : DC12V, DC24V

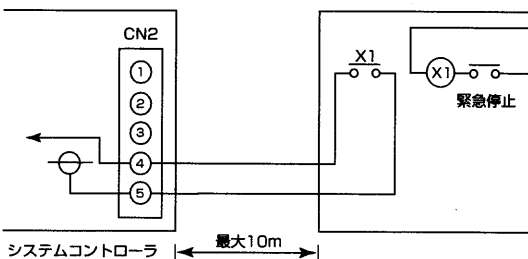
消費電力 : 0.9W以下

\*1 使用するリレーに合わせて電源を別途手配してください。

\*2 リレーコイルの両端に必ずダイオードを入れてください。

② システムリモコンの場合

・外部入力 <推奨回路例>



リレーは、無電圧接点、信号切替用ミニチュアリレー  
<最小適用負荷DC5V-1mA>を使用してください。

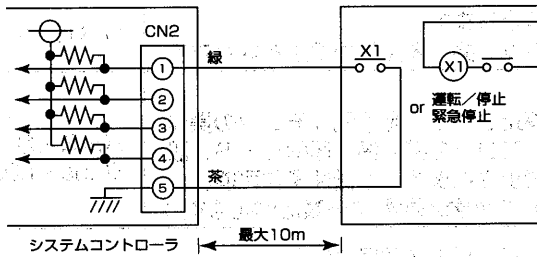
③ ON/OFFリモコンの場合

・外部入力〈推奨回路例〉

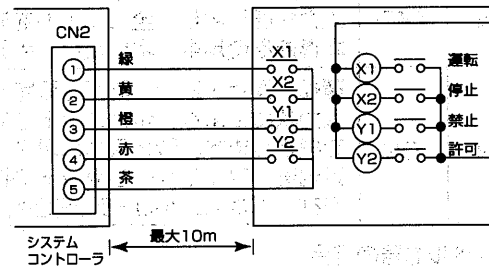
DipSWの設定により、下記の機能を選択できます。

No.	DipSW4		外部入力信号の機能	入力状態
	2	3		
1	OFF	OFF	外部入力使用せず。	—
2	OFF	ON	緊急停止／通常を切替える。 緊急停止中、全ユニットを停止させ本機及び、手元リモコンの発／停操作が禁止となります。	レベル入力
3	ON	OFF	運転／停止を設定する。 入力状態により、全ユニットを運転／停止します。 本機能を使用中、本機及び、手元リモコンの発／停操作が禁止となります。	レベル入力
4	ON	ON	運転／停止・禁止／許可を設定する。 入力状態により、全ユニットを運転／停止したり、全手元リモコンの発／停操作を禁止します。本機は操作可能。	パルス入力 (0.5s以上)

〈A〉レベル信号の場合

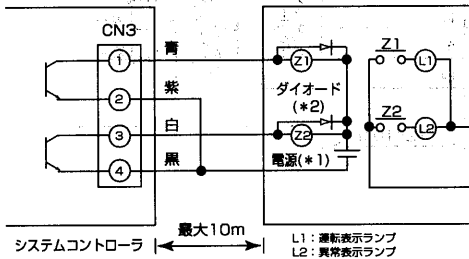


〈B〉パルス信号の場合



・外部出力〈推奨回路例〉

リレーを駆動させる場合



リレーZ1, Z2は次の仕様のものでご使用ください。

〈操作コイル〉

定格電圧：DC12V, DC24V

消費電力：0.9W以下

\*1 使用するリレーに合わせて電源を別途手配してください。

\*2 リレーコイルの両端に必ずダイオードを入れてください。

(5) システムコントローラ使用時の注意点

システムコントローラ	項目	内容									
		管理規模・機器 〈注1〉	IC	A_IC	K_IC	RAC	連LC	単LC	汎用	多汎用	
グループリモコン 〈PAC-SC30GR〉	管理規模・機器 〈注1〉	16台/8G	○	○	×	○	○	×	×	×	
	接続位置	・集中管理用伝送線或いは、室内外伝送線のどちらでも接続可能 集中管理用伝送線接続時：集中コントローラの1/2台分として換算 室内外伝送線接続時：他のシステムコントローラと併せて最大3台まで接続できます。システムコントローラの接続台数により、冷媒系統内の総接続台数の制限が異なります。 *必ず、[2.3.1システム構成の制約]及び[2.3.6(3)システムコントローラの電源]をご覧ください。									
	管理グループ範囲	・最大8グループ、管理可能グループNo.はグループリモコン自己アドレスの[下2桁]～[下2桁+7] M-NETアドレスは同一に設定できないため、グループリモコンを2台使用し各々を上位設定/下位設定にして、全く同一のグループ範囲を管理することはできません。									
システムリモコン 〈PAC-SF43SC〉	管理規模・機器 〈注1〉	50台/32G	○	○	×	○	○	○	○	×	
	接続位置	・PAC-SC30GRと同様。									
	管理グループ範囲	・最大32グループ、管理可能グループNo.は連番で任意設定可能。									
	手元操作禁止	・本機が上位SC設定時のみ設定可能です。本機能を使用したい場合、必ず上位SC設定にしてください。 ・本機から手元禁止を設定する場合、室内機の遠方/手元切換〈CN32〉は使用できません。									
	運転モード制限機能	・本機能はフリープラン室内機〈Cタイプ以降の機種〉のグループに接続される手元リモコンに対してのみ有効です。									
緊急停止入力	・本機能を使用してもRAC機種は、停止しないときがあります。RACを管理している時は、本機能は使用しないでください。										
ON-OFFリモコン 〈PAC-YT40ANR〉	管理規模・機器 〈注1〉	50台/16G	○	○	×	○	○	○	○	×	
	接続位置	・集中管理用伝送線或いは、室内外伝送線のどちらでも接続可能 集中管理用伝送線接続時：他のシステムコントローラと併せて最大5台まで接続可能 室内外伝送線接続時：他のシステムコントローラと併せて最大3台まで接続可能 システムコントローラの接続台数により冷媒系統内の接続台数の制限が異なります。 *必ず、[2.3.1システム構成の制約]及び[2.3.6(3)システムコントローラの電源]をご覧ください。									
	管理グループ範囲	・最大16グループ、管理可能グループNo.は通常自己アドレスの[下2桁]～[下2桁+15] 〈連番で任意で設定することも可能。〉									
	外部入力	・本機能の停止入力を使用してもRAC機種は、停止しないときがあります。RACを管理している時は、本機能は使用しないでください。 ・本機から手元禁止を設定入力する場合、室内機の遠方/手元切換〈CN32〉は使用できません。									
マルチパネル コントローラ 〈MJ-111AN-C〉	管理規模・機器 〈注1〉	50台/24G	○	○	○	○	○	○	×	×	
	K制御管理	・K伝送コンバータ〈形名：PAC-SC25KA〉が必要です。 K伝送コンバータのアドレスは、管理するK制御ユニットの最小アドレス+200を設定してください。 〈K伝送コンバータのアドレスはシステムコントローラへのグループ登録は不要です。〉 アドレス“0”のシステムコントローラのみK制御ユニットを管理できます。 本機でK制御機種を管理したい場合、必ずアドレスを“0”に設定してください。M-NETアドレスは同一に設定できないため、複数のシステムコントローラからK制御機種を管理できません。 ・K制御ユニットとM-NET機種のユニットの両方を管理する場合、K制御室内機のアドレスはM-NET機種の室内機アドレスより大きくなるように設定してください。また、グループ番号とそのグループに属するK制御室内機の最小アドレスが同値になるようにシステムコントローラへグループ登録してください。									
	接続位置	・PAC-YT40ANRと同様									
	管理グループ範囲	・最大24グループ、管理可能グループNo.は通常自己アドレスの[下2桁]～[下2桁+23] 但し、自己アドレス“0”の場合は、グループNo.1～24を管理します。 〈グループNo.1～50の範囲で任意で設定することも可能。〉									
外部入力	・PAC-YT40ANRと同様										

注1. 管理機種 ① IC：フリープラン室内機 ② A\_IC：M-NET通信対応A制御スリム機種 ③ K\_IC：K制御機種  
 ④ RAC：M-NET通信変換器を用いたルームエアコン、ハウジングエアコン  
 ⑤ 連LC：室内機との連動制御で運転動作するフリープランロスナイ  
 ⑥ 単LC：グループ制御で管理するフリープランロスナイ  
 ⑦ 汎用：汎用インターフェース〈PAC-SE46DC〉を介し接続された汎用機器  
 ⑧ 多汎用：多接点汎用インターフェース〈MI-96MB〉を介し接続された汎用機器

システムコントローラ	項目	内 容																																						
集中コントローラ (MJ-103MTR-B)	管理規模・機器 〈注1〉	50台/50G	IC	A_IC	K_IC	RAC	連LC	単LC	汎用	多汎用																														
	K制御管理	・MJ-111AN-Cと同様。																																						
	接続位置	・PAC-YT40ANRと同様。																																						
	管理グループ範囲	・最大50グループ、管理可能グループNo.は1~50																																						
	手元リモコン操作禁止	・本機から手元禁止を設定する場合、室内機の遠方/手元切換 (CN32) は使用できません。																																						
	外部入力	・PAC-YT40ANRと同様。																																						
LMアダプター (PAC-YV03LMAP)	管理規模・機器 〈注1〉	50台/—	IC	A_IC	K_IC	RAC	連LC	単LC	汎用	多汎用																														
		※機種により対応できない場合があります。																																						
	接続位置	・M-NET伝送線〈集中管理用伝送線〉																																						
	管理グループ範囲	・グループ管理機能はありません。 LONWORKSからの操作は、空調機で設定したグループ構成と同一の室内機〈親機/子機〉全てに対し操作が必要です。																																						
〈注〉空調機のシステム構成により対応できない場合があります、詳細は販売店にてお問い合わせください。																																								
その他	システム立上げ	<p>・上位SC設定のシステムコントローラにて、初期設定〈グループ設定・連動設定〉が必要です。グループ設定：各グループ毎にユニット、リモコン、下位システムコントローラを登録します。</p> <p>・リモコン登録： M-NETリモコン使用時のみグループ設定します。MAリモコン〈ワイヤレスリモコン含む〉使用時にはリモコンをグループ設定する必要はありません。</p> <p>・下位システムコントローラ登録： 上位システムコントローラ〈SC〉で下位SCをグループ登録する際には下位SCの管理グループ範囲内で、グループ登録してください。或いは、自己アドレス変更などで下位SC側の管理グループ範囲を変更してください。 〈下位SC側の管理グループ範囲を変更した場合、上位SC、下位SCの両方を電源リセットし再立上げしてください。〉</p> <p>連動設定：室内機と連動ロスナイの連動関係を登録します。 マルチパネルコントローラ及びON/OFFリモコンでは、連動設定ができません。 手元リモコンにて室内機と連動ロスナイとの接続関係を結んでください。その情報をマルチパネルコントローラ、ON/OFFリモコンは吸い上げます。</p>																																						
	RAC, LC使用時のリモコン給電	<p>RAC機種は、集中管理用伝送線に接続します。ロスナイは、室内外伝送線・集中管理用伝送線どちらにも接続することが可能です。 上記ユニットを集中管理用伝送線に接続した場合、各リモコンは伝送線給電ユニットから給電され接続台数の制限があります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="5">リモコン台数</th> </tr> <tr> <th>0台(0台)</th> <th>1台(2台)</th> <th>2台(4台)</th> <th>3台(5台)</th> <th>4台(5台)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">ユニット</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">伝送線用給電</td> <td>PAC-SC34KU</td> <td>30台以下</td> <td>26台以下</td> <td>22台以下</td> <td>18台以下</td> <td>14台以下</td> </tr> <tr> <td>PAC-SC33KU</td> <td>10台以下</td> <td>6台以下</td> <td>2台以下</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>ロスナイ：ロスナイリモコン RAC：MEリモコン或いはコンパクトリモコン 〈但し、RACにコンパクトリモコン埋込形 PAC-SE52CRIは接続できません。〉</p> <p>*上記台数以上のリモコンを接続する場合、伝送線用給電拡張ユニット〈PAC-SF46EP〉が別途必要です。 伝送線用給電拡張ユニットからリモコンを50台まで給電できます。</p>												リモコン台数					0台(0台)	1台(2台)	2台(4台)	3台(5台)	4台(5台)	ユニット	伝送線用給電	PAC-SC34KU	30台以下	26台以下	22台以下	18台以下	14台以下	PAC-SC33KU	10台以下	6台以下	2台以下	-	-			
			リモコン台数																																					
0台(0台)			1台(2台)	2台(4台)	3台(5台)	4台(5台)																																		
ユニット	伝送線用給電	PAC-SC34KU	30台以下	26台以下	22台以下	18台以下	14台以下																																	
	PAC-SC33KU	10台以下	6台以下	2台以下	-	-																																		
室内ユニットの外部入力との組合せ制限	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>発/停の種類 (室内ユニット外部入力コネクタ)</th> <th></th> <th>システムコントローラ 接続なし</th> <th>システムコントローラ 接続あり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>遠方/手元切換</td> <td>CN32</td> <td>○</td> <td>△〈注1〉</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>パルス発/停</td> <td>CN51</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>HA発/停〈JEMA〉</td> <td>CN41</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>電源発/停</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>復電自動復帰</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1: 遠方 手元切換 (CN32) が「遠方」設定されている場合は、システムコントローラの発停操作及び手元リモコン禁止機能は使用できません。</p>											発/停の種類 (室内ユニット外部入力コネクタ)		システムコントローラ 接続なし	システムコントローラ 接続あり	1	遠方/手元切換	CN32	○	△〈注1〉	2	パルス発/停	CN51	○	○	3	HA発/停〈JEMA〉	CN41	○	○	4	電源発/停	-	○	○	5	復電自動復帰	-	○	○
	発/停の種類 (室内ユニット外部入力コネクタ)		システムコントローラ 接続なし	システムコントローラ 接続あり																																				
1	遠方/手元切換	CN32	○	△〈注1〉																																				
2	パルス発/停	CN51	○	○																																				
3	HA発/停〈JEMA〉	CN41	○	○																																				
4	電源発/停	-	○	○																																				
5	復電自動復帰	-	○	○																																				

注1. 管理機種 ① IC：フリープラン室内機 ② A\_IC：M-NET通信対応A制御スリム機種 ③ K\_IC：K制御機種  
 ④ RAC：M-NET通信変換器を用いたルームエアコン、ハウジングエアコン  
 ⑤ 連LC：室内機との連動制御で運転動作するフリープランロスナイ  
 ⑥ 単LC：グループ制御で管理するフリープランロスナイ  
 ⑦ 汎用：汎用インターフェース (PAC-SE46DC) を介し接続された汎用機器  
 ⑧ 多汎用：多接点汎用インターフェース (MI-96MB) を介し接続された汎用機器

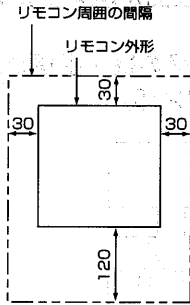
## (6) 据付スペース

- ・システムコントローラは、十分強度がある場所に設置してください。
- ・0℃以下、40℃以上になる場所、直射日光のあたる場所には据え付けしないでください。
- ・浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据え付けしないでください。

①グループリモコン、システムリモコン、ON/OFFリモコンの場合  
スイッチボックス、壁どちらかに設置することができます。

据付位置を決定する場合、下図に示すスペースを確保してください。

また、露、水滴、虫などの進入を防ぐために、伝送線引入口をパテで確実にシールしてください。



スイッチボックスに設置する場合は、下記部品を現地にて手配が必要です。

- ・2個用スイッチボックス <JIS C8336>
- ・薄鋼電線管 <JIS C8305>
- ・ロックナット、ブッシング <JIS C8330>

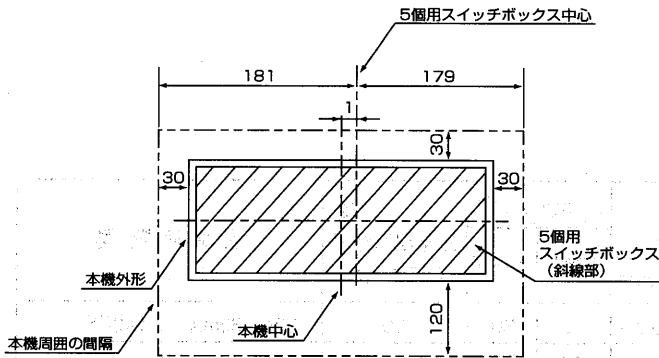
②集中コントローラ、マルチパネルコントローラの場合

スイッチボックスを使用し設置します。

据付位置を決定する場合、下図に示すスペースを確保してください。

但し、スイッチボックスに取付けた時、下図のように左方向へ1mmずれます。

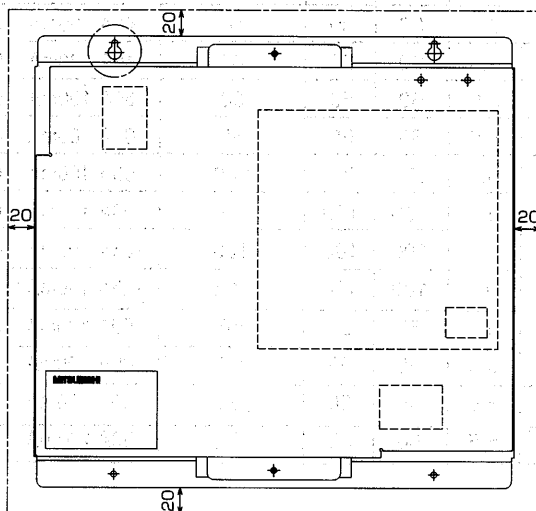
また、露、水滴、虫などの進入を防ぐために、伝送線引入口をパテで確実にシールしてください。



スイッチボックスに設置する場合は、下記部品を現地にて手配が必要です。

- ・5個用スイッチボックス <JIS C8336 (カバー付)>
- ・薄鋼電線管 <JIS C8305>
- ・ロックナット、ブッシング <JIS C8330>

③LMアダプター <PAC-YV03LMAP> の場合

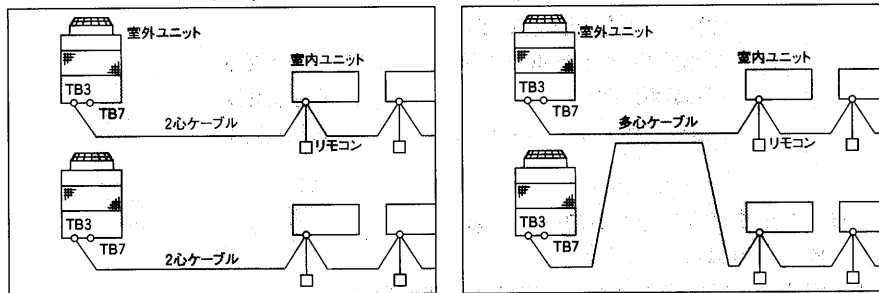




## 2.4 配線設計とシステム設定

### 2.4.1 配線設計にあたって

- 「電気設備に関する技術を決める通商産業省令」・「内線規程」及び、事前に各電力会社のご指導に従ってください。
- ユニットの外部では、伝送線用配線が電源配線の電気ノイズを受けないよう離して施設してください。〈同一電線管に入れなくてください〉
- 室外ユニットには、D種〈第3種〉接地工事を必ず実施してください。
- 室内ユニット・室外ユニットの電気品箱は、サービス時取り外すことがありますので、配線は必ず取り外すための余裕を設けてください。
- 伝送線用端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。万一接続すると電子部品が焼損します。
- 伝送線用配線は、2心線をご使用ください。  
 システムの異なる伝送線用配線を多心の同一ケーブルを使用して配線しますと、伝送信号の送・受信が正常にできなくなり、誤動作の原因になりますので絶対に行わないでください。〈下図×印〉



TB3：伝送線用端子台、TB7：集中管理用端子台

### 2.4.2 主電源の配線太さ及び開閉器容量

#### (1) 室外ユニット

<SET Yシリーズ以外>

形名	最小電線太さ(mm <sup>2</sup> )			開閉器(A)※1		※2 配線用遮断器 (NFB) (A)	漏電遮断器	
	幹線	アース		容量	ヒューズ			
		※1の場合	※2の場合					
Sシリーズ (冷暖兼用)	PUSY-P80SM-B	2.6mm	2.0mm	2.0mm	30	30	30	30A 30mA 0.1s以下
	PUSY-P80M-B	2.0mm	2.0mm	2.0mm	30	30	30	30A 30mA 0.1s以下
	PUSY-P112M-B	2.6mm	2.0mm	2.0mm	30	30	30	30A 30mA 0.1s以下
	PUSY-P140M-B	5.5	3.5	3.5	40	40	40	40A 30mA 0.1s以下
	PUSY-P160M-B	5.5	3.5	3.5	40	40	40	40A 30mA 0.1s以下
Yシリーズ (冷暖兼用)	PUHY-P140M-A1(受注生産品)	5.5	3.5	3.5	30	30	40	40A 30mA 0.1s以下
	PUHY-P160M-A1(受注生産品)	5.5	3.5	3.5	30	30	40	40A 30mA 0.1s以下
	PUHY-P224M-B1	14	3.5	3.5	60	50	50	50A 100mA 0.1s以下
	PUHY-P280M-B1	22	5.5	5.5	60	50	60	60A 100mA 0.1s以下
BIG Y シリーズ	PUHY-P355BM-B1	22	5.5	5.5	100	75	100	100A 100mA 0.1s以下
	PUHY-P450BM-B1	30	5.5	5.5	100	100	100	100A 100mA 0.1s以下
	PUHY-P560BM-B1	38	5.5	8	100	100	125	125A 100mA 0.1s以下
	PUHY-P630BM-B1	38	5.5	8	100	100	125	125A 100mA 0.1s以下
R2 シリーズ	PURY-P224M-B	14	3.5	3.5	60	50	50	50A 100mA 0.1s以下
	PURY-P280M-B	22	5.5	5.5	60	50	60	60A 100mA 0.1s以下
WR2 シリーズ	PQRY-P224M-B	14	3.5	3.5	60	50	50	50A 100mA 0.1s以下
	PQRY-P280M-B	22	5.5	5.5	60	50	60	60A 100mA 0.1s以下

<SET Yシリーズ> (渡り配線接続の場合)

形名	最小電線太さ(mm <sup>2</sup> )				開閉器(A) <sup>※1</sup>		配線用遮断器(NFB) <sup>※2</sup>	漏電遮断器
	定速ユニット	容量制御ユニット	アース		容量	ヒューズ		
			※1の場合	※2の場合				
PUHY-P674SM-B1	14	60	8	14	200	150	175	175A 100mA 0.1s以下
PUHY-P730SM-B1	22	60	8	14	200	150	175	175A 100mA 0.1s以下
PUHY-P784SM-B1	14	60	8	14	200	150	175	175A 100mA 0.1s以下
PUHY-P840SM-B1	22	60	8	14	200	150	175	175A 100mA 0.1s以下

<SET Yシリーズ> (個別配線接続の場合)

形名		最小電線太さ(mm <sup>2</sup> )				開閉器(A) <sup>※1</sup>		配線用遮断器(NFB) <sup>※2</sup>	漏電遮断器
		幹線	アース		容量	ヒューズ			
			※1の場合	※2の場合					
PUHY-P674SM-B1	定速ユニット	14	2.6mm	2.6mm	60	50	60	60A100mA 0.1s以下	
	容量制御ユニット	30	5.5	5.5	100	100	100	100A 100mA 0.1s以下	
PUHY-P730SM-B1	定速ユニット	22	5.5	5.5	60	60	60	60A 100mA 0.1s以下	
	容量制御ユニット	30	5.5	5.5	100	100	100	100A 100mA 0.1s以下	
PUHY-P784SM-B1	定速ユニット	14	2.6mm	2.6mm	60	50	60	60A 100mA 0.1s以下	
	容量制御ユニット	38	5.5	8	100	100	125	125A 100mA 0.1s以下	
PUHY-P840SM-B1	定速ユニット	22	5.5	5.5	60	60	60	60A 100mA 0.1s以下	
	容量制御ユニット	38	5.5	8	100	100	125	125A 100mA 0.1s以下	

<注> 表中、※1は、開閉器の場合、※2は、配線用遮断器の場合のアース線太さを示します。

(2)室内ユニット

<SET Yシリーズ以外>

形名	最小電線太さ(mm <sup>2</sup> )			開閉器(A)		配線用遮断器(NFB)(A)	漏電遮断器
	幹線	分岐線	アース	容量	ヒューズ		
室内ユニット(下記機種以外)	1.6mm	1.6mm	—	15	15	15	20A 30mA 0.1s以下
PFFY-P450・560DM-C	1.6mm	1.6mm	—	30	30	30	30A 30mA 0.1s以下

<SET Yシリーズ>

形名	最小電線太さ(mm <sup>2</sup> )			開閉器(A)		配線用遮断器(NFB)	漏電遮断器
	幹線	アース		容量	ヒューズ		
室内ユニットの 合計運転電流 ※	15A以下	1.6mm	—	15	15	15	15A 30mA 0.1s以下
	20A以下	2.0mm	—	20	20	20	20A 30mA 0.1s以下
	30A以下	5.5	—	30	30	30	30A 30mA 0.1s以下

※ヒューズはB種ヒューズを使用した場合の値です。

※室内ユニット合計運転電流は運転状態によって変動することがありますので遮断器誤作動防止のため、カタログ等から求めた電流値より20%程度大きい値で遮断器等を選定してください。

※PFFY-P450・560DM-Cを接続する場合は<SET Yシリーズ以外>の表を参照ください。

(3)システムコントローラ

・電線の太さ 0.75mm<sup>2</sup>~

## 2.4.3 制御配線の種類と許容長

制御配線は、システム構成により異なります。配線工事の前に必ず、【2.5 システム接続例】をご覧ください。  
 制御線配線には、「伝送線」と「リモコン線」があり、システム構成により配線の種類及び許容長が異なります。  
 また、以下に示すように、伝送線が長い場合やノイズ源がユニットに近傍している場合は、ノイズ障害防止のために  
 ユニット本体をノイズ源から離すと共に、シールド線の使用を推奨します。

### (1) 伝送線〈M-NET伝送線〉

システム構成		単一冷媒システムシステムの場合		複数冷媒システムシステムの場合
配線の種類	伝送線の長さ	120m未満		120m以上
	対象施設例 〈ノイズ判定〉	住宅及び独立店舗 などノイズ発生が ない施設	ビル、診療所、病院、通信事業所などインバータ 機器、自家発電機器、高周波医療機器、無線通信 装置などによるノイズの発生が想定される施設	長さに無関係
	線種	VCTF・VCTEK・CVV・ CVS・VVR・VVF・VCT 又はシールド線 CVVS・ CPEVS	シールド線 CVVS・CPEVS	
	線数	2心ケーブル		
	線径	1.25mm <sup>2</sup> 以上		
室内外伝送線最遠長		最大120m		最大200m
集中管理用伝送線及び 室内外伝送線最遠長 〈室外ユニットを経由した最遠長〉		—		最大500m *集中管理用伝送線に設置され る伝送線用給電ユニットから 各室外ユニット及びシステム コントローラまでの配線長は 最大200m

### (2) リモコン線

配線の種類	MAリモコン〈注1〉		M-NETリモコン〈注2〉	
		VCTF, VCTFK, CVV, CVS, VVR, VVF, VCT	10m以下	10mを超える場合
	線数	2心ケーブル		(1)伝送線と同一仕様となります
	線径	0.3~1.25mm <sup>2</sup> 〈注3〉	0.5~0.75mm <sup>2</sup>	
総延長	最大200m	最大10m	10mを超える部分は、室内外伝 送線最遠長の内数としてください	

- 注1. MAリモコンとは、MAリモコン及びワイヤレスリモコンを示します。  
 注2. M-NETリモコンとは、MEリモコン及びコンパクトリモコンを示します。  
 注3. 作業上、0.75mm<sup>2</sup>までの線径を推奨します。

## 2.4.4 スイッチ設定の種類と方法

スイッチ設定は、システム構成により設定の要否が異なります。配線工事の前に必ず、【2.5 システム接続例】を  
 ご覧ください。また、スイッチを設定する場合は、必ず電源を遮断した状態で行ってください。  
 通電状態のままスイッチを操作した場合は、設定内容が変わらず正常に動作しません。

スイッチ設定ユニット		記号	電源遮断ユニット
室外ユニット		OC	室外ユニット
室外補助ユニット	蓄熱槽ユニット ※1	TU	蓄熱槽ユニット
	定速ユニット ※2	OS	室外ユニット及び定速ユニット
	分流コントローラ ※3	BC	室外ユニット及び分流コントローラ
室内ユニット	親機・子機	IC	室外ユニット及び室内ユニット
ロスナイ	※4	LC	室外ユニット及びロスナイ
M-NETリモコン	主・従リモコン	RC	室外ユニット
MAリモコン	主・従リモコン	MA	室内ユニット

- ※ 1TUは、ICE-Ykシステムの場合のみ存在します。  
 ※ 2OSは、SET-Yシステムの場合のみ存在します。  
 ※ 3BCは、(W)R2システムの場合のみ存在します。  
 ※ 4LCは、LC接続時です。

## (1) アドレスの設定

システム構成により、アドレス設定の要否及びアドレス設定範囲が異なります。

[2.5システム接続例] でご確認ください。

ユニット又はコントローラ		記号	アドレス設定範囲	設定方法	工場出荷時の アドレス設定
室内ユニット	親機・子機	IC	0, 01~50 注1	同一グループ内の親機にしたい室内ユニットを最も若いアドレスにし、 同一グループ内の室内ユニットアドレスを連番に設定してください。注6	00
	ロスナイ	LC		全室内ユニット設定後に任意のアドレスを設定してください。	00
M-NETリモコン	主リモコン	RC	101~150	同一グループ内の最も若い室内ユニット親機アドレス+100に設定してください。	101
	従リモコン	RC	151~200 注2	同一グループ内の最も若い室内ユニット親機アドレス+150に設定してください。	
MAリモコン		MA	アドレス設定不要です。〈但し、2リモコン運転する場合は主従切換スイッチ設定が必要です〉		主
室外ユニット		OC	0, 51~100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若い室内ユニットアドレス+50に設定してください。	00
室外補助ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	注1, 3, 4	冷媒系内の室外ユニットアドレス+11に設定してください。	
	定速ユニット	OS			
	分流コントローラ	BC			
システムコントローラ	グループリモコン	GR, SC	201~250	管理したい最小グループNo.+ "200" に設定してください。	201
	システムリモコン	GR, SC	201~250	左記アドレス範囲で任意	201
	ON/OFFリモコン	AN, SC	201~250	管理したい最小グループNo.+ "200" に設定してください。	201
	マルチパネル コントローラ 注5	AN, SC	0, 201~250	管理したい最小グループNo.+ "200" に設定してください。 (0のときは201と同じ) ただし、K制御ユニットを管理したい場合は "0" に設定してください。	201
	集中コントローラ 注5	TR, SC	0, 201~250	左記アドレス範囲で任意 ただし、上位SC設定で使用する場合、あるいは、K制御ユニットを管理したい 場合は "0" に設定してください。	000
	LMアダプター	SC	201~250	左記アドレス範囲で任意	247

注1. 単一冷媒システム時(一部を除く)は、アドレス設定不要です。

2. M-NETリモコンのアドレスを "200" に設定する場合は "00" としてください。

3. 室外ユニット及び室外補助ユニットのアドレスを "100" に設定する場合は "50" としてください。

4. 他の冷媒システムの室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きアドレスを設定してください。

5. K制御ユニットを管理する場合

① K伝送コンバータ(形名:PAC-SC25KA)が必要です。K伝送コンバータのアドレスは、管理するK制御ユニットの 最小アドレス+200を設定してください。

② システムコントローラ(MJ-103MTR-Bあるいは、MJ-111AN-C)のアドレスを "0" に設定してください。アドレス "0" のシステムコントローラでしかK制御ユニットを管理できません。

③ K制御ユニットとM-NET機種種のユニットの両方を管理する場合、K制御室内機のアドレスはM-NET機種種の室内機アドレスより大きくなるように設定してください。

また、グループ番号とそのグループに属するK制御室内機の最小アドレスが同値になるようにシステムコントローラへグループ登録してください。

6. 450・560形の室内ユニットには、アドレスを設定する制御基板が2枚あります。

アドレスを設定する場合は、右側の制御基板(電源端子台に近い方)のアドレスを若いアドレスとしてください。

また、左側の制御基板アドレスを「右側の制御基板アドレス+1」としてしてください。

## (2) MAリモコン主従切換スイッチの設定

MAリモコンには、主・従切換スイッチがあります。2リモコン運転する場合は一方を従リモコンに設定してください。

SW番号	SW内容	SW設定		設定説明	工場出荷時の 設定
		ON	OFF		
1	リモコン主/従設定	主	従	1グループ2台接続時どちらか一方を「従」設定にします。	ON
2	リモコン電源投入時	通常立ち上げ	タイマーモード立ち上げ	スケジュールタイマー接続時の停電復帰時タイマーモードで復帰させたい場合、「タイマーモード立ち上げ」設定にします。	ON
3	自動設定時冷房/暖房表示	あり	なし	自動モード設定時のみ「冷房」「暖房」表示をさせたくない場合、「なし」設定にします。	ON
4	吸い込み温度表示	あり	なし	吸い込み温度を表示させたくない場合、「なし」設定にします。	ON

\*通常はSW-1リモコン主/従設定以外のSWは変更しないでください。

**(3)室内ユニット分岐口スイッチの設定** [R2/WR2機種時 〈工場出荷時の設定：“0”〉]

対応する分流コントローラの分岐口スイッチを設定してください。

分岐口を2つ以上使用する場合には、若い分岐口を設定してください。

分岐口1つ当たりの接続可能室内ユニット容量は90形以下、接続可能台数は3台以下です。

**(4)室外ユニット給電切換コネクタの設定** 〈工場出荷時の設定：“CN41”にコネクタ接続〉

システム構成	設定内容
単一冷媒系統システム	CN41のまま 〈工場出荷時の設定〉
複数冷媒系統システム	1台の室外ユニット〈OC〉のみ、給電切換コネクタ〈CN41〉を〈CN40〉に差し替えます。
システムコントローラとの接続システム	CN41のまま 〈工場出荷時の設定〉 *但し、複数冷媒系統システム時で伝送線用給電ユニットを使用せずに、システムコントローラ又はグループリモコンを室内外伝送線に接続する場合は、1台の室外ユニット〈OC〉のみ、給電切換コネクタ〈CN41〉を〈CN40〉に差し替えます。

**(5)室外ユニット集中管理スイッチの設定** 〈工場出荷時の設定：SW2-1 “OFF”〉

システム構成	集中管理スイッチの設定 〈SW2-1〉
システムコントローラとの接続システム なし	OFFのまま 〈工場出荷時の設定〉
システムコントローラとの接続システム あり 注1	ON

注1. LMアダプターのみ接続する場合は、SW2-1は“OFF”のままにしてください。

**(6)室内ユニット室温検出位置の設定** 〈工場出荷時の設定：SW1-1 “OFF”〉

①リモコン内蔵センサを使用する場合は、SW1-1を“ON”に設定してください。

\*リモコンの機種により、内蔵センサがないものがあります。

その場合は、室内ユニット内蔵センサにてご使用ください。

\*リモコン内蔵センサ使用時は、室温検出可能な部分へのリモコン取付をお願いします。

注. オールフレッシュ室内ユニット〈PEFY-P・M-C-F, PFFY-P・RM-C-F〉の工場出荷時はSW1-1が“ON”となります。

②別売温度センサを使用する場合は、SW1-1を“OFF”，SW3-8を“ON”に設定してください。

\*別売温度センサ使用時は、室温検出可能な部分への温度センサ取付をお願いします。

(7)システムコントローラのスイッチ設定

機種	設定部位	内容	設定方法	工場出荷時の設定																										
グループリモコン/ システムリモコン	SW3 〈上位/下位設定〉	上位SC設定 /下位SC設定	上位SC設定時：上位側 下位SC設定時：下位側 注1	上位SC 設定																										
ON/OFFリモコン	DipSW4-1 〈上位/下位設定〉	上位SC設定 /下位SC設定	上位SC設定時：OFF 下位SC設定時：ON 注1	OFF																										
	DipSW4-2,3	外部入力機能切換 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th colspan="2">DipSW4</th> <th rowspan="2">外部入力信号の機能</th> <th rowspan="2">入力状態</th> </tr> <tr> <th>2</th> <th>3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>外部入力使用せず</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>緊急停止/通常を切り換える</td> <td>レベル入力</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>運転/停止を設定する</td> <td>レベル入力</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>運転/停止・禁止/許可を設定する</td> <td>パルス入力〈0.5s以上〉</td> </tr> </tbody> </table>	No.	DipSW4		外部入力信号の機能	入力状態	2	3	1	OFF	OFF	外部入力使用せず	-	2	OFF	ON	緊急停止/通常を切り換える	レベル入力	3	ON	OFF	運転/停止を設定する	レベル入力	4	ON	ON	運転/停止・禁止/許可を設定する	パルス入力〈0.5s以上〉	
No.	DipSW4			外部入力信号の機能	入力状態																									
	2	3																												
1	OFF	OFF	外部入力使用せず	-																										
2	OFF	ON	緊急停止/通常を切り換える	レベル入力																										
3	ON	OFF	運転/停止を設定する	レベル入力																										
4	ON	ON	運転/停止・禁止/許可を設定する	パルス入力〈0.5s以上〉																										
集中コントローラ/ マルチパネルコントローラ	DipSW1 〈モード切替〉	通常モード /初期設定モード	通常モード : OFF 初期設定モード : ON	OFF																										
	DipSW2 〈上位/下位設定〉	上位SC設定 /下位SC設定	上位SC設定時：OFF 下位SC設定時：ON 注1	OFF																										
	DipSW3 〈K制御管理〉	K制御ユニット管理 あり/なし	K制御ユニット管理なし：OFF K制御ユニット管理あり：ON 注2	OFF																										
	DipSW4 〈操作禁止設定機能〉	手元リモコンへの 操作禁止設定 機能あり/なし	本機から手元リモコン/他のシステムコントローラの 操作を禁止設定する場合 : OFF 本機から手元リモコン/他のシステムコントローラの 操作を禁止設定しない場合 : ON 注3	OFF																										
	DipSW6,7	外部入力機能切換 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">No.</th> <th colspan="2">DipSW</th> <th rowspan="2">外部入力信号の機能</th> <th rowspan="2">入力状態</th> </tr> <tr> <th>6</th> <th>7</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>OFF</td> <td>OFF</td> <td>外部入力使用せず</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>OFF</td> <td>ON</td> <td>緊急停止/通常を切り換える</td> <td>レベル入力</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ON</td> <td>OFF</td> <td>運転/停止を設定する</td> <td>レベル入力</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>ON</td> <td>ON</td> <td>運転/停止・禁止/許可を設定する</td> <td>パルス入力〈0.5s~1.0s〉</td> </tr> </tbody> </table>	No.	DipSW		外部入力信号の機能	入力状態	6	7	1	OFF	OFF	外部入力使用せず	-	2	OFF	ON	緊急停止/通常を切り換える	レベル入力	3	ON	OFF	運転/停止を設定する	レベル入力	4	ON	ON	運転/停止・禁止/許可を設定する	パルス入力〈0.5s~1.0s〉	
No.	DipSW			外部入力信号の機能	入力状態																									
	6	7																												
1	OFF	OFF	外部入力使用せず	-																										
2	OFF	ON	緊急停止/通常を切り換える	レベル入力																										
3	ON	OFF	運転/停止を設定する	レベル入力																										
4	ON	ON	運転/停止・禁止/許可を設定する	パルス入力〈0.5s~1.0s〉																										
DipSW8 〈操作禁止範囲〉	操作禁止時の範囲 手元リモコンのみ/ システムコントローラ含む	操作禁止設定時 手元リモコン及び本機以外の システムコントローラ の操作を禁止 : OFF 手元リモコンのみ 操作禁止 : ON 注4		OFF																										
LMアダプター	SW1-1	手元リモコン操作 禁止設定切換	操作禁止nv〈入力/出力〉 を使用しない場合 : OFF 操作禁止nv〈入力/出力〉 を使用する場合 : ON	OFF																										
	SW1-2	システムコントローラ 併用設定切換	システムコントローラを 併用しない場合 : OFF システムコントローラを 併用する場合 : ON	OFF																										
	SW1-5	M-NETロスナイ 設定切換 ※SW1-2がOFFの場合のみ有効	空調機側でロスナイと室内 ユニットを運動する場合 : OFF 空調機側でロスナイと室内 ユニットを運動せずに、 LONWORKSからロスナイを 直接操作する場合 : ON	OFF																										
	SW1-6	ミスタースリム用 M-NETアダプター設定切換 ※SW1-2がOFFの場合のみ有効	LONWORKSからミスタースリム を操作しない場合 : OFF LONWORKSからミスタースリム を操作する場合 : ON	OFF																										
	SW1-8	強制サーモOFF設定切換	強制サーモOFFnv〈入力/出力〉 を使用しない場合 : OFF 強制サーモOFFnv〈入力/出力〉 を使用する場合 : ON	OFF																										
	CN41	LMアダプター コネクタ〈CN41〉	LMアダプター のみの接続の場合は、 LMアダプターの給電切換 コネクタ〈CN41〉を〈CN40〉 に差し替えます。		CN41																									

注 LONWORKSに接続される機器の管理内容により、LMアダプター上のスイッチ設定が異なります。  
管理内容を十分ご確認の上、システム設定を行ってください。

- 注1. “3. (1) ※上位SC設定/下位SC設定とグループ管理について”を参考に設定します。  
 2. K制御ユニットを管理できるシステムコントローラはアドレス“0”のコントローラのみです。  
 アドレス“0”以外のシステムコントローラではDipSW3をONに設定しないでください。  
 3. 同一システムにシステムコントローラが複数設置される場合、手元リモコン〈システムコントローラも含む〉の操作を禁止設定できるシステムコントローラはシステムに1台です。本機以外のシステムコントローラから手元リモコン〈システムコントローラも含む〉の操作を禁止する場合は、必ずDipSW4をONに設定してください。この場合、本機から手元リモコンへの操作禁止設定はできません。  
 4. 集中コントローラでのみ設定可能です。マルチパネルコントローラでは設定できません。〈出荷時のOFFのままとしてください〉

(8)その他

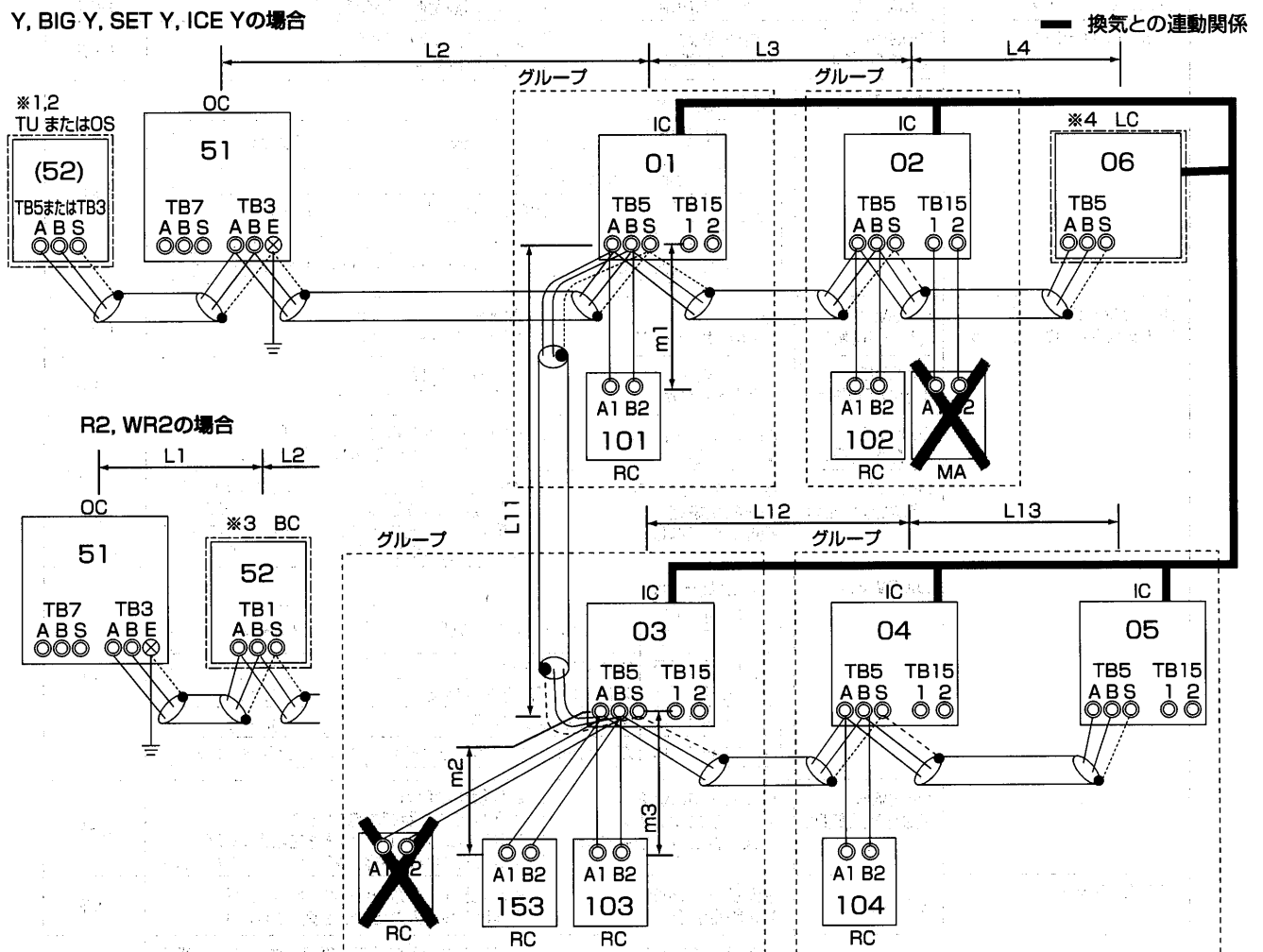
- ①室内ユニット冷房専用設定「冷房専用機種時〈工場出荷時の設定：SW3-1 “OFF”〉」  
 室内ユニットを冷房専用タイプとして使用される場合は、SW3-1を“ON”に設定してください。

## 2.5 システム接続例

### 2.5.1 MAリモコンを用いたシステム

(1) 単一冷媒システムの場合 (室内外自動アドレス立ち上げ)

制御線配線例



- ※1. TUは、シテイマルチICE Yk (J280, J355, J450, J560) システムの場合のみ存在します。
- ※2. OSは、SET Yシステムの場合のみ存在します。
- ※3. BCは、(W)R2システムの場合のみ存在します。
- ※4. LCは、LC接続時です。

—シールド線使用例—

#### 禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。
3. 224形以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が26台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
4. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。
5. 室内グループ運転で発停入力 (CN32, CN51, CN41) を使用する場合は、「室内外自動アドレス立ち上げ」はできません。(1)  
②「室内外手動アドレス立ち上げ」をご参照ください。

#### 許容長

##### < a. 室内外伝送線 >

最遠長 (1.25mm<sup>2</sup>以上)

$$\langle L1 \rangle + \langle L2 \rangle + \langle L3 \rangle + \langle L4 \rangle \leq 200\text{m}$$

$$\langle L1 \rangle + \langle L2 \rangle + \langle L11 \rangle + \langle L12 \rangle + \langle L13 \rangle \leq 200\text{m}$$

##### < b. 集中管理用伝送線 >

※L1はR2・WR2の場合

接続不要です

##### < c. MAリモコン配線 >

総延長 (0.3~1.25mm<sup>2</sup>)

$$m1 \leq 200\text{m}$$

$$m2 + m3 \leq 200\text{m}$$

$$m4 + m5 \leq 200\text{m}$$

## 配線方法・アドレス設定方法

### < a. 室内外伝送線 >

室外ユニット〈OC〉の室内外伝送線用端子台〈TB3〉のA、B端子と蓄熱槽ユニット〈TU〉の室内外伝送線用端子台〈TB5〉のA、B端子／定速ユニット〈OS〉の室内外伝送線用端子台〈TB3〉のA、B端子／分流コントローラ〈BC〉の室内外伝送線用端子台〈TB1〉のA、B端子、及び各室内ユニット〈IC〉の室内外伝送線用端子台〈TB5〉のA、B端子を渡り配線します。〈無極性2線〉

※伝送線が長い場合やノイズ源がユニットに近接している場合は、シールド線の使用を推奨します。

#### [シールド線の処理]

シールド線のアースは、OCのアースネジと、TUの端子台〈TB5〉／OSの端子台〈TB3〉／BCの端子台〈TB1〉のS端子、及びICの端子台〈TB5〉のS端子とを渡り配線します。

### < b. 集中管理用伝送線 >

接続不要です。

### < c. MAリモコン配線 >

ICのMAリモコン線用端子台〈TB15〉の1、2端子をそれぞれMAリモコン〈MA〉の端子台に接続します〈無極性2線〉

※MAリモコンは、室内ユニットCタイプ以降の機種に接続可能です。

#### [2リモコン運転の場合]

2リモコンとする場合は、ICの端子台〈TB15〉の1、2端子と2つのMAの端子台をそれぞれ接続します。

※一方のMAリモコンの主従切換スイッチを従リモコンに設定してください。〈設定方法は、MAリモコンの据付説明書をご覧ください。〉

#### [室内グループ運転の場合]

ICをグループ運転する場合は、同一グループ内の全ICの端子台〈TB15〉の1、2端子同士を接続し、一方のICの端子台〈TB15〉の1、2端子とMAリモコンの端子を接続します。〈無極性2線〉

※機能が異なる室内ユニットを同一グループ運転する場合は、(1)②をご参照ください。

### < d. ロスナイ接続 >

ICの端子台〈TB5〉のA、B端子とロスナイ〈LC〉の室内外伝送線用端子台〈TB5〉を渡り配線します。〈無極性2線〉

※自動的に冷媒系統内の全室内ユニットと連動登録されます。

※一部の室内ユニットとロスナイを連動する場合、ロスナイを連動せずに単独で使用する場合、冷媒系統内に16台を超える室内ユニットとロスナイを連動する場合または、冷媒系統内にロスナイを2台以上接続する場合は、(1)②「室内手動アドレス立ち上げ」をご参照ください。

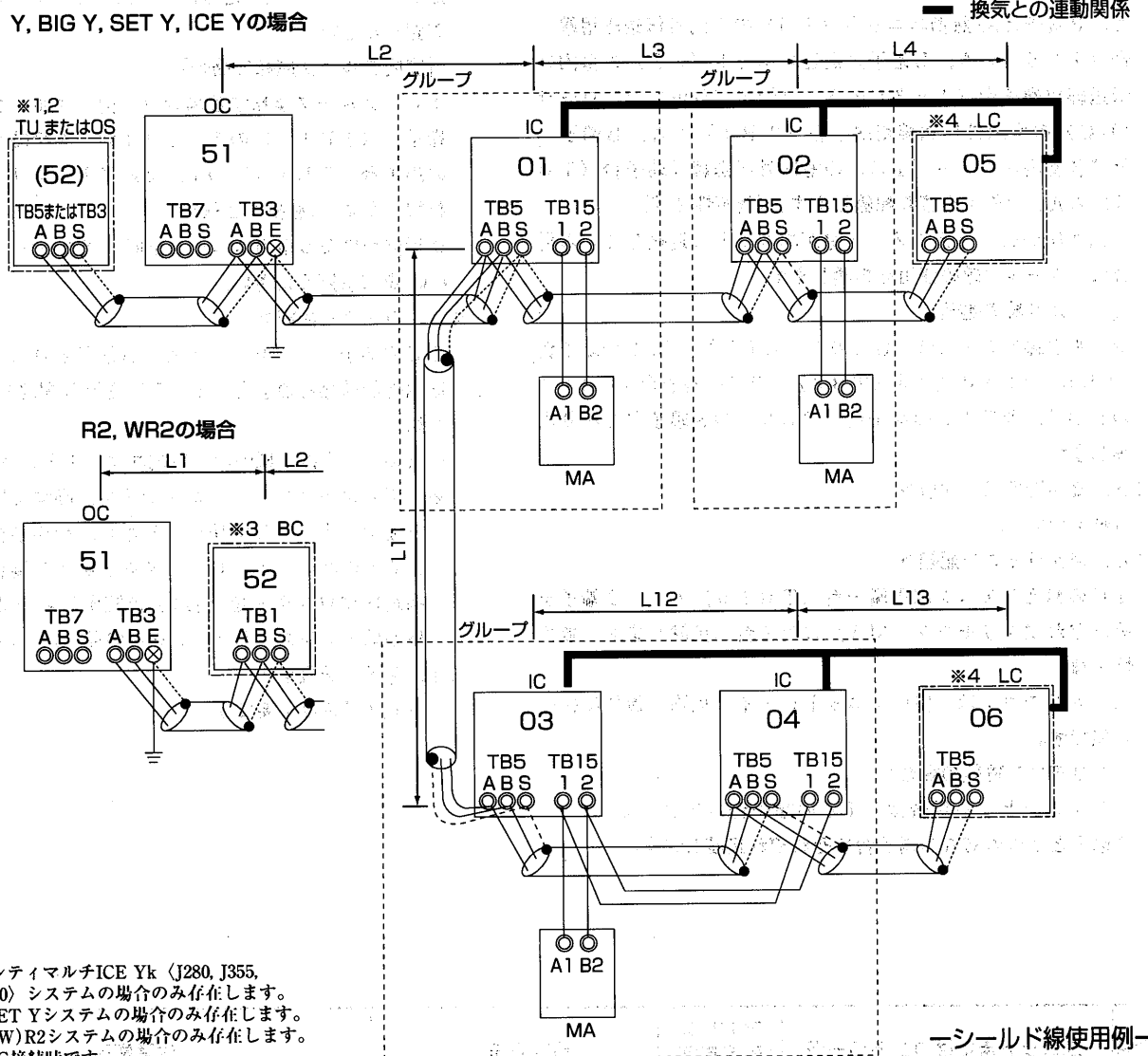
### < e. スイッチ設定 >

アドレス設定は不要です

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス設定範囲	設定方法	注意事項	工場出荷
1	室内ユニット	親機	IC	設定不要	-	00
		子機	IC			
2	ロスナイ		LC	設定不要	-	00
3	MAリモコン	主リモコン	MA	設定不要	-	主
		従リモコン	MA	従リモコン	主従切換スイッチにより設定	
4	室外ユニット		OC	設定不要	-	00
5	室外補助ユニット	蓄熱槽ユニット	TU			
		定速ユニット	OS			
		分流コントローラ	BC			



(2) 単一冷媒システムで、かつ、ロスナイ2台以上接続の場合〈室内外手動アドレス立ち上げ〉  
制御線配線例



**禁止事項**

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。
3. 224形以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が26台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
4. 単一冷媒系統内に2台以上のロスナイを接続する場合は、次項の「冷媒系統内ロスナイ2台接続」を参照ください。
5. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

**許容長**

- < a. 室内外伝送線 >  
(1)と同様
- < b. 集中管理用伝送線 >  
接続不要です
- < c. MAリモコン配線 >  
(1)と同様

## 配線方法・アドレス設定方法

### < a. 室内外伝送線 >

(1)①と同様

[シールド線の処理]

(1)①と同様

### < b. 集中管理用伝送線 >

接続不要です。

### < c. MAリモコン配線 >

(1)①と同様

[2リモコン運転の場合]

(1)①と同様

[室内グループ運転の場合]

(1)①と同様

### < d. ロスナイ接続 >

室内ユニット〈IC〉の端子台〈TB5〉のA, B端子とロスナイ〈LC〉の端子台〈TB5〉を渡り配線します。〈無極性2線〉

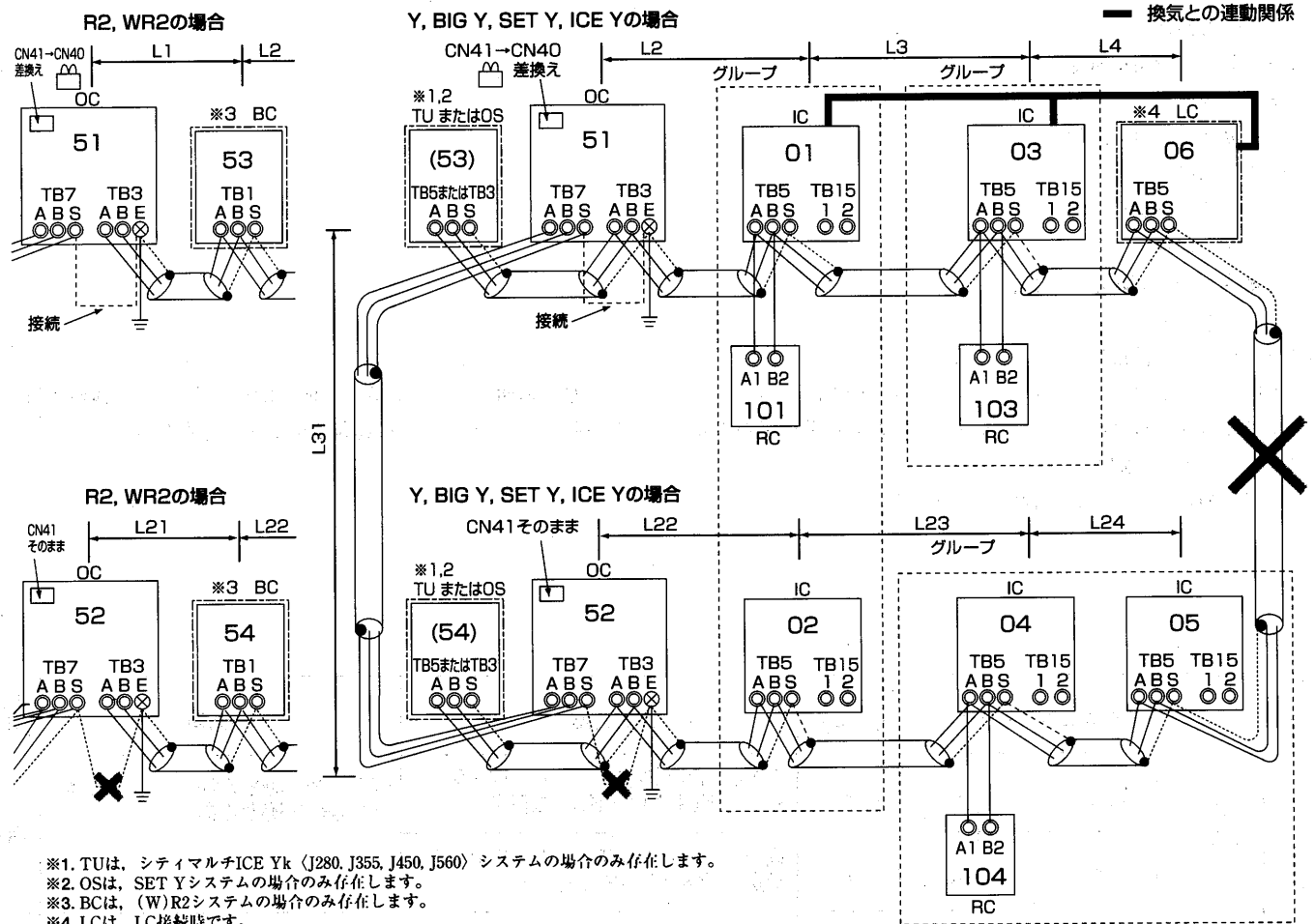
※リモコンから室内ユニットとロスナイとの連動登録が必要です。〈登録方法は、リモコンの据付説明書をご覧ください。〉

### < e. スイッチ設定 >

以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス 設定範囲	設定方法	注意事項	工場 出荷時	
1	室内 ユニット	親機	IC	01~50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	R2/WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。	00
		子機	IC	01~50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機+1, +2, +3, ...]		
2	ロスナイ		LC	01~50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。	00
3	MA リモコン	主リモコン	MA	設定不要	-	MAリモコン配線で実施した室内グループ設定と同一内容をシステムコントローラで初期設定してください。	主
		従リモコン	MA	従リモコン	主従切換スイッチにより設定		
4	室外ユニット		OC	51~100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。	00
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	51~100	室外ユニットアドレス+1	アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。 室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きユニットを設定してください。	00
		定速ユニット	OS				
		分流コントローラ	BC				

### (3) 異冷媒グルーピング運転の場合 制御線配線例



#### 禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。
3. 異なる室外ユニットに接続された室内ユニットの端子台〈TB5〉同士を接続しないでください。
4. 室外ユニットの給電切換コネクタ〈CN41〉の差し替えは、1台の室外ユニットのみで実施してください。
5. 室外ユニットの集中管理用伝送端子台〈TB7〉のS端子のアース処理は、1台の室外ユニットのみで実施してください。
6. 224形以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が26台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
7. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムとそれ以外のシステムのグループ運転はできません。
8. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷運転中に室内ユニット及びブロスナイの運転はできません。

#### 許容長

##### <a. 室内外伝送線>

最遠長 〈1.25mm<sup>2</sup>以上〉

$$\langle L1 \rangle + \langle L2 \rangle + \langle L3 \rangle + \langle L4 \rangle \leq 200\text{m}$$

$$\langle L21 \rangle + \langle L22 \rangle + \langle L23 \rangle + \langle L24 \rangle \leq 200\text{m}$$

##### <b. 集中管理用伝送線>

※L1, L21はR2・WR2の場合

室外ユニットを経由した最遠長 〈1.25mm<sup>2</sup>以上〉

$$\langle L1 \rangle + \langle L2 \rangle + \langle L3 \rangle + \langle L4 \rangle + \langle L31 \rangle + \langle L21 \rangle + \langle L22 \rangle + \langle L23 \rangle + \langle L24 \rangle \leq 500\text{m}$$

##### <c. MAリモコン配線>

(1)①と同様

※L1, L21はR2・WR2の場合

## 配線方法・アドレス設定方法

### < a. 室内外伝送線 >

室外ユニット〈OC〉の室内外伝送線用端子台〈TB3〉のA、B端子と蓄熱槽ユニット〈TU〉の室内外伝送線用端子台〈TB5〉のA、B端子/定速ユニット〈OS〉の室内外伝送線用端子台〈TB3〉のA、B端子/分流コントローラ〈BC〉の室内外伝送線用端子台〈TB1〉のA、B端子、及び各室内ユニット〈IC〉の室内外伝送線用端子台〈TB5〉のA、B端子を渡り配線します。〈無極性2線〉

※必ずシールド線をご使用ください。

#### [シールド線の処理]

(1)①と同様

### < b. 集中管理用伝送線 >

各OCの集中管理用伝送線端子台〈TB7〉のA、B端子を渡り配線します。1台のOCのみ、制御基板上の給電切換コネクタ〈CN41〉を〈CN40〉に差し替えます。

※必ずシールド線をご使用ください。

#### [シールド線の処理]

シールド線のアースは、各OCの端子台〈TB7〉のS端子を渡り配線します。〈CN40〉に差し替えた1台のOCの端子台〈TB7〉のS端子を電気品箱のアースネジ〈E〉に接続します。

### < c. MAリモコン配線 >

(1)①と同様

#### [2リモコン運転の場合]

(1)①と同様

#### [室内グループ運転の場合]

(1)②と同様

### < d. ロスナイ接続 >

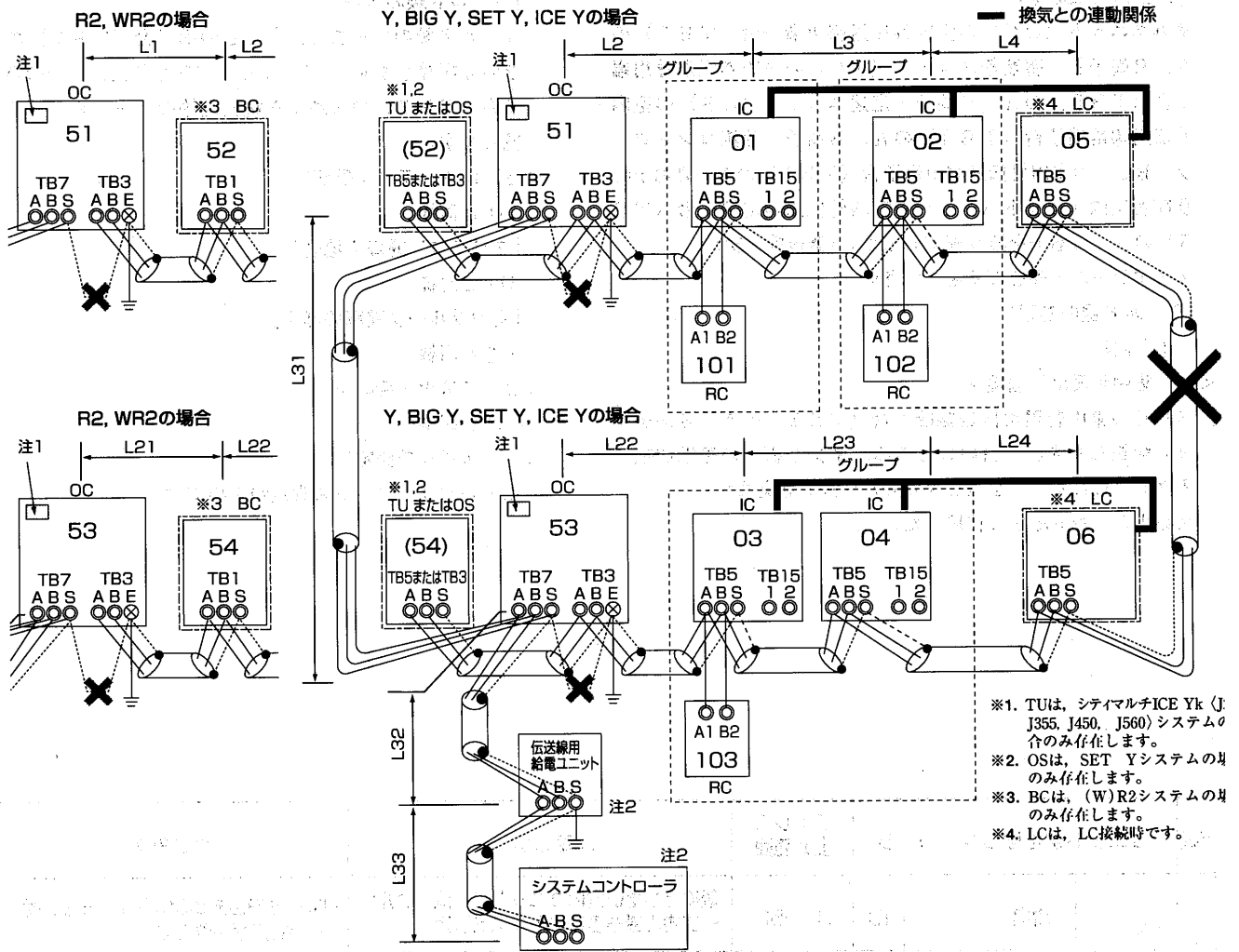
(1)②と同様

### < e. スイッチ設定 >

以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス設定範囲	設定方法	注意事項	工場出荷時	
1	室内ユニット	親機	IC	01~50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	R2/WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。	00
		子機	IC	01~50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機+1, +2, +3, ...]		
2	ロスナイ		LC	01~50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。	00
3	MAリモコン	主リモコン	MA	設定不要	-		主
		従リモコン	MA	従リモコン	主従切換スイッチにより設定		
4	室外ユニット		OC	51~100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。	00
5	室外補助ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	51~100	室外ユニットアドレス+1	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> <li>室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きユニットを設定してください。</li> </ul>	00
		定速ユニット	OS				
		分流コントローラ	BC				

(4)集中管理用伝送線にシステムコントローラを接続した場合  
制御線配線例



注1. CN41はそのまま、SW2-1はOFF→ON。ただし、LMアダプターのみ接続する場合は、SW2-1は“OFF”のままとしてください。  
注2. LMアダプターには、電源単相AC200Vが必要です。ただし、LMアダプターのみ接続する場合は伝送線用給電ユニットが不要ですが、LMアダプターの給電切換コネクタ(CN41)を(CN40)に差し替えてください。

- ※1. TUは、シテイルチICE Yk (J355, J450, J560)システムの場合のみ存在します。
- ※2. OSは、SET Yシステムの場合のみ存在します。
- ※3. BCは、(W)R2システムの場合のみ存在します。
- ※4. LCは、LC接続時です。

禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。
3. 異なる室外ユニットに接続された室内ユニットの端子台(TB5)同士を接続しないでください。
4. 室外ユニットの給電切換コネクタ(CN41)はそのままにしてください。
5. 室外ユニットの集中管理用伝送端子台(TB7)のS端子のアース処理は不要です。
6. 224形以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が26台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
7. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びピロシナイの運転はできません。

許容長

- < a. 室内外伝送線 >
  - (i)③と同様
- < b. 集中管理用伝送線 >
  - 室外ユニットを経由した最遠長 < 1.25mm<sup>2</sup>以上 >
  - $L_{33} + L_{32} + L_{31} + \langle L_1 \rangle + L_2 + L_3 + L_4 \leq 500m$
  - $L_{33} + L_{32} + L_{21} + L_{22} + L_{23} + L_{24} \leq 500m$
  - $L_1 + L_2 + L_3 + L_4 + E_{31} + \langle L_{21} \rangle + L_{22} + L_{23} + L_{24} \leq 500m$
- < c. MAリモコン配線 > ※L1, L21はR2・WR2の場合 (i)①と同様

## 配線方法・アドレス設定方法

### < a. 室内外伝送線 >

(1)③と同様

[シールド線の処理]

(1)①と同様

### < b. 集中管理用伝送線 >

各室外ユニット〈OC〉の集中管理用伝送線端子台〈TB7〉のA, B端子を渡り配線します。

全OCの制御基板上の集中管理スイッチ〈SW2-1〉を“ON”に設定します。

※必ずシールド線をご使用ください。

[シールド線の処理]

シールド線のアースは、各OCの端子台〈TB7〉のS端子を渡り配線します。

システムコントローラの給電装置のS端子をアース接地してください。

※給電装置からアース接地できない場合は、1台の室外ユニットの端子台〈TB7〉のS端子を電気品箱のアースネジ(E)に接続してください。

### < c. MAリモコン配線 >

(1)①と同様

[2リモコン運転の場合]

(1)①と同様

[室内グループ運転の場合]

(1)①と同様

### < d. ロスナイ接続 >

ICの端子台〈TB5〉のA, B端子とロスナイ〈LC〉の室内外伝送線用端子台〈TB5〉を渡り配線します。〈無極性2線〉

※システムコントローラから室内ユニットとロスナイとの連動登録が必要です。〈登録方法は、システムコントローラの取扱説明書をご覧ください。〉ただし、LMアダプターのみ接続する場合は、リモコンからの連動登録が必要となります。

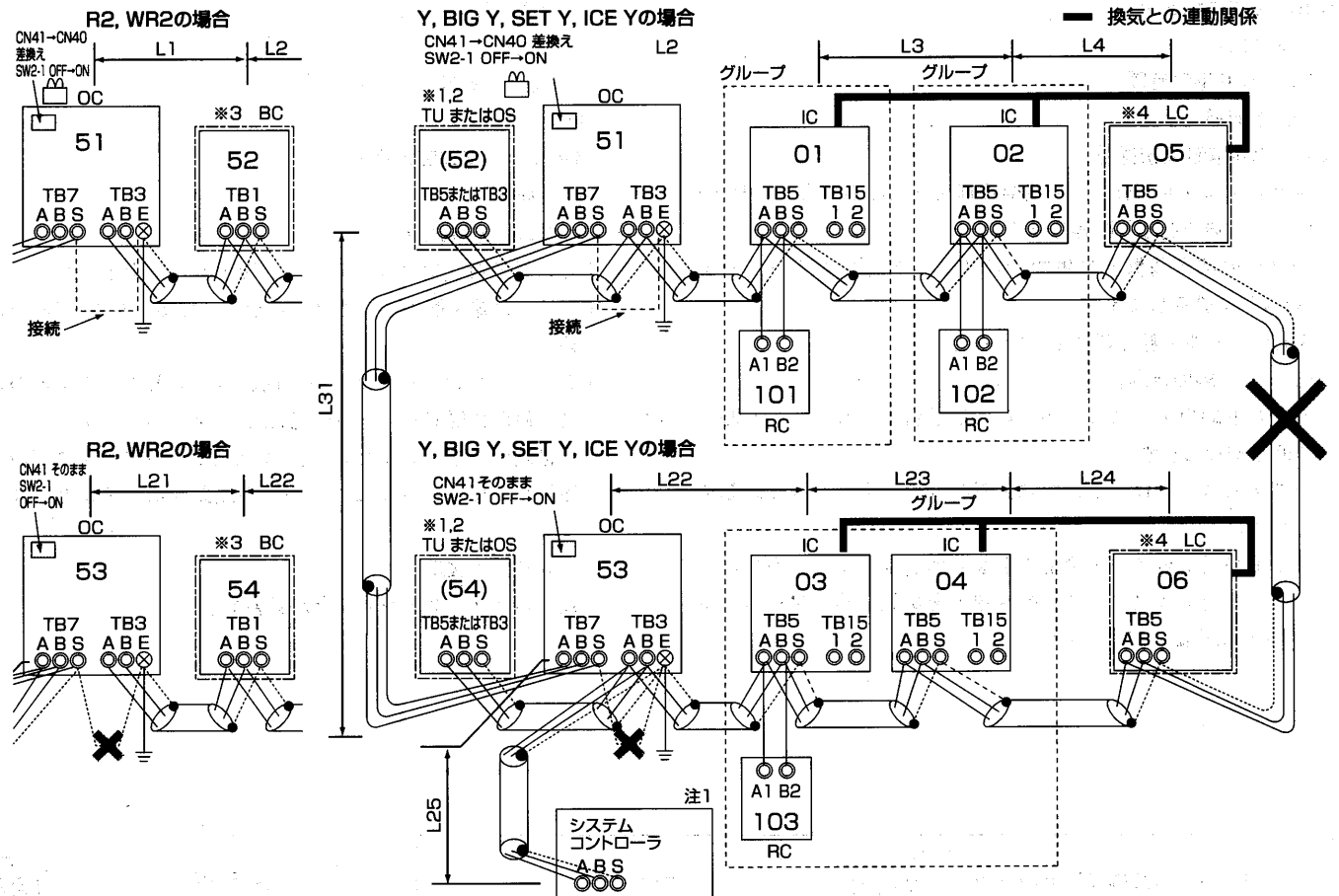
### < e. スイッチ設定 >

以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス設定範囲	設定方法	注意事項	工場出荷時
1	室内ユニット	親機	IC 01~50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	・R2/WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。	00
		子機	IC 01~50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機+1, +2, +3, ...]		
2	ロスナイ		LC 01~50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	・室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。	00
3	MAリモコン	主リモコン	MA 設定不要	-	・MAリモコン配線で実施した室内グループ設定と同一内容をシステムコントローラで初期設定してください。	主
		従リモコン	MA 従リモコン	主従切換スイッチにより設定		
4	室外ユニット		OC 51~100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。	00
5	室外補助ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	室外ユニットアドレス+1	・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。 ・室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きユニットを設定してください。	00
		定速ユニット	OS 51~100			
		分流通コントローラ	BC			

## (5) 室内外伝送線にシステムコントローラを接続した場合 (LMアダプターを除く)

### 制御線配線例



- ※1. TUは、シティアルチICE Yk (J280, J355, J450, J560) システムの場合のみ存在します。
- ※2. OSは、SET Yシステムの場合のみ存在します。
- ※3. BCは、(W)R2システムの場合のみ存在します。
- ※4. LCは、LC接続時です。
- 注1. LMアダプターは、室内外伝送線に接続できません。

### 禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。
3. 異なる室外ユニットに接続された室内ユニットの端子台 (TB5) 同士を接続しないでください。
4. 室外ユニットの給電切換コネクタ (CN41) の差し替えは、1台の室外ユニットのみで実施してください。
5. 室外ユニットの集中管理用伝送端子台 (TB7) のS端子のアース処理は1台の室外ユニットのみで実施してください。
6. 室内外伝送線に接続できるシステムコントローラは最大3台です。
7. 室内ユニットの合計が26台を超える場合は、システムコントローラを室内外伝送線に接続できない場合があります。
8. 224形以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が20台を超える場合は、システムコントローラを室内外伝送線に接続できない場合があります。
9. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

### 許容長

#### < a. 室内外伝送線 >

最遠長 (1.25mm<sup>2</sup>以上)

$$\langle L1 \rangle + L2 + L3 + L4 \leq 200m$$

$$\langle L21 \rangle + L22 + L23 + L24 \leq 200m$$

$$L25 \leq 200m$$

#### < b. 集中管理用伝送線 >

※L1, L21はR2・WR2の場合

室外ユニットを経由した最遠長 (1.25mm<sup>2</sup>以上)

$$L25 + L31 + \langle L1 \rangle + L2 + L3 + L4 \leq 500m$$

$$L1 + L2 + L3 + L4 + L31 + \langle L21 \rangle + L22 + L23 + L24 \leq 500m$$

#### < c. MAリモコン配線 >

※L1, L21はR2・WR2の場合

(1)①と同様

## 配線方法・アドレス設定方法

### < a. 室内外伝送線 >

室外ユニット〈OC〉の室内外伝送線用端子台〈TB3〉のA, B端子と蓄熱槽ユニット〈TU〉の室内外伝送線用端子台〈TB5〉のA, B端子/定速ユニット〈OS〉の室内外伝送線用端子台〈TB3〉のA, B端子/分流コントローラ〈BC〉の室内外伝送線用端子台〈TB1〉のA, B端子, 各室内ユニット〈IC〉の室内外伝送線用端子台〈TB5〉のA, B端子, 及びシステムコントローラのA, B端子を渡り配線します。〈無極性2線〉

※必ず, シールド線をご使用ください。

#### [シールド線の処理]

シールド線のアースは, OCのアースネジと, {TUの端子台〈TB5〉/OSの端子台〈TB3〉/BCの端子台〈TB1〉}のS端子, ICの端子台〈TB5〉のS端子, 及びシステムコントローラのS端子とを渡り配線します。

### < b. 集中管理用伝送線 >

各OCの集中管理用伝送線端子台〈TB7〉のA, B端子を渡り配線します。1台のOCのみ, 制御基板上の給電切換コネクタ〈CN41〉を〈CN40〉に差し替えます。全OCの制御基板上の集中管理スイッチ〈SW2-1〉を“ON”に設定します。

※必ずシールド線をご使用ください。

#### [シールド線の処理]

シールド線のアースは, 各OCの端子台〈TB7〉のS端子を渡り配線します。〈CN40〉に差し替えた1台のOCの端子台〈TB7〉のS端子を電気品箱のアースネジ〈E〉に接続します。

### < c. MAリモコン配線 >

(1)①と同様

#### [2リモコン運転の場合]

(1)①と同様

#### [室内グループ運転の場合]

(1)①と同様

### < d. ロスナイ接続 >

ICの端子台〈TB5〉のA, B端子とロスナイ〈LC〉の室内外伝送線用端子台〈TB5〉を渡り配線します。〈無極性2線〉

※システムコントローラから室内ユニットとロスナイとの連動登録が必要です。

〈登録方法は, システムコントローラの取扱説明書をご覧ください。〉

### < e. スイッチ設定 >

以下の通り, アドレス設定が必要です。

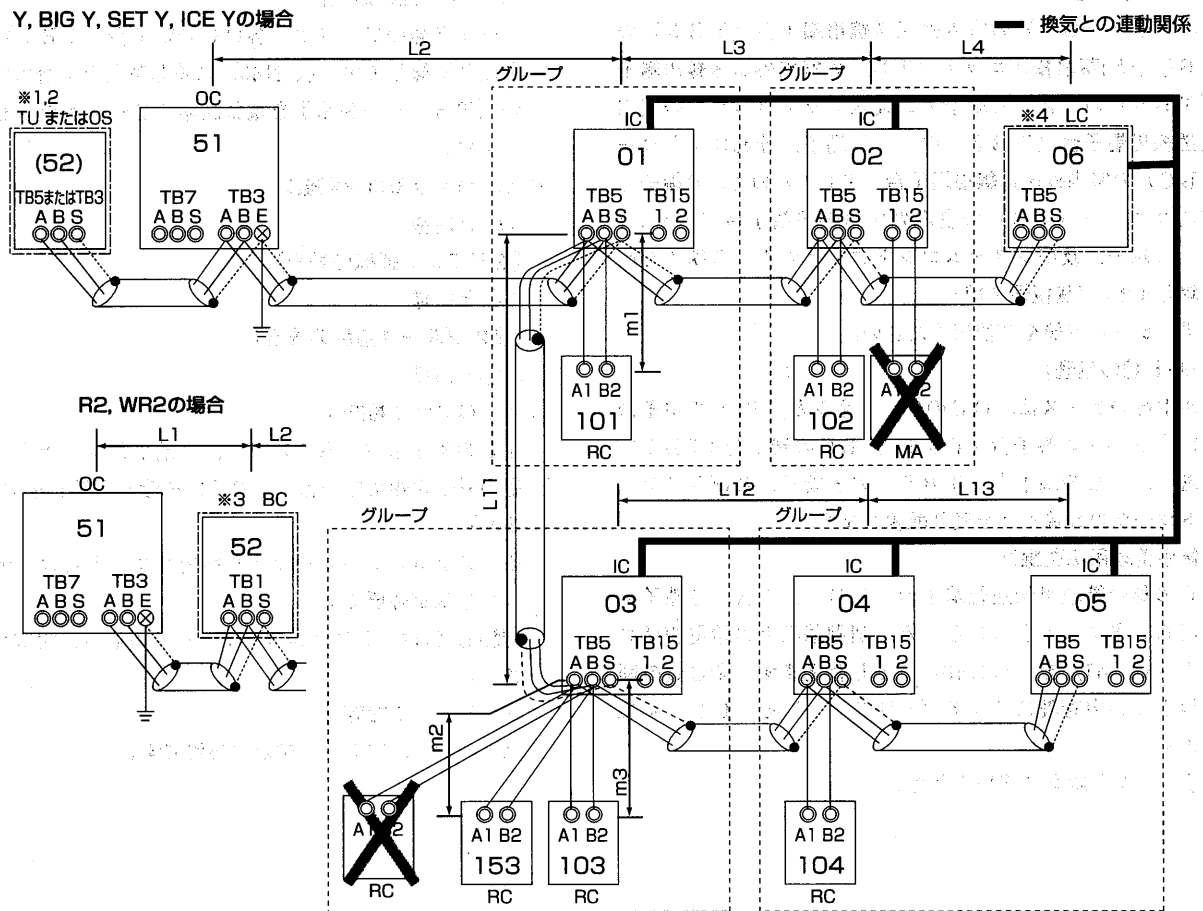
手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス設定範囲	設定方法	注意事項	工場出荷時	
1	室内ユニット	親機	IC	01~50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	・R2/WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。	00
		子機	IC	01~50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機+1, +2, +3, ...]		
2	ロスナイ		LC	01~50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	・室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。	00
3	MAリモコン	主リモコン	MA	設定不要	-	・MAリモコン配線で実施した室内グループ設定と同一内容をシステムコントローラで初期設定してください。	主
		従リモコン	MA	従リモコン	主従切換スイッチにより設定		
4	室外ユニット		OC	51~100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。	00
5	室外補助ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	51~100	室外ユニットアドレス+1	・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。 ・室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きユニットを設定してください。	00
		定速ユニット	OS				
		分流コントローラ	BC				



## 2.5.2 M-NETリモコンを用いたシステム

### (1) 単一冷媒システムの場合

#### 制御線配線例



- ※1. TUは、シティマルチICE Yk (J280, J355, J450, J560) システムの場合のみ存在します。
- ※2. OSは、SET Yシステムの場合のみ存在します。
- ※3. BCは、(W)R2システムの場合のみ存在します。
- ※4. LCは、LC接続時です。

#### 禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。
3. 異なる室外ユニットに接続された室内ユニットの端子台〈TB5〉同士を接続しないでください。
4. 室外ユニットの給電切換コネクタ〈CN41〉の差し替えは、1台の室外ユニットのみで実施してください。
5. 室外ユニットの集中管理用伝送端子台〈TB7〉のS端子のアース処理は1台の室外ユニットのみで実施してください。
6. 室内外伝送線に接続できるシステムコントローラは最大3台です。
7. 室内ユニットの合計が26台を超える場合は、システムコントローラを室内外伝送線に接続できない場合があります。
8. 224形以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が20台を超える場合は、システムコントローラを室内外伝送線に接続できない場合があります。
9. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

#### 許容長

##### < a. 室内外伝送線 >

最遠長 〈1.25mm<sup>2</sup>以上〉

$$\langle L1 \rangle + L2 + L3 + L4 \leq 200m$$

$$\langle L21 \rangle + L22 + L23 + L24 \leq 200m$$

$$L25 \leq 200m$$

##### < b. 集中管理用伝送線 > ※L1, L21はR2・WR2の場合

室外ユニットを経由した最遠長 〈1.25mm<sup>2</sup>以上〉

$$L25 + L31 + \langle L1 \rangle + L2 + L3 + L4 \leq 500m$$

$$L1 + L2 + L3 + L4 + L31 + \langle L21 \rangle + L22 + L23 + L24 \leq 500m$$

##### < c. MAリモコン配線 > ※L1, L21はR2・WR2の場合

(1)①と同様

## 配線方法・アドレス設定方法

### < a. 室内外伝送線 >

(1)①と同様

[シールド線の処理]

(1)①と同様

### < b. 集中管理用伝送線 >

接続不要です。

### < c. M-NETリモコン配線 >

室内ユニット〈IC〉の室内外伝送線用端子台〈TB5〉のA, B端子をそれぞれM-NETリモコン〈RC〉の端子台に接続します〈無極性2線〉。

[2リモコン運転の場合]

2リモコンとする場合は, ICの端子台〈TB5〉のA, B端子と2つのRCの端子台をそれぞれ接続します。

[室内グループ運転の場合]

ICをグループ運転する場合は, 同一グループとするICの親機ICの端子台〈TB5〉のA, B端子とRCの端子台を接続します〈無極性2線〉。

※M-NETリモコンは, 室内外伝送線上のどこにでも接続可能です。

※機能が異なる室内ユニットを同一グループ運転する場合は, 同一グループ内の一番機能が大きい室内ユニットを親機としてください。

### < d. ロスナイ接続 >

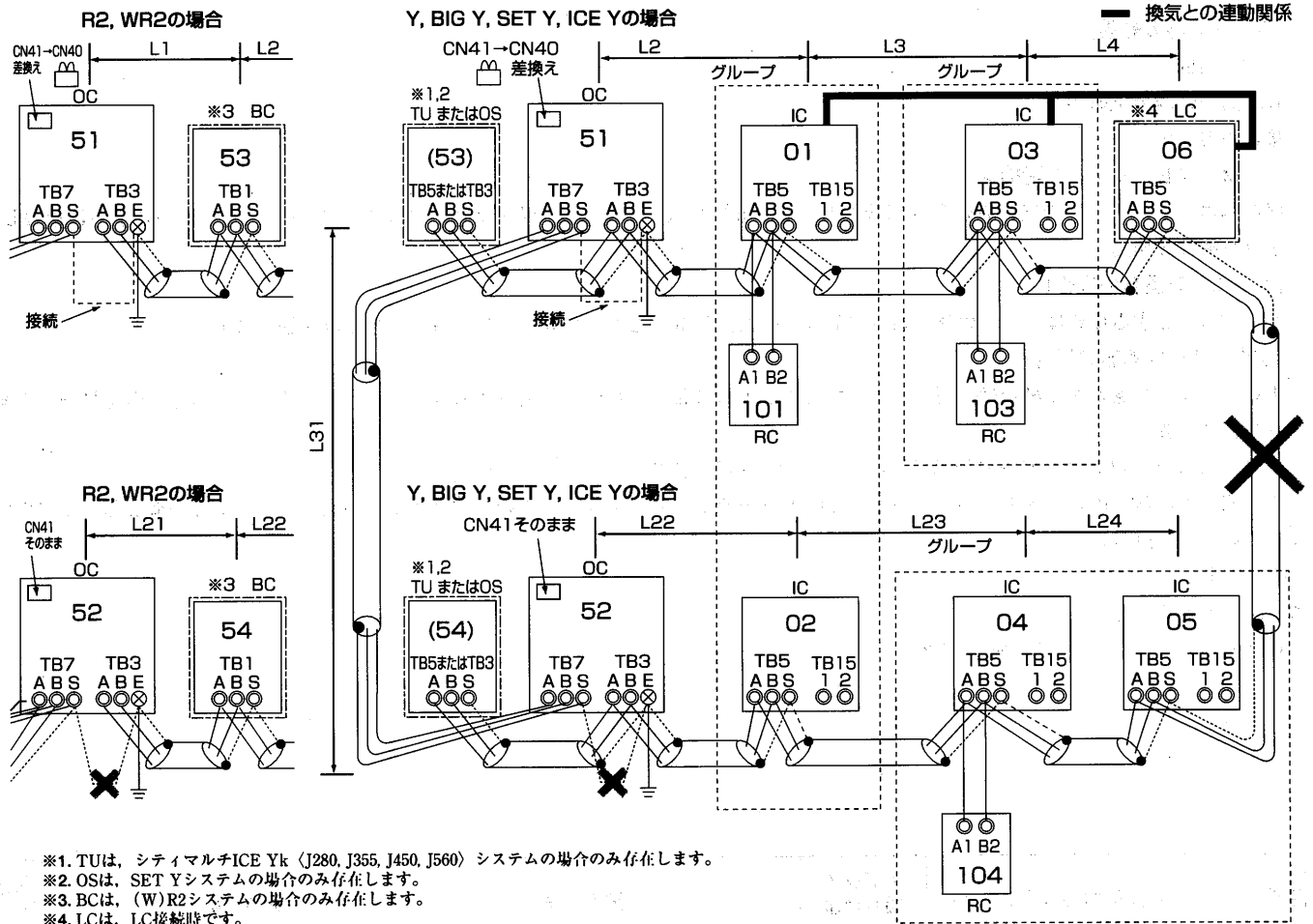
(1)②と同様

### < e. スイッチ設定 >

以下の通り, アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス 設定範囲	設定方法	注意事項	工場 出荷時	
1	室内 ユニット	親機	IC	01~50	親機としたい室内ユニットに, 同一グループ内の最も若いアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内グループ設定内容をシステムコントローラ〈MLANS〉で初期設定してください。</li> <li>R2/WR2機種の場合は, 分岐口番号の設定が必要です。</li> </ul>	00
		子機	IC	01~50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機〈IC〉+1, +2, +3, …]		
2	ロスナイ		LC	01~50	全室内ユニット設定後, 任意のアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。</li> </ul>	00
3	M-NET リモコン	主リモコン	RC	101~150	同一グループ内の親機アドレス+100	<ul style="list-style-type: none"> <li>100の位を設定する必要はありません。</li> <li>アドレスを"200"に設定する場合は"00"としてください。</li> </ul>	101
		従リモコン	RC	151~200	同一グループ内の親機アドレス+150		
4	室外ユニット		OC	51~100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> </ul>	00
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	51~100	室外ユニットアドレス+1	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> <li>室外ユニットのアドレスと重複する場合は, 設定範囲内で別の空きアドレスを設定してください。</li> </ul>	00
		定速ユニット	OS				
		分流コントローラ	BC				

## (2) 異冷媒グルーピング運転の場合 制御線配線例



### 禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。
3. 異なる室外ユニットに接続された室内ユニットの端子台〈TB5〉同士を接続しないでください。
4. 室外ユニットの給電切換コネクタ〈CN41〉の差し替えは、1台の室外ユニットのみで実施してください。
5. 室外ユニットの集中管理用伝送端子台〈TB7〉のS端子のアース処理は、1台の室外ユニットのみで実施してください。
6. 室内ユニットの合計が20台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
7. 224形以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が16台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
8. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムとそれ以外のシステムのグループ運転はできません。

9. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

### 許容長

- <a. 室内外伝送線>
  - (1)③と同様
- <b. 集中管理用伝送線>
  - (1)③と同様
- <c. M-NETリモコン配線>
  - (2)①と同様

配線方法・アドレス設定方法

< a. 室内外伝送線 >

(1)③と同様

[シールド線の処理]

①と同様

< b. 集中管理用伝送線 >

(1)③と同様

[シールド線の処理]

(1)③と同様

< c. M-NETリモコン配線 >

(2)①と同様

[2リモコン運転の場合]

(2)①と同様

[室内グループ運転の場合]

(2)①と同様

※異冷媒にまたがる室内グループのM-NETリモコンは、室内ユニットの親機と同じ系統の室内外伝送線に接続してください。

< d. ロスナイ接続 >

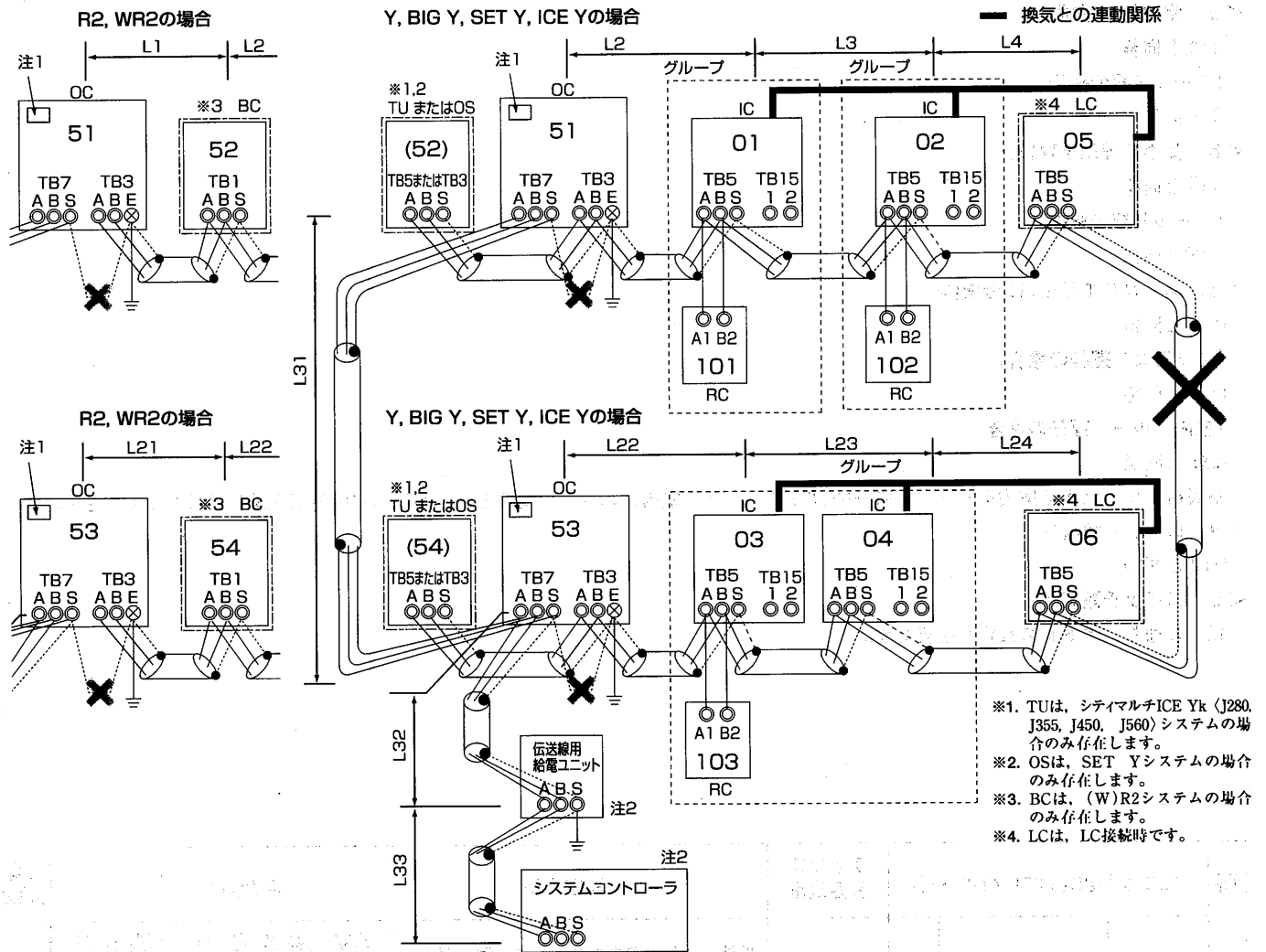
(1)②と同様

< e. スイッチ設定 >

以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ			アドレス 設定範囲	設定方法	注意事項	工場 出荷時
1	室内 ユニット	親機	IC	01~50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>まず、異冷媒グループ運転の室内ユニットのアドレスを設定してください。</li> <li>R2/WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。</li> <li>リモコンから、異冷媒グループ内容の登録が必要です。</li> </ul>	00
		子機	IC	01~50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機(IC)+1, +2, +3, ...]		
2	ロスナイ		LC	01~50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。	00
3	M-NET リモコン	主リモコン	RC	101~150	同一グループ内の親機アドレス+100	<ul style="list-style-type: none"> <li>100の位を設定する必要はありません。</li> <li>アドレスを"200"に設定する場合は"00"としてください。</li> </ul>	101
		従リモコン	RC	151~200	同一グループ内の親機アドレス+150		
4	室外ユニット		OC	51~100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。	00
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	51~100	室外ユニットアドレス+1	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> <li>室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きアドレスを設定してください。</li> </ul>	00
		定速ユニット	OS				
		分流コントローラ	BC				

### (3)集中管理用伝送線にシステムコントローラを接続した場合 制御線配線例



#### 禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。
3. 異なる室外ユニットに接続された室内ユニットの端子台(TB5)同士を接続しないでください。
4. 室外ユニットの給電切換コネクタ(CN41)はそのままにしてください。
5. 室外ユニットの集中管理用伝送端子台(TB7)のS端子のアース処理は不要です。
6. 室内ユニットの合計が20台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
7. 224形以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が16台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
8. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムとそれ以外のシステムのグループ運転はできません。

9. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄冷熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

#### 許容長

- < a. 室内外伝送線 >
  - (1)③と同様
- < b. 集中管理用伝送線 >
  - (1)④と同様
- < c. M-NETリモコン配線 >
  - (2)①と同様

## 配線方法・アドレス設定方法

### < a. 室内外伝送線 >

(1)③と同様

[シールド線の処理]

(1)①と同様

### < b. 集中管理用伝送線 >

(1)④と同様

[シールド線の処理]

(1)④と同様

### < c. M-NETリモコン配線 >

(2)①と同様

[2リモコン運転の場合]

(2)①と同様

[室内グループ運転の場合]

(2)①と同様

### < d. ロスナイ接続 >

(1)④と同様

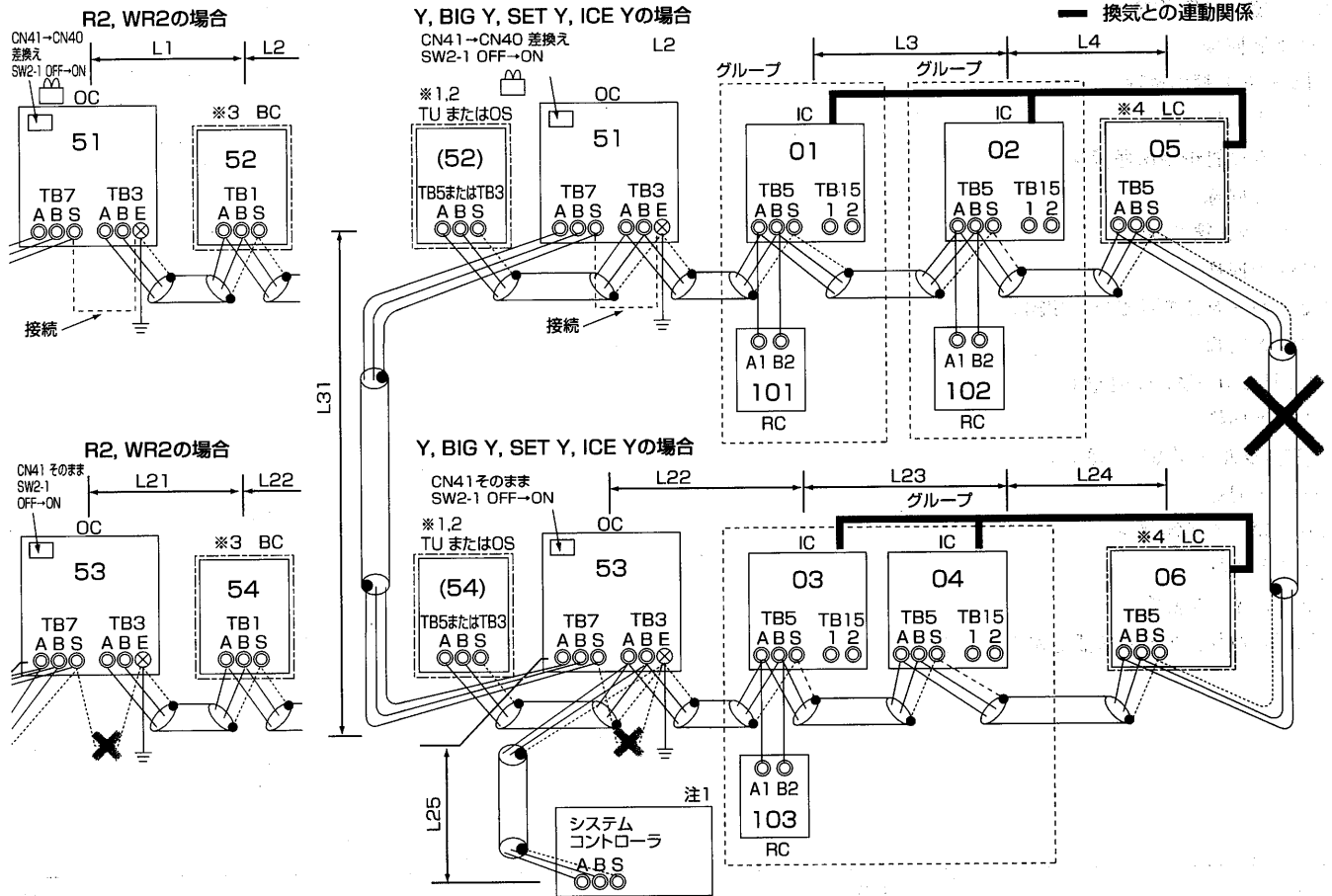
### < e. スイッチ設定 >

以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ			アドレス 設定範囲	設定方法	注意事項	工場 出荷時
1	室内 ユニット	親機	IC	01~50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定 同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機<IC>+1, +2, +3, ...]	・室内グループ設定内容をシステムコントローラで初期設定してください。 ・R2/WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。	00
		子機	IC	01~50			
2	ロスナイ		LC	01~50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	・室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。	00
3	M-NET リモコン	主リモコン	RC	101~150	同一グループ内の親機アドレス+100	・100の位を設定する必要はありません。 ・アドレスを"200"に設定する場合は"00"としてください。	101
		従リモコン	RC	151~200	同一グループ内の親機アドレス+150		
4	室外ユニット		OC	51~100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。	00
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	51~100	室外ユニットアドレス+1	・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。 ・室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きアドレスを設定してください。	00
		定速ユニット	OS				
		分流コントローラ	BC				

#### (4) 室内外伝送線にシステムコントローラを接続した場合 (LMアダプターを除く)

##### 制御線配線例



- ※1. TUは、シティマルチICE Yk (J280, J355, J450, J560) システムの場合のみ存在します。
- ※2. OSは、SET Yシステムの場合のみ存在します。
- ※3. BCは、(W)R2システムの場合のみ存在します。
- ※4. LCは、LC接続時です。
- 注1. LMアダプターは、室内外伝送線に接続できません。

#### 禁止事項

1. 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
2. 同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。
3. 異なる室外ユニットに接続された室内ユニットの端子台 (TB5) 同士を接続しないでください。
4. 室外ユニットの給電切換コネクタ (CN41) の差し替えは、1台の室外ユニットのみで実施してください。
5. 室外ユニットの集中管理用伝送端子台 (TB7) のS端子のアース処理は1台の室外ユニットのみで実施してください。
6. 室内外伝送線に接続できるシステムコントローラは最大3台です。
7. 室内ユニットの合計が14台を超える場合は、システムコントローラを室内外伝送線に接続できない場合があります。
8. 224形以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が10台を超える場合は、システムコントローラを室内外伝送線に接続できない場合があります。

9. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムとそれ以外のシステムのグループ運転はできません。
10. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

#### 許容長

- < a. 室内外伝送線 >
  - (1)⑤と同様
- < b. 集中管理用伝送線 >
  - (1)⑤と同様
- < c. M-NETリモコン配線 >
  - (2)①と同様

## 配線方法・アドレス設定方法

### < a. 室内外伝送線 >

(1)⑤と同様

[シールド線の処理]

(1)⑤と同様

### < b. 集中管理用伝送線 >

(1)⑤と同様

[シールド線の処理]

(1)⑤と同様

### < c. M-NETリモコン配線 >

(2)①と同様

[2リモコン運転の場合]

(2)①と同様

[室内グループ運転の場合]

(2)①と同様

### < d. ロスナイ接続 >

(1)④と同様

### < e. スイッチ設定 >

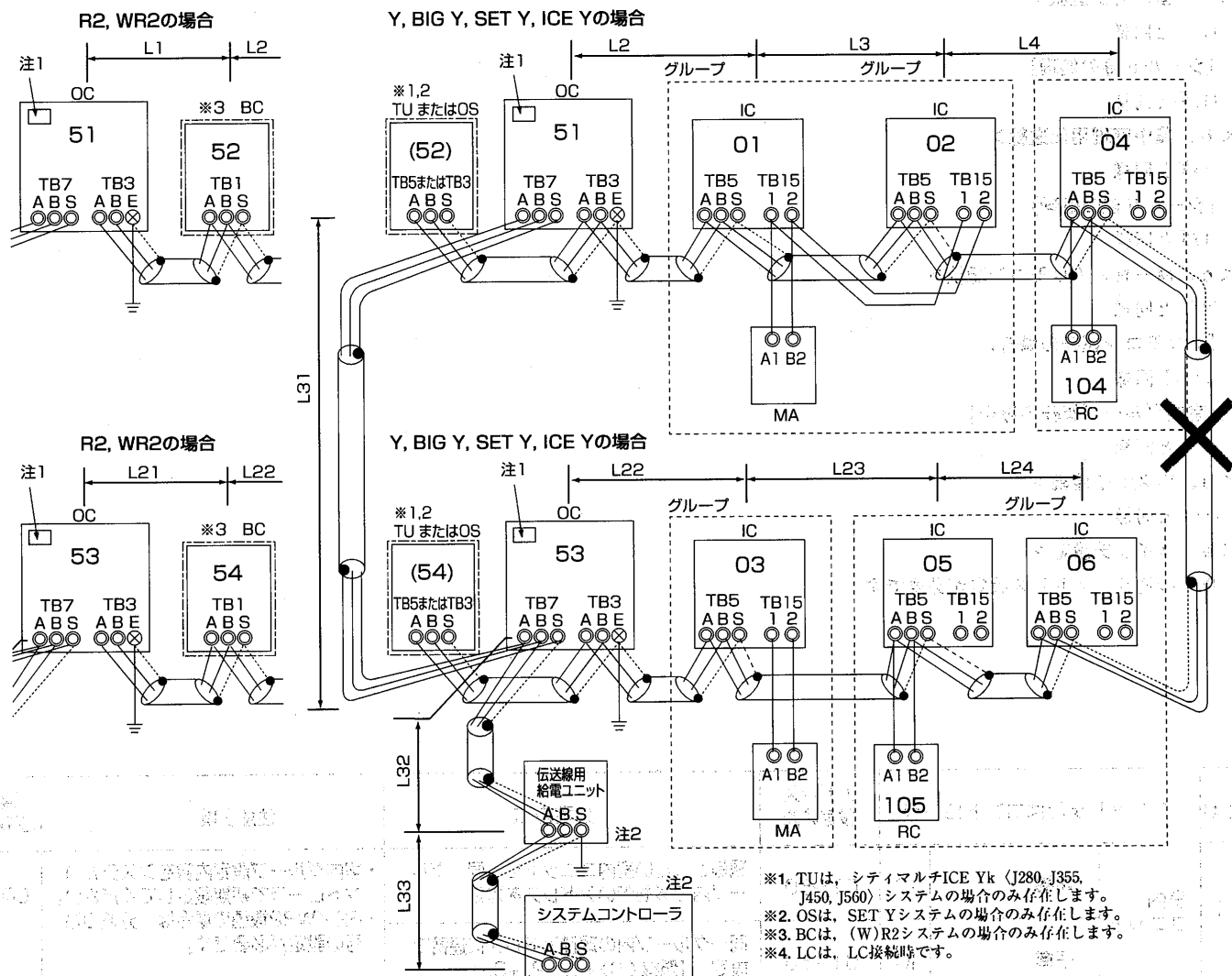
以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス 設定範囲	設定方法	注意事項	工場 出荷時	
1	室内 ユニット	親機	IC	01~50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内グループ設定内容をシステムコントローラで初期設定してください。</li> <li>R2/WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。</li> </ul>	00
		子機	IC	01~50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機<IC>+1, +2, +3, …]		
2	ロスナイ		LC	01~50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内ユニットのアドレスと重複しないように設定してください。</li> </ul>	00
3	M-NET リモコン	主リモコン	RC	101~150	同一グループ内の親機アドレス+100	<ul style="list-style-type: none"> <li>100の位を設定する必要はありません。</li> <li>アドレスを"200"に設定する場合は"00"としてください。</li> </ul>	101
		従リモコン	RC	151~200	同一グループ内の親機アドレス+150		
4	室外ユニット		OC	51~100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> </ul>	00
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	51~100	室外ユニットアドレス+1	<ul style="list-style-type: none"> <li>アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> <li>室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きアドレスを設定してください。</li> </ul>	00
		定速ユニット	OS				
		分流コントローラ	BC				



## 2.5.3 MAリモコンとM-NETリモコンを混在したシステム

### 制御線配線例



### 禁止事項

- 必ずシステムコントローラを接続してください。
- 同一グループの室内ユニットにM-NETリモコンとMAリモコンとの併用接続はできません。
- 同一グループの室内ユニットに3台以上のM-NETリモコンは接続できません。
- 同一グループの室内ユニットに3台以上のMAリモコンは接続できません。
- 異なる室外ユニットに接続された室内ユニットの端子台〈TB5〉同士を接続しないでください。
- 室外ユニットの給電切換コネクタ〈CN41〉はそのままにしてください。
- 室外ユニットの集中管理用伝送端子台〈TB7〉のS端子のアース処理は不要です。
- 室内ユニットの合計が20台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。
- 224形以上の室内ユニットが含まれ、室内ユニットの合計が16

台を超える場合は、伝送線用給電拡張ユニットが必要になります。

10. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムとそれ以外のシステムのグループ運転はできません。

11. ICE Y等の蓄熱槽ユニットを接続するシステムは、夜間蓄熱運転中に室内ユニット及びロスナイの運転はできません。

### 許容長

#### <a. 室内外伝送線>

(1)③と同様

#### <b. 集中管理用伝送線>

(1)④と同様

#### <c-1. MAリモコン配線>

(1)①と同様

#### <c-2. M-NETリモコン配線>

(2)①と同様

## 配線方法・アドレス設定方法

### < a. 室内外伝送線 >

(1)③と同様

[シールド線の処理]

(1)①と同様

### < b. 集中管理用伝送線 >

(1)④と同様

[シールド線の処理]

(1)④と同様

### < c-1. MAリモコン配線 >, [2リモコン運転の場合], [室内グループ運転の場合]

(1)①と同様

### < c-2. M-NETリモコン配線 >, [2リモコン運転の場合], [室内グループ運転の場合]

(2)①と同様

### < d. ロスナイ接続 >

(1)④と同様

### < e. スイッチ設定 >

以下の通り、アドレス設定が必要です。

手順	ユニットまたはコントローラ		アドレス設定範囲	設定方法	注意事項	工場出荷時	
1	MA リモコン での操作	室内 ユニット	親機 IC	01~50	親機としたい室内ユニットに、同一グループ内の最も若いアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M-NETリモコンに接続されている室内ユニットのアドレスより若いアドレスを設定してください。</li> <li>・MAリモコン配線で実施した室内グループ設定と同一内容をシステムコントローラで初期設定してください。</li> <li>・R2/WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。</li> </ul>	00
		子機 IC	01~50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機<IC>+1, +2, +3, …]			
	MA リモコン	主リモコン	MA	設定不要	-		主
		従リモコン	MA	従リモコン	主従切換スイッチにより設定		
2	M-NET リモコン での操作	室内 ユニット	親機 IC	01~50	MAリモコンで操作する室内ユニットのアドレスを設定後、親機としたい室内ユニットに同一グループ内の最も若いアドレスを設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内グループ設定内容をシステムコントローラで初期設定してください。</li> <li>・R2/WR2機種の場合は、分岐口番号の設定が必要です。</li> </ul>	00
		子機 IC	01~50	同一グループ内の親機アドレスに連番で設定 [親機<IC>+1, +2, +3, …]			
	M-NET リモコン	主リモコン	RC	101~150	同一グループ内の親機アドレス+100		101
		従リモコン	RC	151~200	同一グループ内の親機アドレス+150		
3	ロスナイ		LC	01~50	全室内ユニット設定後、任意のアドレスを設定	00	
4	室外ユニット		OC	51~100	冷媒系内の室内ユニットの中で最も若いアドレス+50	00	
5	室外補助 ユニット	蓄熱槽ユニット	TU	51~100	室外ユニットアドレス+1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドレスを"100"に設定する場合は"50"としてください。</li> <li>・室外ユニットのアドレスと重複する場合は、設定範囲内で別の空きアドレスを設定してください。</li> </ul>	00
		定速ユニット	OS				
		分流コントローラ	BC				

## 2.6 MELANS上位機種製品仕様

### MJ-220-Bシステム

- タッチパネルにより、操作が簡単です。  
MJ-220-Bの画面に触れることにより、空調機の操作・設定が行え、同時に運転状態を監視することができます。  
また、異常発生時にはその箇所や内容、さらに過去の異常履歴を呼び出し、プリントアウトすることもできます。
- 空調機器のブロック編成が可能です。  
空調のグループ設定に加え、ブロック編成の設定が可能です。管理対象をグループ/ブロック/一括と使い分けることにより、管理の効率性を大幅に向上します。
- テナントごとに1年間のスケジュールを設定できます。  
各グループ〈テナント〉ごと、またはフロア一括で1週間のスケジュールを組むことができます。  
また、年間を通して祝日などの設定ができるため、空調機器の省エネ運転に貢献します。
- 運転時間より空調料金の算出が可能です。  
各室内蔵の運転状況・冷媒流量を検知し、負荷変動に応じた課金を行うため、各グループ〈テナント〉へ空調料金の按分計算が可能です。
- 最大200台の室内ユニット〈計測コントローラを含む〉が管理できます。

#### (a) 機能一覧

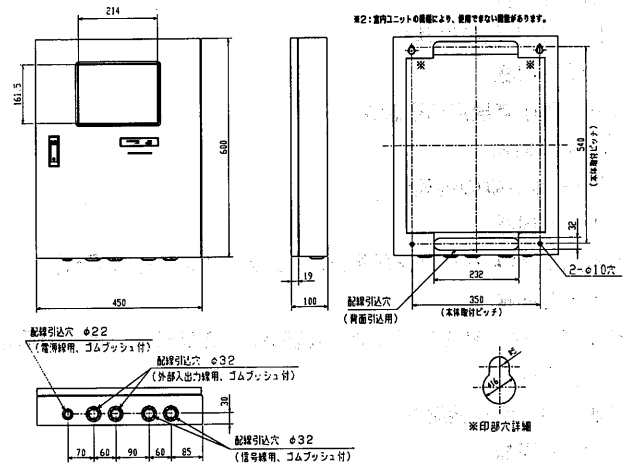
項目	内容
運転/停止	全館一括/フロア一括/ブロック/グループごと、運転/停止操作可能
運転モード	全館一括/フロア一括/ブロック/グループごと、冷房/ドライ/送風/自動/暖房の切替操作可能 換気機器のグループごと、換気自動/普通換気/熱交換器の切替操作可能
風速 ※2	風速4段切替操作可能
設定温度	全館一括/フロア一括/ブロック/グループごと、温度設定操作可能 設定温度範囲 冷房/ドライ : 19℃~30℃ 暖房 : 17℃~28℃ 自動 : 19℃~28℃ ※一括設定は19℃~28℃
上下風向 ※2	グループごと切替操作可能
スイング ※2	グループごと切替操作可能
ルーバー ※2	グループごと切替操作可能
換気機器制御	外気処理ユニット、フリープラン用ロスナイの連動運転操作可能(連動設定は不可) 換気機器のみのグループでの設定、運転操作可能
タイマー運転	1日のスケジュール: 10ポイントの運転/停止設定 週間スケジュール: 曜日ごと7パターン設定可能 年間スケジュール: 特異日設定可能 スケジュール運転に連動した「設定温度」、「運転モード」、「手元操作禁止」を設定可能 設定間隔: 最小1分
手元操作禁止	全館一括/フロア一括/ブロック/グループごと、項目を選択して、手元リモコン操作禁止 禁止項目: 運転/停止/運転モード/設定温度/フィルターリセット
空調料金計算	ブロック/電力計ごと、使用電力量、料金を計算表示・印刷

※2:室内ユニットの機種により、使用できない機能があります。  
※上記仕様は接続します機器、または機器の組み合わせにより変わる場合があります。

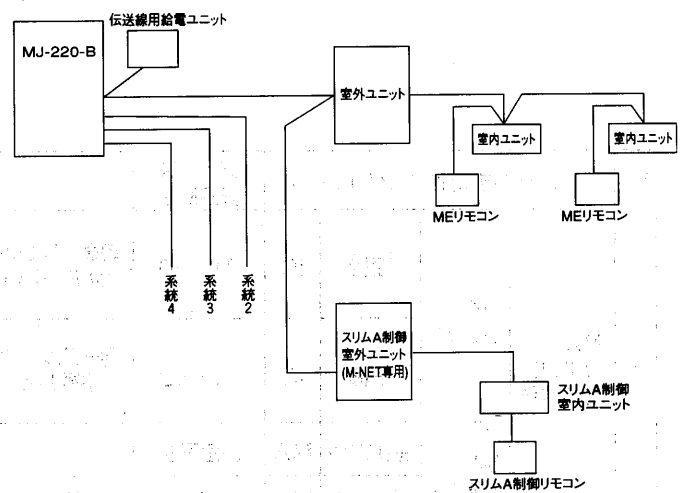
#### (b) 仕様

項目	内容
製品寸法	600(H)×450(W)×100(D) mm
質量	20 kg
電源	AC 100V±10% (50/60Hz) ※無停電電源からの供給を推奨
消費電力	150W (MAX)
使用環境	温度 5~35℃ 湿度 35~90%RH (結露なきこと)
材質	本体、扉: SECC
外観色	カバー部: ホワイトグレー (マンセル4.48Y7.92/0.66)
据付方法	壁に取付け 伝送線は、無極性2線でM-NET集中管理用伝送線に接続
ディスプレイ	大型液晶 640×480ドット 10.4インチ
タッチキーボード	アナログ抵抗膜方式タッチパネル
プリンタ	小型サーマルプリンタ 漢字対応

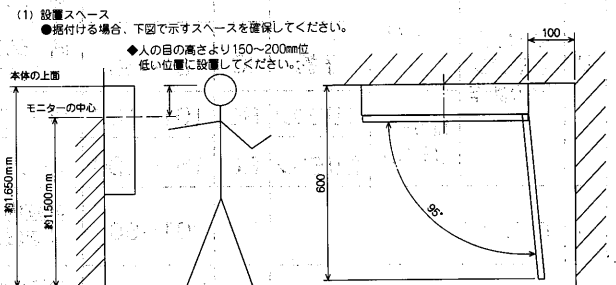
#### (c) 外形寸法図



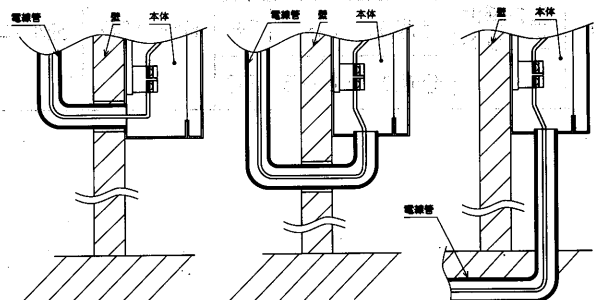
#### (d) システム構成例



#### (e) 据付要領

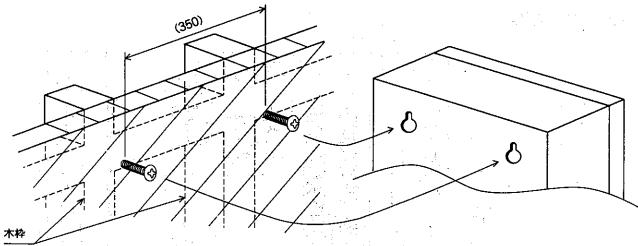


- (2) 配線引込方法は次のA,B,Cの方法から引き込んでください。
- A: 背面から引き込む場合  
電線管を背面から配線引込穴に引き込む場合。
  - B: 底面から引き込む場合  
電線管を背面から一度壁面に引出してから、底面から引き込む場合。
  - C: 前面から引き込む場合  
電線管を底面から配線引込穴に引き込む場合。

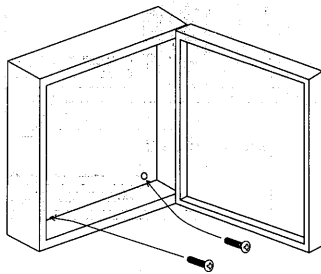


(3) 本体の固定

- 設置スペース等を考慮して、上部取付穴側のM8ネジ等を壁面に固定します。
- 本体の上部取付穴にネジを入れてから、下に降ろしてください。



●ドアを開けてから下部ネジを締め、上部ネジも再度締める。

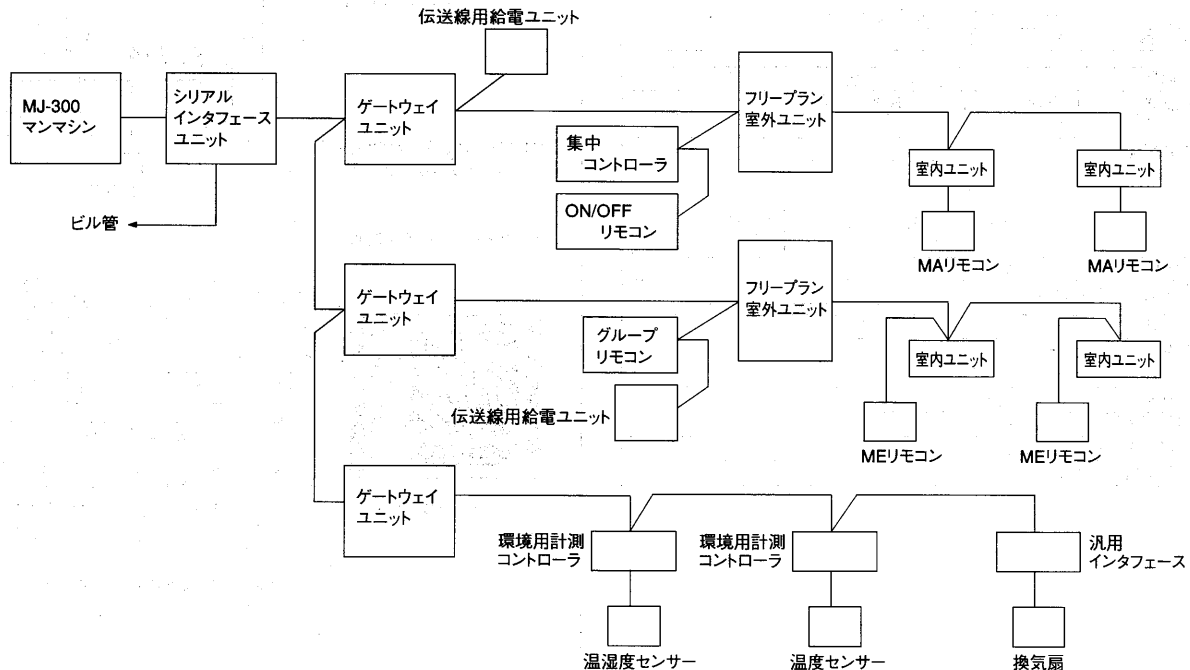


**警告** ●本体を掲げる際、ネジに引っ掛かった事を確認してから手を離す。  
●壁面は100kgの荷重に耐えられる場所に設置する。  
●本体が落下して変形、故障、けがの原因になります。

**MJ-300システム**

- 高度な空調管理を効率的に実現します。  
鮮やかな画面表示を見ながら、マウスによる対話形式で操作・設定・監視を行います。  
温度計測から各種監視、メンテナンス情報の取り出しなど、先進の空調を簡単に、効率的に実現します。
- テナントごとの空調料金の算出が可能です。  
空調機器の運転時間を算出することができます。  
この算出値より、テナントごとの空調料金の算出や、フィルター交換時期の判定などが可能になります。
- 計測機器との連動で空調の高品位化を推進  
空調機器の他に温度・電力量など、各種計測センサーとの接続が可能です。

(d) システム構成例



(a) 機能一覧

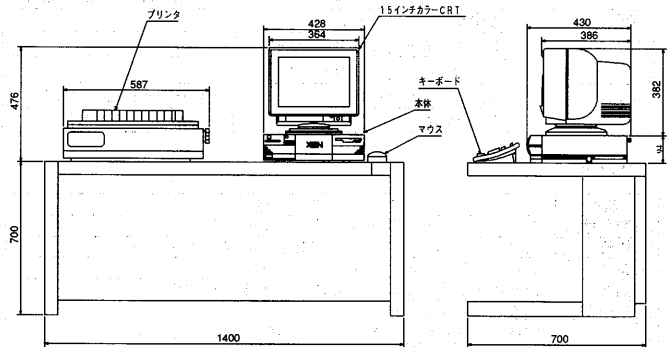
項目	内容	
操作	運転/停止	物件により内容が異なります。
	運転モード	
	風速	
	風向	
	温度設定	
	手元操作禁止	
監視	状態監視	
	異常	
	サーモON/OFF	
	フィルタサイン	
	上下限	
計測	室温	
	湿度	
	電力	
	運転時間	
	按分電力量	
その他	スケジュール運転	
	デマンド制御	
	火報連動	
	停電復旧	
	フィルタサインリセット	
	プリセット	
日報/月報		

(b) 仕様

項目	内容
製品寸法(例)	1176 (H) × 1400 (W) × 700 (D) mm
使用環境	温度 0~40℃

※仕様については予告なく変更することがあります。

(c) 外形寸法図(例)



※机は現地手配

# MB-101/102-B<パラレルインタフェースキット>

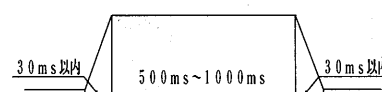
- ベーシックな接点インタフェースです。  
ビル管理システムと空調機器を接点信号で結ぶ、空調管理専用のインタフェースです。  
ブロック単位の [運転/停止] [状態監視] [異常監視] がビル管理システム側で行えます。
- 簡単な操作でブロック設定が行えます。  
インタフェース上の液晶画面と設定パネルを使って、簡単な操作で、現地でブロック編成の設定が行えます。  
この機能により、空調の間仕切り変更にも自在に対応できます。
- 効率的なブロック管理が行えます。  
ブロック編成機能により、空調のブロック管理が行えます。  
フロアごと、テナントごとなどに、管理対象を明確に区分して、より効率的な空調管理を実現します。
- 最大50台の室内ユニットが管理できます。

## (a)機能一覧

機能	項目	内容
上位システムからの操作	運転/停止	ブロックごとの運転/停止切替可能
	運転/停止	ブロックごとの運転/停止状態表示可能
上位システムへのモニタ	異常/正常	ブロックごとの正常/異常状態表示可能
	ブロック設定	フリープラン用室内ユニット、ロスナイ、ブロック設定可能
操作	異常モニタ	異常発生元のユニットアドレスと異常コード表示
	異常履歴	50件の異常履歴表示
	入出力診断	各スロット端子ごとの入出力信号状態を表示
台数	総接続台数	50台
	伝送距離	同一冷媒系統 250m以内 システム 500m以内
ブロック	総ブロック	MB-101:12ブロック、MB-102:24ブロック
	接続台数	1ブロック最大50台 (ロスナイ含む)

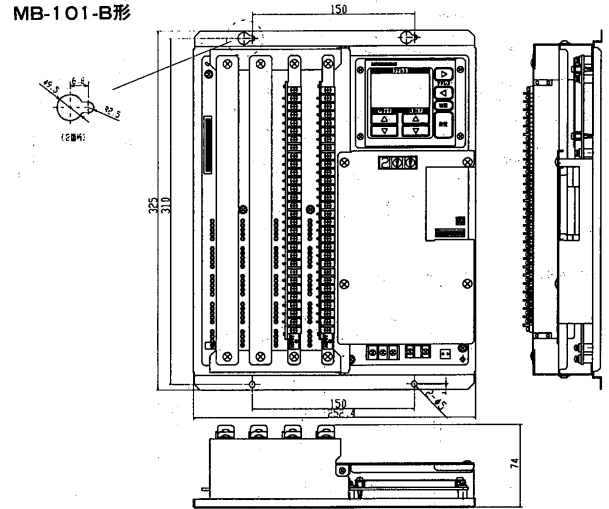
## (b)仕様

項目	内容	
製品寸法	325 (H) × 252.4 (W) × 74 (D) mm	
質量	MB-101-B形: 2.1 kg MB-102-B形: 2.2 kg	
電源	DC 24V (専用電源ユニット使用)	
消費電力	MB-101-B形: 20W MB-102-B形: 30W	
使用環境	温度	0~40℃
	湿度	30~90%RH (結露なきこと)
据付方法	盤用ボックス内等に取り付け	
製品寸法	240 (H) × 265 (W) × 59.2 (D) mm	
質量	1.6 kg	
電源	AC 100V又はAC 200V	
消費電力	60W	
使用環境	温度	0~40℃
	湿度	30~90%RH (結露なきこと)
据付方法	盤用ボックス内等に取り付け	

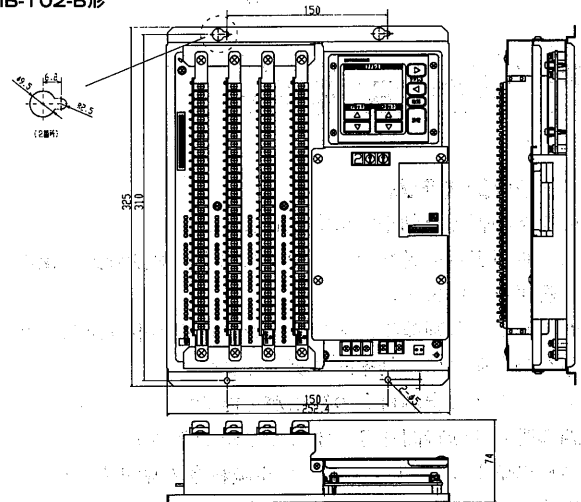
項目	内容	
入力仕様	入力点数	101-B形: 24接点 102-B形: 48接点
	入力信号	パルス
	パルス規格	
	定格電圧	DC 24V
定格電流	4 mA	

項目	内容	
出力仕様	出力点数	101形: 24接点 102形: 48接点
	出力方式	リレー接点方式
	出力接点定格電流	30 mA
	出力接点定格電圧	DC 30V
	出力接点最小適用負荷	1 mA

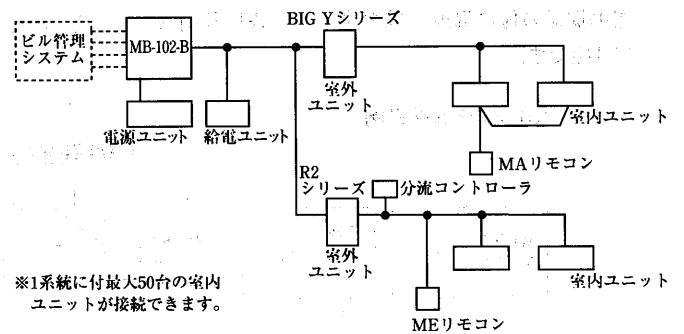
## (c)外形寸法図



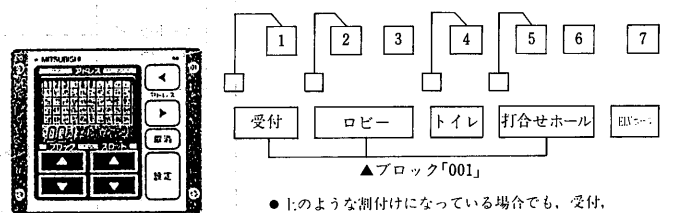
## MB-102-B形



## (d)システム構成例



## (e)ブロック構成例



▲ブロック設定画面

- 上のような割付けになっている場合でも、受付、ロビー、打合せホールの3つのグループを「001」という1つのブロックで管理できます。
- MB 101/MB 102からはブロック単位の管理となりますが、手元リモコンはグループごとに、自由に使えます。
- ※ブロック管理の詳細内容はカタログをご覧ください。

## MB-200-B<パラレルインタフェースキット>

- 多機能型の接点インタフェースです。  
ビル管理システムと空調機器を接点信号で結ぶ空調管理専用のインタフェースです。
- ブロック管理で効率的な空調の運用が図れます。  
空調のグループをさらに大きなくくりとしてまとめる、ブロック管理が可能です。  
テナントやフロアごとなど、管理対象を明確に区分することで、より効率的な空調管理を実現します。
- インタフェースからのブロック設定を初めて実現。  
インタフェース盤には、ブロック設定用パネルが組み込まれています。  
この設定用パネルを使って、現場でのブロック設定ができます。また、突然の間仕切り変更にも柔軟に対応できます。
- ブロック単位の発停操作、状態監視、異常監視の基本操作に加え、手元リモコン操作禁止、サーモON/OFF出力など、応用機能も豊富です。
- 最大50台の室内ユニットが管理できます。

### (a) 機能一覧

機能	項目	内容
上位システムからの操作	運転 停止	ブロック / 一括の運転 / 停止 切替可能
	運転モード	一括の冷房 暖房 ブロックごとの冷房 暖房 / 自動 / 送風切替可能
	手元操作禁止	ブロック / 一括の運転 / 停止、運転モード 設定温度の許可 / 禁止切替、フィルターリセット可能
	緊急停止	一括の緊急停止可能
上位システムへのモニタ	設定温度	ブロックごとの設定温度操作可能
	運転 / 停止	ブロックごと / 一括運転 / 停止状態表示可能
	異常 / 正常	ブロックごと / 一括の正常 / 異常状態表示可能
	サーモON/OFF	ユニットごとのサーモON/OFF表示可能
操作	ブロック設定	フリープラン用室内ユニット K制御Mr. SLIMのブロック設定可能 (Mr. SLIM接続時K伝送コンバータ必要)
モニタ	異常モニタ	異常発生元のユニットアドレスと異常コード表示
	異常履歴	50件の異常履歴表示
台数	入出力診断	各スロット端子ごとの入出力信号状態を表示
伝送距離	総接続台数	50台 (フレッシュマスターを含む)
	システム	250mm以内
ブロック	システム	500mm以内
	接続台数	1ブロック最大50台 (フレッシュマスターを含む)

### (b) 仕様表

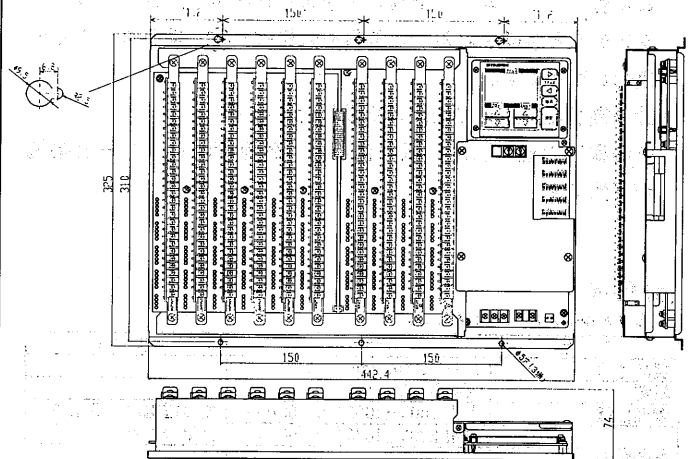
項目	内容	
製品寸法	325 (H) × 442.4 (W) × 74 (D) mm	
質量	4.0 kg	
電源	DC 24 V (専用電源ユニット使用)	
消費電力	80 W	
使用環境	温度	0 ~ 40℃
	湿度	30 ~ 90% RH (結露なきこと)
据付方法	盤用ボックス内等に取り付け	
製品寸法	240 (H) × 265 (W) × 59.2 (D) mm	
質量	2.0 kg	
電源	AC 100 V又はAC 200 V	
消費電力	120 W	
使用環境	温度	0 ~ 40℃
	湿度	30 ~ 90% RH (結露なきこと)
据付方法	盤用ボックス内等に取り付け	

項目	内容	
入力点数	最大240点 ※1	
入力信号	レベル / パルス (無電圧接点)	
パルス規格		
	定格電圧	DC 24 V
定格電流	4 mA	

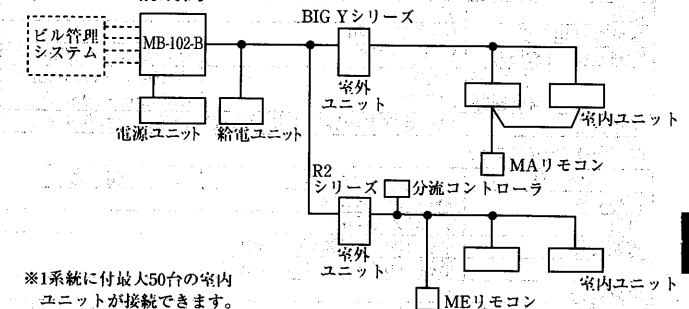
※1 入力点数と出力点数の合計が240点以下

項目	内容	
出力仕様	出力点数	最大240点 ※1
	出力方式	リレー接点方式
	出力接点最大電流	30 mA
	出力接点最大電圧	DC 30 V
	出力接点最小適用負荷	1 mA

### (c) 外形寸法図



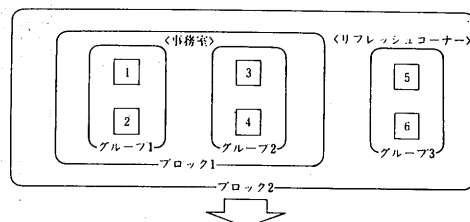
### (d) システム構成例



### (e) ブロック管理例

- ひとつのグループはいくつかのブロックに属することができます。
- グループ1 (室内ユニット①②) とグループ2 (室内ユニット③④) は事務室、グループ3 (室内ユニット⑤⑥) はリフレッシュコーナーを空調しています。それぞれのグループは手元リモコンにより、自由に発停ができます。
- ビル管理システムからはMB-200を介し、ブロック1への操作で、グループ1・グループ2の室内ユニット (①②③④) を同時にコントロールできます。
- ブロック2ですべての室内ユニットをコントロール。例えばフロアごとの消し忘れ防止などに役立ちます。

グループ	1台の手元リモコンで同時に制御される室内ユニットの集合です。
ブロック	複数のグループの集合です。



室内ユニット	グループ	ブロック
1	1	1
2	1	
3	2	2
4	2	
5	3	
6	3	

## MB-300システム<シリアルインターフェイスユニット>

- 通信線 (RS-232C) によるビル管理システムとの接続  
ビル管理システムと空調を通信線 (RS-232C) で接続する中大規模ビル向けの空調用シリアルインターフェイスです。  
高度な空調管理を可能とし、ビル管理システム側からの多彩な要求に対応します。
- 外部システムとの連動  
ビル管理システムから空調の集中管理を実現する他、ビル管理システムと接続される受変電盤や火報盤など、他システムとの連動が可能です。
- 計測機器との連動で空調の高位化を推進  
空調機器の他に温度・電力量など、各種計測センサーと接続が可能です。

### (a)仕様

#### (イ)シリアルインターフェイスユニット

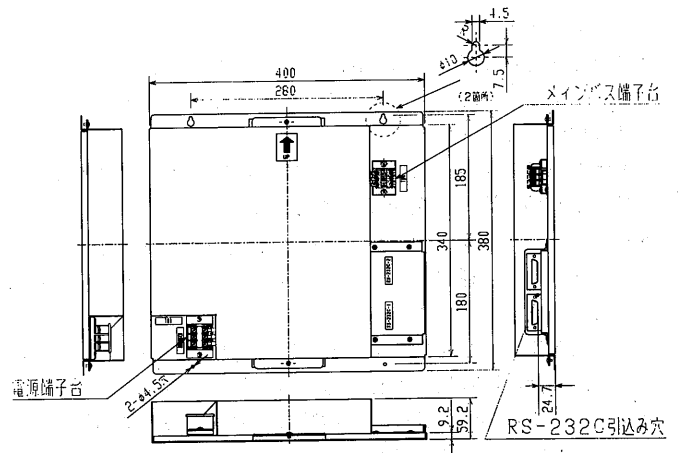
項目	仕様	備考
製品寸法	400×380×59.2cm	
材質	SGCC-ZC0-Z08	
電源仕様	単相 100V±10% (50/60Hz) 単相 200V±10% (50/60Hz)	無停電電源装置より供給のこと
消費電力	6W	
使用環境	温度 0℃～40℃ 湿度 30%RH～90%RH (結露なきこと)	盤内に設置すること 据付方向は垂直取付
質量	3.6kg	
本体取付用ネジ	M4ネジ×4個	
電線仕様	電源線 VVF, VVR メインバス線 CPEVS M伝送線 CVVS	φ1.5mm～φ2.0mm φ1.2mm～φ1.6mm 1.25mm <sup>2</sup> ～2.0mm <sup>2</sup>
管理台数	(※)物件の内容により最大接続台数は変わります。	

#### (ロ)ゲートウェイユニット

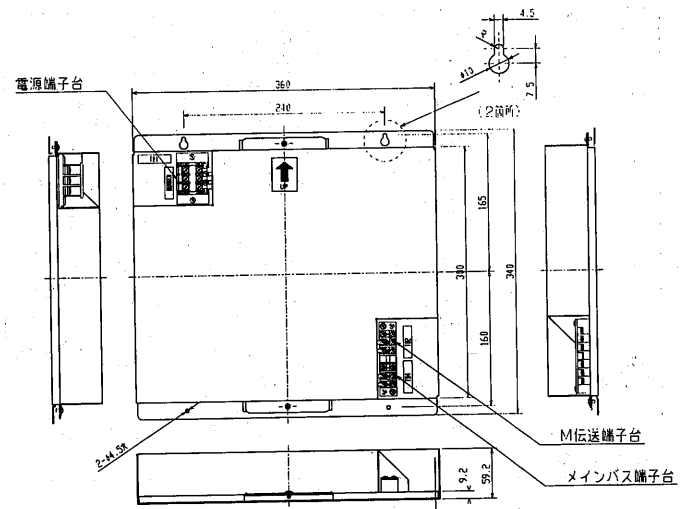
項目	仕様	備考
製品寸法	360×340×59.2cm	
材質	SGCC-ZC0-Z08	
電源仕様	単相 100V±10% (50/60Hz) 単相 200V±10% (50/60Hz)	
消費電力	5W	
使用環境	温度 0℃～40℃ 湿度 30%RH～90%RH (結露なきこと)	盤内に設置すること 据付方向は垂直取付
質量	3.2kg	
本体取付用ネジ	M4ネジ×4個	
電線仕様	電源線 VVF, VVR メインバス線 CPEVS M伝送線 CVVS	φ1.5mm～φ2.0mm φ1.2mm～φ1.6mm φ1.25mm <sup>2</sup> ～φ2.0mm <sup>2</sup>
管理台数	50台	

### (b)外形寸法図

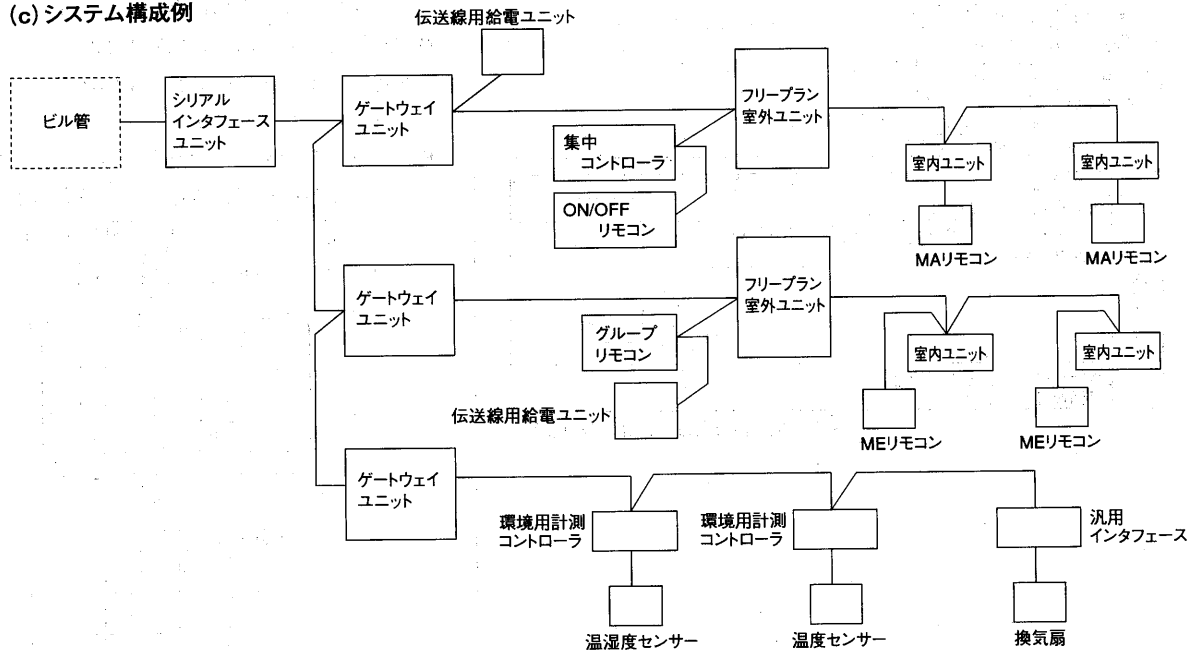
#### (イ)シリアルインターフェイスユニット



#### (ロ)ゲートウェイユニット



### (c)システム構成例




## PAC-SE42MC<計量用計測コントローラ>

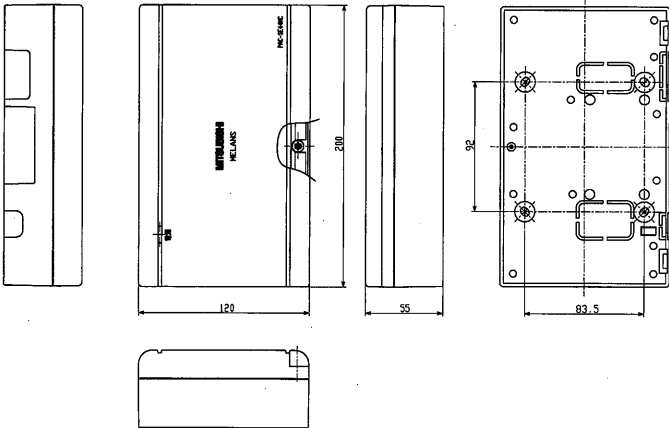
- テナントの空調使用料金の課金に必要な電力量をカウントします（電力量計は別途ご用意ください）
- さらに、ガス使用量、水道使用量などのカウントが可能です。

### (a)仕様

項目	内容
製品寸法	120 (H) × 200 (W) × 55 (D) mm
製品重量	0.6 kg
電源	DC24VまたはDC30V M-NET伝送線より給電 (伝送線用給電ユニットまたは別電源 (別売) より受電)
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH (結露なきこと)
材質	ABS
塗装色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4.48Y7.92/0.66)
据付方法	JISC8336の3個用のスイッチボックス (現地手配) へ取り付け。又は、壁に直付け 伝送線は、無極性2線でM-NET伝送線に接続

項目	内容
入力点数	4点
入力信号	パルス信号 (a接点/c接点)
パルス規格	 <p>パルス幅100ms以上</p>
定格電圧	DC5V
定格電流	10mA

### (b)外形寸法図



## PAC-SE44MC<環境用計測コントローラ>

- 温度計測はもちろん、湿度などのセンサーを接続することにより計測値を伝送します。

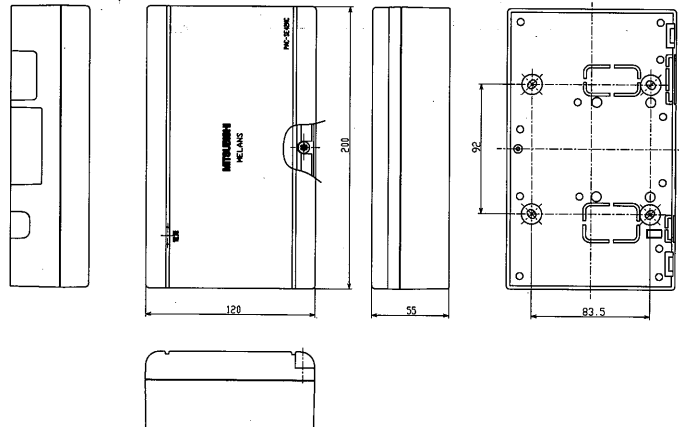
### (a)仕様

項目	内容
製品寸法	120 (H) × 200 (W) × 55 (D) mm
製品重量	0.6 kg
電源	DC24V別電源 (別売) より受電
使用環境	温度 0~40℃ 湿度 30~90%RH (結露なきこと)
材質	ABS
塗装色	カバー部 ホワイトグレー (マンセル4.48Y7.92/0.66)
据付方法	JISC8336の3個用のスイッチボックス (現地手配) へ取り付け。又は、壁に直付け 伝送線は、無極性2線でM-NET伝送線に接続

項目	内容
入力点数	9点 (温度/湿度/風速/汎用4~20mA/汎用1~5V/風速異常/冷媒漏れ/人体検知/汎用入力)
入力規格	温度: 三菱電機標準センサーのみ接続可能 湿度: 三菱電機標準センサーのみ接続可能 風速: 三菱電機標準センサーのみ接続可能 汎用4~20mA: 内部インピーダンス250Ω 汎用1~5V: DC1~5V 風速異常: 三菱電機標準センサーのみ接続可能 冷媒漏れ: 無電圧 a接点/b接点選択 DC24V 10mA 人体検知: 無電圧 a接点/b接点 DC24V 10mA 汎用入力: 無電圧 a接点/b接点 DC24V 10mA

項目	内容
出力点数	1点
出力方式	リレー接点方式
出力信号	レベル
出力接点定格電流	10A
出力接点定格電圧	AC250V
出力接点最小通電負荷	10mA

### (b)外形寸法図



※DC24V電源が別途必要です。

## PAC-SE40TS<温度センサー>

- 室内温度を計測します。



PAC-SE44MC (環境用計測コントローラ) に接続して室内温度を計測します。壁面またはスイッチボックスに取り付けて使用します。

## PAC-SE41HS<温湿度センサー>

- 室内温湿度を計測します。



PAC-SE44MC (環境用計測コントローラ) に接続して室内温湿度を計測します。壁面またはスイッチボックスに取り付けて使用します。



# PAC-SB74MA<K制御用M伝送コンバータ>

●KJシリーズなどK制御のコントローラでM-NETまたはA制御の空調機を集中管理する場合に使用します。

## (a)仕様

項目	内容
外形	324×220×90mm 取付方法 209×210mm
重量	2.5kg
設置環境	盤用ボックス内など屋内に設置する 周囲温度 0~40℃ 周囲湿度 30~80%RH(結露なきこと)
取付	水平・垂直いずれでも可能 但し、垂直取付の場合は端子台を下方とすること 盤用ボックス内設置の場合は付属の蓋は不要
電源	単相AC100V(0.6A)~AC200V(0.3A) 50/60Hz
接続	電源線、K伝送線、M-NET伝送線、アース
アドレス設定	3桁10進ロータリースイッチ

## (b)外形寸法図

